

MEIJI UNIVERSITY

海外留学の 手引き 2025

GUIDE TO STUDY
ABROAD



MEIJI
UNIVERSITY

明治大学国際教育センター
International Student Center
www.meiji.ac.jp/cip/

明治大学の留学制度概要

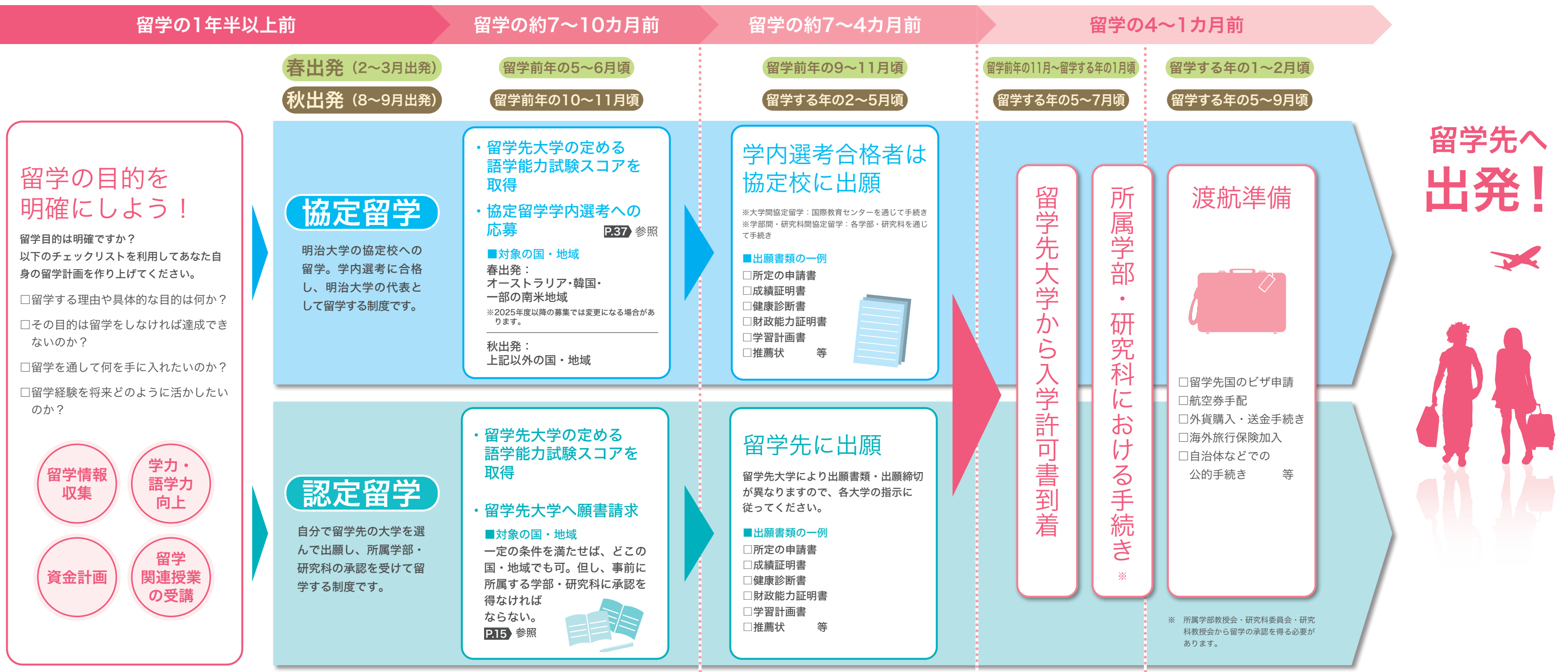
短期留学	
期 間	主に夏季及び春季休暇期間を利用した約1カ月間
内 容	- 外国語でのコミュニケーション能力の向上や異文化理解を深める - 語学研修プログラムに加え、専門分野を外国語で学ぶプログラム、海外ボランティア、インターンシッププログラムなどがある
主 催	国際教育センター／各学部・研究科
単位認定	プログラムにより異なる

中期・長期留学	
期 間	主に1学期間から1学年間（2学期間）
内 容	- 協定留学：留学先大学（明治大学の協定校）で開講される正規授業を履修し、主に明治大学での専攻分野に関連した科目の単位修得を目指す - 認定留学：任意の海外の高等教育機関へ留学（所属学部・研究科の承認が必要）し、主に明治大学での専攻分野に関連した科目の単位修得を目指す
主 催	国際教育センター／各学部・研究科
単位認定	留学先で修得した単位を、明治大学の卒業要件単位として認定可（各学部・研究科の承認が必要）

留学ロードマップ(大学間協定留学の場合)

留学を実現するためには、早い段階から計画的に準備を進める必要があります。留学先の国、大学によって出発・留学開始時期が異なります。

このロードマップを参考に、情報収集や各種語学能力試験の受験など、スケジュールを立てて準備に取りかかるようにしましょう。



中期・長期留学できる協定校

大学間協定校 P.38「大学間協定留学」参照

欧州

イギリス

イースト・アングリア大学
シェフィールド大学
マンチェスター大学
ヨーク・セント・ジョン大学
ロンドン大学東洋アフリカ研究学院 (SOAS)

イタリア

ヴェネツィア大学
シエナ外国人大学
シエナ大学
フィレンツェ大学
ボローニャ大学
ミラノ大学
マチェラータ大学

オーストリア

ウィーン大学
クーフシュタイン・チロル応用科学大学
ザルツブルク大学

オランダ

ライデン大学

スイス

スイス・アメリカン応用科学大学
チューリッヒ大学

スウェーデン

カールスタード大学
セーデルトーン大学
ヨーテボリ大学
リンシェーピング大学
ルンド大学*

スペイン

サラマンカ大学
バレンシア大学
レイ・フアン・カルロス大学
ESADE ビジネススクール*

セルビア

ベオグラード大学

デンマーク

コペンハーゲン大学

ドイツ

ジーゲン大学
バイロイト大学
ハインリッヒ・ハイネ大学 (デュッセルドルフ大学)
パッサウ大学
フリードリヒ・シラー大学 (イエーナ大学)

ノルウェー

インランドノルウェー大学
ノルウェー経済大学
ベルゲン大学

ハンガリー

エトヴェシュ・ロラード大学

フランス

ヴェルサイユ大学
エクス・マルセイユ大学
グルノーブル・アルプ大学
ストラスブール大学
トゥールーズ政治学院
トゥールーズ第1キャピトル大学
ソルボンヌ・ヌーベル大学 (パリ第3大学)
パリ・シテ大学
フランス国立東洋言語文化研究学院 (INALCO)
ランス大学
リール・カトリック大学
リヨン政治学院
リヨン第2大学
リヨン第3大学
レユニオン大学

ブルガリア

ソフィア大学

ベルギー

リエージュ大学

ポーランド

ウッジ大学
ポズナン経済大学

リトアニア

ヴィリニウス大学
ミーコラス・ロメリス大学

ルーマニア

ブカレスト経済研究大学
ブカレスト大学

アジア

インド

インド科学院大学
マニパル大学

インドネシア

ガジャマダ大学
バンドン工科大学

韓国

梨花女子大学
仁荷大学
韓国外国語大学
慶尚国立大学
慶熙大学
建国大学
高麗大学
崇実大学
淑明女子大学

西江大学
済州大学
忠北大学
大邱大学
大田大学
同徳女子大学
漢陽大学
釜慶大学
嶺南大学

シンガポール

シンガポール経営大学

スリランカ

コロンボ大学

タイ

キングモンクット工科大学ラカバン校
シーナカリンウィロート大学
タマサート大学
チュラロンコン大学

台湾

国立嘉義大学
国立虎尾科技大学
国立政治大学
国立台北大学
国立台湾師範大学

国立台湾大学
国立高雄科技大学
国立中央大学
中国文化大学

中国

廈門大学
内蒙古工業大学
延辺大学
華東師範大学
上海交通大学
深圳大学
蘇州大学
大連外国語大学
中央財経大学

中央民族大学
中国社会科学院大学
中国人民大学
東華大学
東北財経大学
南京大学
北京大学
北京第二外国語大学
遼寧大学

フィリピン

フィリピン大学ディリマン校
エンデラン大学

ベトナム

ハノイ大学
ハノイ貿易大学
ベトナム国家大学ハノイ外国語大学

中国 (香港)

香港大学
香港中文大学

マレーシア

ペトロナス工科大学
マラヤ大学
マレーシア・サラワク大学
マレーシア科学大学
マレーシア工科大学

大洋州

オーストラリア

アデレード大学
クイーンズランド工科大学
シドニー工科大学
西シドニー大学
ニューイングランド大学
マッコーリー大学
UNSW シドニー

中東

トルコ

中東工科大学

アフリカ

ガーナ

ガーナ大学

南アフリカ

ステレンボッシュ大学

モロッコ

アル・アハワイン大学

北米

アメリカ

アーカンソー州立大学
アラバマ大学
オレゴン大学
カリフォルニア州立大学チャンネル・アイランズ校
カリフォルニア州立大学ドミンゲス・ヒルズ校
カリフォルニア州立大学ロングビーチ校
北テキサス大学
サザンイリノイ大学カーボンデール校
サンディエゴ州立大学
サンフランシスコ州立大学
ジョージア大学
セントラル・オクラホマ大学
テネシー工科大学
テンブル大学
ニューヨーク州立大学ニューバルツ校
ニューヨーク州立大学バッファロー校
ニューヨーク市立大学ステテンアイランド校
ネバダ大学リノ校
ネブラスカ大学オマハ校
ノーザン州立大学
ハワイ大学ヒロ校
マリアン大学インディアンポリス校
ミドル・テネシー州立大学
南ユタ大学
メンフィス大学
ヤングスタウン州立大学
インディアナ大学インディアンポリス校*
ウィチタ州立大学*
カリフォルニア州立大学サンバーナーディーノ校*
カリフォルニア州立大学ノースリッジ校*
カリフォルニア州立大学フラトン校*
カリフォルニア大学アーバイン校*
カリフォルニア大学デービス校*
カリフォルニア大学バークレー校*
カリフォルニア大学ロサンゼルス校*
コロンビア大学*
スタンフォード大学*
ソノマ州立大学*
ペンシルベニア大学*
ポートランド州立大学*
ボストン大学メトロポリタンカレッジ*

カナダ

アルバータ大学
モントリオール大学
ユークン大学
ヨーク大学
マクマスター大学*

中南米

アルゼンチン

ラプラタ国立大学

コロンビア

エアフィット大学

ブラジル

FAAP - アルマンド・アルバレス・ベンチアード大学
サンパウロ大学

メキシコ

グアダハラ大学
グアナファト大学

明治大学では、世界 **47** カ国・地域の **276** 大学と留学に関する協定を結んでいます（2025年1月末現在）。

協定校には、全学生が対象となる「大学間協定校」と、特定の学部・研究科在籍者が対象となる「学部間・研究科間協定校」の2種類があります。

なお、全ての協定校が毎年募集を行うとは限りません。

＊：授業料負担型のみ

学部間・研究科間協定校 P.48「学部間・研究科間協定留学」参照

法学部

- 国立台湾大学法律学院（台湾）
- 南京師範大学法学院（中国）
- サンパウロ大学法学部（ブラジル）

商学部

- カーディフ大学カーディフビジネススクール（イギリス）
- ブレーメン経済工科大学（ドイツ）
- レンヌ商科大学（フランス）
- パリ商業高等大学（フランス）

政治経済学部

- ロンドンスクールオブエコノミクスアンドポリティカルサイエンス (イギリス）*
- ペトラクリスチャン大学（インドネシア）
- ロッテルダム応用科学大学（オランダ）
- 延世大学（韓国）
- 南洋理工大學（シンガポール）
- シーナカリンウィロート大学（タイ）
- チュラロンコン大学（タイ）
- タマサート大学（タイ）
- 国立台湾大学（台湾）
- 国立政治大学（台湾）
- 北京大学（中国）
- 東フィンランド大学（フィンランド）
- ノイウルム応用科学大学（ドイツ）
- ベトナム国家大学ホーチミン市人文社会科学大学（ベトナム）
- ベトナム国家大学ハノイ人文社会科学大学（ベトナム）
- ハノイ貿易大学（ベトナム）
- ホーチミン市経済大学（ベトナム）
- タマサート大学【ダブルディグリー】（タイ）*

文学部

- 高麗大学（韓国）
- シェイク・アンタ・ジョップ大学人文科学部（セネガル）
- 国立台湾師範大学文学院（台湾）
- 北京師範大学歴史学院（中国）
- アルベルト・ルードヴィヒ大学フライブルク人文学部及び文献学部（ドイツ）
- バンベルク大学（ドイツ）
- ビーレフェルト大学（ドイツ）
- ボルドー・モンテーニュ大学（フランス）
- ポー・アドゥール地方大学（フランス）
- 国立台湾大学文学院（台湾）
- 国立中興大学文学院（台湾）
- 国立台北大学法律学院（台湾）

理工学部

- オレゴン大学建築・芸術学部（アメリカ）
- ワシントン大学建造環境学部建築学科（アメリカ）
- シンガポール国立大学設計・環境学部（シンガポール）
- チュラロンコン大学（タイ）
- シーナカリンウィロート大学（タイ）
- パリ国立建築大学ラヴィレット校（フランス）
- パリ・カトリック大学パリ電子工学院（フランス）
- ボルドー工科大学（フランス）
- ヴッパータール大学（ドイツ）

農学部

- カセサート大学カンペンセン校（タイ）
- カセサート大学バンケン校（タイ）
- シーナカリンウィロート大学（タイ）
- チュラロンコン大学（タイ）
- 国立屏東科技大学（台湾）
- ミシガン州立大学（アメリカ）*
- テキサス大学サウスウェスタンメディカルセンター(アメリカ)

経営学部

- ノースカロライナ大学シャーロット校ベルクカレッジ・オブ・ビジネス (アメリカ)
- カーディフ大学カーディフビジネススクール（イギリス）
- ロッテルダム応用科学大学ロッテルダムビジネススクール (オランダ)
- ヴィクトリア大学グスタフソン・ビジネス学部（カナダ）
- ソウル国立大学経営学部（韓国）
- IE 大学（スペイン）
- シーナカリンウィロート大学経済学部/サスティナビリティ研究国際学部 (タイ)
- 対外経済貿易大学国際商学院（中国）
- オスナブリュック応用科学大学経営管理・社会科学部 (ドイツ)
- 東フィンランド大学社会科学・ビジネス学部 (フィンランド)
- Excelia（フランス）
- IPAG ビジネススクール（フランス）
- NEOMA 経営大学院（フランス）
- 香港城市大学商学院（香港）
- ヴィクトリア大学グスタフソン・ビジネス学部 (カナダ) 【デュアルディグリー】*

情報コミュニケーション学部

- シーナカリンウィロート大学（タイ）
- ゲーテ大学（ドイツ）
- ベトナム国家大学ハノイ外国語大学（ベトナム）
- ハノイ貿易大学（ベトナム）
- 香港城市大学（香港）

国際日本学部

- シンガポール大学人文・社会科学部（シンガポール）
- フロリダ州立大学社会科学・公共政策学部、アーツ・サイエンス学部 (アメリカ)
- ニューヨーク州立大学ニューバルツ校（アメリカ）*
- ハワイ大学カピオラニコミュニティカレッジ（アメリカ）*
- ピュートカレッジ（アメリカ）*
- フットヒルカレッジ（アメリカ）*
- エドモンズカレッジ（アメリカ）*
- エベレットコミュニティカレッジ（アメリカ）*
- グリーンリバーカレッジ（アメリカ）*
- ピアスカレッジ（アメリカ）*
- ショアラインコミュニティカレッジ（アメリカ）*
- オローニカレッジ（アメリカ）*
- コントラコスタカレッジ（アメリカ）*
- ディアブローバレーカレッジ（アメリカ）*
- ロスメタノスカレッジ（アメリカ）*
- オックスフォード大学ハートフォードカレッジ (イギリス）*
- セーデルトーン大学（スウェーデン）*
- フロリダ州立大学 [アカデミック・インターンシップ]（アメリカ）*

法学研究科

- 国立台湾大学法律学院（台湾）
- 南京師範大学法学院（中国）

政治経済学研究科

- デューク大学アジア太平洋研究所（アメリカ）

経営学研究科

- サセックス大学（イギリス）
- カーディフ大学カーディフビジネススクール（イギリス）
- ウソン大学　ソルブリッジ国際経営大学院（韓国）
- 中央財経大学商学院（中国）
- オスナブリュック応用科学大学（ドイツ）
- マッセー大学（ニュージーランド）
- 国立レンヌ大学経営学院（フランス）
- オーデンシア・ビジネススクール（フランス）
- トゥールーズ第一キャピトル大学（フランス）
- マレーシア工科大学ファカルティ・オブ・アーティフィシャル・インテリジェンス【ダブルディグリー】（マレーシア）



FROM MEIJI TO THE WORLD

明治大学から世界へ —留学体験記

カリフォルニア大学バークレー校
(アメリカ)政治経済学部 経済学科 3年(渡航時) 前村 晃貴
留学期間: 2024年5月~8月

Q. 留学をしようと思った理由は何ですか?

以前の二度の短期留学プログラムへの参加と留学生支援活動を継続していた中で、自分のやりたいことや夢中になれることが言語や文化の違いを超えて、より多くの人に希望や挑戦の機会、新たな価値観を届けることだと気づきました。海外という環境においても、そういった自己実現や価値観を超えた貢献がしたいと考え、そのスキルや経験を自分から積極的に活かせる環境に飛び込むこと、また将来の仕事にもそれらを活かしたいと考え、その架け橋となるようなプログラムへの留学を決意しました。特に強い動機となったのが、大学一年時に参加したオーストラリアへの短期留学で、その際に自身の価値観を全て覆された経験をしたため、それ以降、次の留学に向けて準備を進めてきました。そして三年次になった際にこのトップユニバーシティ留学という形でさらなる留学を実現でき、これまでの経験を活かした挑戦の場に立つことができました。

Q. 留学準備をする上で大切だと思うことは何ですか?

自分は留学の成功や充実には間違いなく本質的な「英語力」と「コミュニケーション力」が必要となると考えたため、留学開始の1年以上前から、留学中の生活を想像しながら、英会話や国際交流活動に非常に力を入れてきました。その活動の中で、多様な価値観を受け入れる力や本質的なコミュニケーション力を、自分が自信を持って使えるスキルとして磨き上げたことで、留学中の日々のコミュニケーションに非常に大きく活用することができました。英語力に関しても一年前から特に英会話に力を入れ、挨拶程度しかできなかった状態から、留学直前には滞りなくコミュニケーションができるレベルに達することができました。この二つが留学生生活全体を充実させるために大きく関わってくると感じたため、留学を考え始める前から一日でも早く着手できるとよいと思います。

Q. キャンパスや学生の雰囲気を見せてください。

大学全体の雰囲気としては、一人一人の学生が自分のやりたいことを明確にし、その将来の目標に向かって全力で向き合っているといった様子でした。一回一回の授業に真剣に向き合い、その人自身にしかない個性をアイデアとして全力で授業に貢献するといった印象を毎回感じ、その雰囲気に自分も強く鼓舞されました。他の学生に負けたくない自分も授業に貢献したいという強い思いが、ためらいの気持ちを打ち破り、毎回の授業でしっかりと自分の意見を伝えるようになった頃が、ようやく少しこの大学の雰囲気に馴染めたと感じた瞬間でした。この大学全体の活気にあふれた雰囲気が、与えられた挑戦の機会に対してしっかりと向き合えるよう、自分の背中を後押ししてくれたことは間違いありません。

Q. 大学での学習内容について教えてください。

新しい環境、新しい価値観を多く手に入れたいという思いを留学プログラム全体に対して持っていたため、明治大学の自分の学部では普段履修できないような授業を履修しました。主に履修したのがビジネス関係の授業で、広報戦略や事業計画管理について学び、自分の知見を深めることができました。基本的に授業は学生の意見やディスカッションが中心となっており、教授ではなく学生が授業を作り出すといったそれらの授業の内容だけでなく、ともに履修していたクラスメイトから刺激的なアイデアをもらうことが多く、また将来について、どの授業においても、毎回多くの新たな発見と出会いに恵まれていました。時には課題の多さに苦労することもありましたが、それがきっかけとなって協力して努力し合える世界中の友人たちと出会うことができ、様々な価値観を持つ人たちと協力する力を養えました。

中長期留学: トップユニバーシティ留学
(サマープログラム)

Q. 授業以外の時間や課外活動として、どのようなことをしていましたか?

明治大学ではアメリカ文化を学ぶゼミナールに所属しており、その学びを深めるために積極的にサンフランシスコで開催されているイベントに参加しました。最も印象的であったのが、Pride Paradeで、人間一人ひとり自分らしさを誇りながら強く生きていくという、今までには感じたことのない強いエネルギーを体感し、自分の自己実現に対する考え方に新しい視点をもたらしてくれました。またその他にも、寮内で日本人同士で協力して日本文化体験イベントを開催し、世界中の人に折り紙や日本のお菓子文化について知ってもらいイベントを企画しました。それに伴い日本から浴衣を持って行ったため、多くの世界中の友人から、より日本文化を魅力的に感じてもらえる機会を創出できました。

Q. 実際に留学にかかった費用はどれくらいですか?

この留学にかかった合計費用は約250万円でした。内訳は固定費用として授業料、寮の滞在費用がそれぞれ約100万円、航空券が片道約7万円(早い時期に購入できれば約4万でも購入可能)で、その他、留学中の旅行等がの娯楽費が15万円でした。そしてこの合計金額のうち100万円がトップユニバーシティ留学奨励助成金によって助成される予定です。渡航前と渡航中に円安がかなり加速してしまったため、全体の費用にかなり影響が出てしまったと感じています。

Q. 留学を志す人へのメッセージをお願いします。

留学を志す人に一番に知っておいてほしいことは、「留学はそれ自体が成功なのではなく、活躍や成功の機会を設けてくれる場だ」ということです。その成功の定義は人によって異なりますが、自分の場合は「海外という全く異なる環境でも自己実現できる生き方を見つけて、価値観の違いを超えた国際貢献ができるようになるということ」でした。この留学という場においては、ひとつの定義された成功が必ずしも約束されていないからこそ、新たな出会い、新たな挑戦といった真新しいものによって、自分が本当に実現したい自己や将来の夢に出会うことができます。一人でも多くの方に想像もしていないような結果が待っているこの環境に飛び込み、新たな環境での自己実現のための向き合い方や価値観を超えた他者貢献のできる自分らしさに没頭していただけたらと思います。そして、留学プログラムに参加した事実だけで終わらせないためにも、事前の準備やこの留学プログラムで達成したいこと、実現したい自分自身はどういうものかを真剣に考えた上で臨めると、さらなる充実につながるのではないかと思います。



コロンビア大学 (アメリカ)

経営学部 経営学科 2年(渡航時) 石川 遥
留学期間: 2022年8月~2023年1月

Q. 留学をしようと思った理由は何ですか？

留学をしようと思った理由は、世界中の異なる考え方や価値観を持つ人々と関わりたいと思ったからです。また、将来、海外で働きたいと思っており、そのためには留学経験が必要であると考えたからです。この留学先を選んだ理由は、世界トップのコロンビア大学で授業を受けてみたかったからです。また、アートやミュージカル、ビジネスや食、ファッションなど全てにおいて世界の中心であるニューヨークの街に魅力を感じたのも理由の一つです。

Q. 留学準備をする上で大切だと思うことは何ですか？

まず、英語の勉強です。現地で学生と交流したり、良い成績を収めるためには、留学を始めるまでにネイティブレベルの英語力が必要だと思い勉強してから行きました。その結果、異文化交流や勉強を思う存分楽しむことができました。次に、日本についての勉強です。日本の学生を代表して行く以上、日本についての文化や歴史に関する知識はつけておくべきです。特に日本のアニメや漫画は海外でとても人気で、もっと勉強しておけば良かったと思いました。そして、グローバルマインドを持つておくことです。現地に着いてから貴重な機会を無駄にしないためにも、日本で海外の友達を作るなど、異なる文化を持つ人と関わっておくと良いと思います。

Q. キャンパスや学生の雰囲気を教えてください。

キャンパスはダウントウンから少し離れており、広い敷地でのびのびと過ごせる場所でした。ニューヨークなだけあり、おしゃれな人が多かったです。クラスでは学期を通して、グループワークが多いので、友達が沢山でき、少人数で和気藹々とした雰囲気でした。また、フレンドリーな教授が多く、クラスの学生全員の名前を呼べるか、受講している学生と賭けたり、ハロウィンにお菓子を持ってきてくれたりしました。教授がクラス全員をレストランに連れて行ってってくれることも何回もありました。授業中は冗談や笑いが飛び交う中、頭の切れる発言や新しい意見が次々と出され、多くの刺激を受けました。本当に優しい人が多く、多くの友人ができました。

Q. 大学での学習内容について教えてください。

コロンビア大学での勉強は、課題の量が非常に多く、初めは驚きましたが、内容はとても面白く学びになるものばかりで、やりがいがありました。専門教育学部では、マーケティング、組織行動論、起業論を学び、ビジネススクールでは、マーケティング分析を学びました。起業論の期末試験では、実際に本物の起業家たちの前でアイデアを発表したり、マーケティング分析の授業ではR分析から解決策を考え、企業のCEOに提案したりするなど、

中長期留学: トップユニバーシティ留学

日本語でも難しい高度な内容ばかりでしたが、人生で一番勉強したと言えるほど頑張った結果、良い成績を収めることができ、大きく成長できました。

Q. 寮の雰囲気はいかがでしたか？

住んでいたInternational Houseはとても綺麗で、屋上からの景色は絶景でした。そして、スタディーセンターやジム、バーなど全てが揃っているので、大変過ごしやすく、スタッフがとても親切で、セキュリティも万全でした。ダイニングホールの食事は毎日変わるので飽きず、とても美味しかったです。世界100カ国以上から集まる学生たちの中には、コロンビア大学の学生だけでなく、音楽学校や芸術学校の学生、社会人などもおり、国際色豊かで人脈を広げることができました。皆優しく温かい人たちがばかりで、毎日のようにイベントが開催されるので、すぐに友達になることができました。

Q. 授業以外の時間や課外活動として、どのようなことをしていましたか？

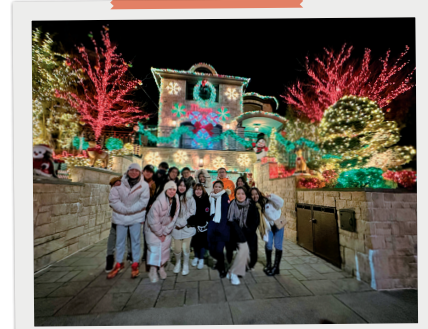
課題が多く、平日は授業時間以外も、ずっと勉強していました。試験前は寝ないで勉強することも多く大変でしたが、皆も同じように頑張っていて、皆で徹夜などをしてとても仲良くなりました。週末は必ずパーティーをして楽しみました。友達と旅行や観光、ショッピング、スポーツ観戦に行くことが多かったのですが、1人で美術館やミュージカルに行くこともありました。留学先は大学院でしたが、大学でのサークルにも所属し、大学での友達も沢山できました。現地に住んでいる友達の家に行ったり、美味しいレストランに連れて行ってもらったりもしました。新年には高級ホテルのパーティーに招待されるなど刺激が多かったです。帰国前夜に友達が大人気のサプライズパーティーを開いてくれ、空港まで送ってくれた際はアルバムと手紙をくれ、号泣したことは忘れられません。

Q. 実際に留学にかかった費用はどれくらいですか？

航空券代、寮費、食費、その他、合計750万ほどです。明治大学からは、トップユニバーシティ留学奨励助成金をいただきました。

Q. 留学を志す人へのメッセージをお願いします。

留学しようか迷っている人は、ぜひ、勇気を持って挑戦してみてください。不安なことが多いかと思いますが、現地ではトラブルも全て良い思い出になります。大変なことよりも楽しいことがいっぱい待っています！現地で出会った仲間是一生の親友になり、多くの新しい心震える経験をするので、大きく成長することができます。そして現地で様々な人と関わり、自分の視野を広げ、将来の可能性を広げるチャンスを沢山掴んで欲しいです。応援しています！



マレーシア科学大学 (マレーシア)

情報コミュニケーション学部 情報コミュニケーション学科
3年(渡航時) 佐藤 航希
留学期間: 2023年10月~2024年8月

Q. 留学をしようと思った理由は何ですか?

もともと海外に興味があり、何度か旅行に行っていました。そのうちにそれぞれの国の文化に興味が始めたので、長期滞在をして文化やその地に根付いた習慣、宗教的な慣習などをより深く知ろうと思い、留学を決意しました。マレーシアに決めた理由は、多文化共生を実現している国であったためです。マレーシアでは、マレー系、中華系、インド系、中東の人々が暮らしていて、融合した料理などもあることから、様々な文化理解が深まると考えました。

Q. 留学準備をする上で大切だと思うことは何ですか?

一番大切なことは語学力をできるだけつけておくことです。IELTSやTOEFLなどのスコアを取ることも重要ですが、それと並行して学術用語の勉強をすることをおすすめします。私自身、授業でのレポート作成の際に単語が分からなくて苦労したので、自分の専攻の用語は英語で書けるように勉強しておくと思役立つと思います。また、スピーキング対策としてオンライン英会話を受講していました。1日30分ほど、ネイティブの講師と話す時間を設けたことで、大幅にリスニングとスピーキング力が向上しました。時間が取れない日でも、TikTokやYouTubeでスラングを勉強したり単語帳を見るなど、日常生活で英語に触れておくといいと思います。

日本文化への理解を深めることも重要です。留学中、出身国に聞かれて、Japanと言うと十中八九、アニメが有名な国と認識されます。そこで、アニメの名前だけでも口にするとうまくいけることが多かったのです。呪術廻戦、ナルト、進撃の巨人、ワンピースなど、1話だけでも見ておくのと話のネタになるのでおすすめです。

Q. キャンパスや学生の雰囲気を見せてください。

キャンパス内には緑が多く、大学自体は落ち着いた雰囲気でした。その一方でほぼ毎週何らかのイベントが学内で開催され、にぎやかな面もあります。例えば卒業式の前後には出店が多く出て、大学全体が祝福ムードに包まれていました。また、留学生向けのイベントも多数あり、他の国の留学生や日本からの留学生、現地学生との交流の機会もあります。ティータイムというイベントでは、5週にわたって各国の留学生が食べ物や言語、イベントを紹介する講座が開かれていました。学生は皆フレンドリーで、気さくに話してくれそうです。

Q. 大学での学習内容について教えてください。

大学名に「科学」とついているので理系の大学と思われる方もいるかもしれませんが、文系の学部もいくつかあって授業選択には全く困らなかったです。留学生は複数の学部の授業を自由に選んで取ることができたので、私は語学と社会学、経営学の授業を主に履修しました。中でも「Environmental Natural Resources and Economics」という授業がとても印象に残っています。授業は講義が110分と、チュートリアルとよばれる、グループで課題に取り組む時間が60分ありました。授業は経済学入門のようなものですが、毎回の授業の最後に教授から投げかけられる疑問について、チュートリアルの時間にディスカッションをして発表しました。チュートリアルの時間には積極的な発言が求められるほか、問題に対しての日本での事例を挙げる必要もあり、プレ

中長期留学: 大学間協定留学

ゼンの準備やレポートなども授業外の時間でこなすなど、とてもやりがいのある授業でした。

Q. 寮の雰囲気はいかがでしたか?

学生寮の良かった点は、留学生が同じフロアに固まっているので、他の国の人々と交流できたり、1階にレストランがあって、いつでも料理が安く食べられたことです。また、ルームメイトがフレンドリーで毎日遅くまで話したり、出かけたりして楽しかったです。悪かった点は、シャワーが水しか出なかったり、数日間の断水で水が使えなくなった点と、部屋にエアコンがなく、ファンしかなかったので暑かったことです。また、イスラム教のアザーン(お祈りの合図)が朝6時ごろに建物についているスピーカーから大音量で流れるので、それで起きてしまうこともありましたが、寮に住むことで東南アジアの生活を肌で感じることができるので、半年は寮に住むことをおすすめします。

Q. 授業以外の時間や課外活動として、どのようなことをしていましたか?

友達とカフェに行ったり、図書館で勉強したり、土日は近くの町に遊びに行ったり旅行に行ったりしていました。春休みや祝日には一人で東南アジア(インドネシア、タイ、ベトナム、ブルネイ、シンガポール)を旅しました。マレーシアは東南アジアの中心に位置しているので、飛行機で安く旅行に行きやすかったです。また、友達とマレーシア国内(マラッカ、イポー、クアラルンプール、ランカウイ島)を旅したのも印象に残っています。

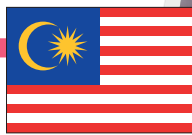
また、土曜日にはペナン日本人学校の補習校で小学校1・2年生学級のティーチングアシスタントのボランティアをしていました。ペナンに住んでいる日本人に「海外に住むことの大変さ」などの話を聞いたのも勉強になりました。

Q. 実際に留学にかかった費用はどれくらいですか?

生活費が月約8万円×10カ月、旅行費がすべて合わせて70万円、合計で150万円ほどかかりました。私は旅行にたくさん行ったのと、半年間は寮ではなくコンドミニアムに住んでいたのが費用が多くかかりましたが、マレーシアは物価が日本の半分ほどなので、費用をおさえて留学したい人にはおすすめです。JASSOや明治大学の助成金もあるので、費用面で気になることがあれば調べてみるといいかもしれません。

Q. 留学を志す人へのメッセージをお願いします。

留学は決して簡単ではなく、お金もかかりますが、行って絶対に損をしないと私は考えます。留学に行くか迷っているなら行くことを強くおすすめします。行ってからの自分の行動次第ではありますが、留学に行くことでしか得られない経験をたくさんすることができます。マレーシアに限らず、旅行で行くのと滞在するのでは、その国に対する印象は全く違ってくると思います。留学では、日本で生活していなかったような経験と、友達に出会えます。また、価値観もいろんな人と意見を交わすことで変わり、成長できます。ただ、先述したとおり、留学には厳しい面も多々あります。しかし、それを加味しても私は留学してよかったと心から思います。



パリ第3大学 (フランス)

文学部 文学科 3年 (渡航時) 村上 凛
留学期間：2023年9月～2024年6月

Q. 留学をしようと思った理由は何ですか？

中高生のころから、ミュージカルや映画、アニメなどの影響でフランス文化に興味があり、大学ではフランス文学専攻に入りました。大学でフランス語を始め、フランス語が大好きになり、大学在学中にフランスに留学して、フランス語で授業を受けながら、日常言語としてフランス語を使ってみたいと思うようになりました。また、2年生以降の演習の授業ではフランス演劇を学んでいたため、本場で生の舞台を見ることで、より多くのことを学べるのではないかと考え、留学を志しました。

Q. 留学準備をする上で大切だと思うことは何ですか？

やはりフランス語の勉強だと思えます。1年生の頃から漠然と留学に行きたいという思いがあったため、大学でできるだけ多くフランス語の授業を取るよう心がけていました。1年生と2年生の夏休みには大学で開催されていた2週間のフランス語集中講座を受講しました。資格試験に関しては、仏検やDELFIに1年の秋頃から挑戦していました。留学開始当初は、授業や日常生活において、とくにリスニング力やスピーキング力不足を痛感していました。この点については、フランスのドラマをフランス語音声、字幕で見ることで、とても改善したので、出発前にしておけばよかったと思っています。

Q. キャンパスや学生の雰囲気教えてください。

通っていたナシオンキャンパスは2022年に新しくできたキャンパスでとてもきれいでした。あまり大きなキャンパスではないのですが、常に学生たちであふれ、にぎわっていました。映画や演劇の学科があるため、キャンパス内の映画館で学生が制作した映画の上映や、中庭やホールで演劇の上演がされるなど、自主的に芸術活動をしている学生が多い印象です。そして、留学生が多いことも、この大学の特徴です。交換留学生だけでなく、正規留学の学生や付属の語学学校の学生など、たくさんの留学生がおり、食堂では常に様々な言語が聞こえていました。

Q. 大学での学習内容について教えてください。

パリ第3大学では、主に演劇の授業を受けました。演劇史の授業や演劇分析の授業、フランスレビューの授業を履修していました。これらの授業を通して、演劇を読み解くための基礎を身につけられた実感があります。演劇の授業に加え、留学生向けのフランス語の授業やフランス文化の授業を受けました。フランス文化のより深い理解やフランス語力向上にも役立ちましたし、留学生と仲を深めるよい機会でした。授業以外では、卒業論文のテーマを見つけるために、図書館で演劇関連の本を借り、読み進めるなどしていました。

Q. 寮の雰囲気はいかがでしたか？

パリ第3大学から紹介していただいたCROUSの学生寮に住んでいました。パリで住居を探すのはとても難しいと言われていますが、大学のおかげで、あまり苦労せずに住居が決まり、有り難かったです。とても大きな建物で沢山の人が住んでいたのですが、バストイレ、キッチンも部屋についていたため、他の住人との交流の機会はあまりなかったです。寮はパリ5区のカルチエラタンという歴史のあるエリアにあり、比較的安全な地域でした。街の中心地まで徒歩で行くこともできましたし、寮の目の前に電車の駅もあったため、交通アクセスも非常に良かったです。

中長期留学：大学間協定留学

Q. 授業以外の時間や課外活動として、どのようなことをしていましたか？

休日や長期休暇の間は、演劇や映画を見に行ったり、美術館に行くなどしていました。パリは学生にとってもやさしい街で、劇場や映画館には学生価格があり、多くの美術館に学生は無料で入ることができます。学生でも、日常的に芸術に触れられるのは、さすがパリだなと思いました。また、時間のある時は行く場所を決めずに散歩をして、パリを散策しました。パリの街並みは何度見ても飽きないので散歩好きになりました。6月には、大学主催のパリを1周するハイキングに参加し、良い思い出になりました。

Q. 実際に留学にかかった費用はどれくらいですか？

180万円ほどかかりました。留学中に円安が加速したため、予想より多くかかってしまいました。明治大学やフランス文学専攻から留学奨励金をいただけて、とても助かりました。

Q. 留学を志す人へのメッセージをお願いします。

留学に行くか迷っている方がいたら、是非挑戦してみてください。私にとって、フランスで過ごした10か月間は、人生で1番楽しく、実りのある10か月間でした。語学力に不安を感じている方もいるかもしれませんが、意外となんとかなるので大丈夫です。フランス語を常に浴びているうちに、少しずつ成長していききました。少しでも行きたい気持ちがあれば、留学に挑戦してみてください。ただ、出発前の準備、到着後の手続きなどがとても大変だった覚えがあるので、早めに準備するといいかもかもしれません。



バルセロナ自治大学（スペイン）

農学部 生命科学科 2年（渡航時） 水口 海乃
留学期間：2024年2月～3月

Q. 留学をしようと思った理由は何か？

高校時代に長期留学をした経験から、環境を変えて、語学をはじめとする文化を学ぶことの重要性を感じ、大学在学中に、自身が訪れたことのない地で一定期間生活をしたいと考えていました。また、春休み期間を利用した、1か月間の留学という事で、挑戦しやすかったことも決め手の一つでした。

Q. このプログラムを選んだ理由を教えてください。

大学1年生の時に、第二外国語としてスペイン語を学習していたことをきっかけに、語学の上達を目的として、このプログラムを選択しました。また、ヨーロッパはこれまで訪れたことがなく、実際に現地生活を送ることによって文化を肌で感じたいと考えていました。自身のスペイン語レベルに不安もありましたが、初級レベルでも挑戦しやすいプログラムであったことも、選択した理由の一つです。

Q. 留学準備をする上で大切だと思うことは何か？

できる限り語学の学習をすることと、自国の文化について知識を深めておくことは大切だと感じます。特に非英語圏の国では、英語が通じない場合もあり、単語の知識がコミュニケーションをとる上で非常に役に立つと実感しました。また、ホストファミリーや学校の先生と会話をする際に、日本の文化やスペインでの生活との違いなどを話すと喜んでもらえることが多かったため、紹介をすることができるように準備をすることも大切であると考えます。

Q. キャンパスや学生の雰囲気を教えてください。（どこの国からの学生と交流がありましたか？）

バルセロナ自治大学の中でも語学学習に特化したキャンパスに通っていました。歴史ある建物で、ヨーロッパならではの建築がとても素敵だったことが強く記憶に残っています。図書館も自由に利用することができ、授業の復習やテスト勉強のために何度か訪れました。キャンパス全体では、英語圏からスペイン語を学習するために留学に来ている学生が多い印象でした。私のクラスには、明治大学と他大の日本人学生の他に、中国人の留学生が2人とトルコ人の留学生が1人いました。学校終わりに近くのカフェで、お互いの国の文化や今後の進路について話をしたりなど、クラス外での交流もありました。

Q. 留学先での学習・実習内容について教えてください。

渡航前に実施されるテストを基にして、初日にはクラス分けがなされていました。私のクラスでは、指定された教科書を購入して、1か月で1冊分の内容を学習しました。先生は2人いて、午前と午後のクラスで異なりました。授業では、文法事項の確認や教科書を使用した学習の時間もありましたが、基本的には対話ベースで進み、ペアやグループで実際に話すことがメインで行われました。授業はほぼ全てスペイン語で行われるため、スピーキングやリスニング力は特に鍛えられたと感じています。コースの終わりには、4技能すべてのテストが行われ、先生からフィードバックをいただく時間もありました。

Q. 寮（宿泊先）の雰囲気はいかがでしたか？

高齢の女性が1人で住むお宅にお世話になりました。同じようにプログラムに参加した他学部の方と同じステイ先でしたが、1人1部屋を用意してくださり、快適に過ごすことができました。朝と夜のご飯はホストファミリーが用意してくれて、毎回美味しい、スペインならではの手料理を堪能することができました。どれも美味しかったのですが、口に合うかどうかをとてお気にいただきました。特にお気に入りだと伝えた料理はもう一度作ったり、レシピを教えてください、物凄く親切にしていた

短期留学：海外語学研修

きました。学校で起きたことや、自由時間に観光をした場所のことについて話をしたり、おすすめスポットを教えてくださいなど、会話の機会も頻繁にあり、とても良い雰囲気でした。

Q. 授業以外の時間や課外活動として、どのようなことをしていましたか？

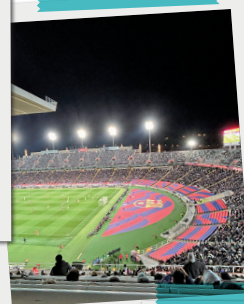
授業が終わった後には、バルセロナの街を散策していました。バルセロナは、アートにあふれた街で、美術館や、ガウディの建築を見るのに多くの時間を使いました。同じクラスの友人と美味しいランチを楽しんだり、1人で買い物を楽しむ日もあれば、学校の図書館で勉強をしたりなど、毎日充実した時間を過ごしていました。また、電車で少し移動をすると、すぐにビーチにアクセスすることができ、様々な楽しみ方ができると思います。また、週末の休みを利用して、スペインの南に位置するアンダルシア地方にも旅行で訪れました。バルセロナとは異なる街の雰囲気や、気候を楽しむことができました。

Q. 今後の展望について（留学前と留学後で変わったことがあればそれも合わせて教えてください。）

留学後には、DELE という、国際的なスペイン語語学試験のA2レベルに合格をすることができました。クラスで扱っていた教科書のレベルが同じA2レベルであり、この語学留学での成果は大きかったと感じています。また、アパレル店での接客アルバイトでも、簡単なスペイン語対応を行うことができるようになりました。特にリスニングやスピーキングのレベルが上がったということはありますが、積極的にスペイン語を話すことに対する抵抗感がなくなったことが一番大きな成長ではないかと感じています。

Q. 留学を志す人へのメッセージをお願いします。

少しでもプログラムに魅力を感じていたら、この機会を活かして参加してみることをお勧めします。語学レベルに不安があったとしても、成長を実感できることは間違いないですし、どうかコミュニケーションをとることは可能なので、生活面でも大きな心配をすることはないのかなと感じます。実際に環境を変えて現地の生活に飛び込んでみることで、自分自身の生活力、適応力であったり、積極性が試されるのが留学の魅力の一つであると思います。また、短い大学生活のなかで、留学を決断することは勇気がいることかもしれませんが、このプログラムは長期休みを利用して短期の留学を行うことができるので、挑戦しやすいです。実際に現地での生活を送ってみて、ネガティブな印象を抱くことがあったとしても、それも貴重な異文化体験であり、視野を広く持つ上での材料になると思います。1か月という短い時間ではありましたが、私は世界を広げることができた非常に良い経験だったと感じています。



エンデラン大学 (フィリピン)

農学部 農芸化学科 2年 (渡航時) 尾野 詩央梨
留学期間：2024年8月

Q. 留学をしようと思った理由は何ですか？

高校生の時から海外に出て日本とは異なる文化、社会の中で生活することに憧れを持っていました。旅行で数日滞在するだけでは見えてこないような文化の違いを肌で感じたかったという理由もあります。もちろん語学力の向上も目指していたので、授業時間が長いプログラムを選びました。

Q. このプログラムを選んだ理由を教えてください。

1番の魅力は他のプログラムよりも費用を抑えることができることに加え、充実した授業内容であったことです。実際に、1日7時間の授業のうち4時間がマンツーマンレッスンという、しっかりとした学習環境を用意していただきました。このプログラムを通して最も成長した点は、英語を使うことへの自信がついたことです。レッスンに取り組むうちに、英語を使って先生方とコミュニケーションが取れていることに喜びを感じ、もっと英語を使って自分の考えを伝えたいと思うようになりました。

Q. 留学準備をする上で大切だと思うことは何ですか？

留学はとりあえず行けばいいというのではなく、その中で自分がどのように取り組むかが大切だと改めて感じました。英語力を高めることに重きを置く場合、授業外でも先生に話しかける、お店の店員さんとのコミュニケーションを意識的に行うなどの行動が必要です。異文化を学ぶ上では、都市部ばかりでなく、休日にはローカルな場所や地域に行ってみるなどがあげられます。このように何を目標とするかで現地での行動が変わってくると感じました。特に短期のプログラムは中長期に比べると時間が限られているので、より意識が大切になってくると実感しました。

Q. キャンパスや学生の雰囲気を教えてください。(どこの国からの学生と交流がありましたか？)

授業時間が一番長いこのプログラムを選んだことによって、周りの参加者もモチベーションが高く、周りの人たちからいい影響を受けることができました。キャンパス内は設備が充実しており、語学を学ぶに日本だけでなく韓国やインドからも多数いらっしゃっていた印象でした。授業のアクティビティとしてキャンパス内の知らない先生や生徒にインタビューをするワークがあったのですが、声をかけた方々が気さくに答えてくださって、素敵な国民性だと感じました。

Q. 留学先での学習・実習内容について教えてください。

授業は毎日7時間でマンツーマン授業が4時間、少人数グループ授業が3時間です。マンツーマンレッスンでは毎回

短期留学：海外語学研修

異なる特定のトピックに関する自分の考えを伝えるトレーニングをします。郷土料理や、音楽だけでなくパンデミック時のお互いの国の様子の話や、AI導入についての話など様々な質問に答えていく授業です。日本とフィリピンとの価値観の違いや文化の違いを肌で感じる経験でもありました。グループ授業ではリスニングや文法、日常の会話などを扱いました。全員に発言の機会が与えられ、発表やプレゼンテーションも多くあったため、自分の意見だけでなく他者の意見も聞くことができる授業でした。

Q. 寮(宿泊先)の雰囲気はいかがでしたか？

4人部屋としては少し狭い印象がありましたが、ルームメイトと協力しながら自分たちで快適に過ごす工夫ができたのは良かったです。寮のスタッフの方とのコミュニケーションももちろん英語なので、困ったことがあった時は、いかに正確に自分の伝えたいことを話せるかというトレーニングにもなりました。

Q. 授業以外の時間や課外活動として、どのようなことをしていましたか？

授業以外の時間は基本的に自由に行動できました。食事は自分で用意する必要がありましたが、フィリピン料理の美味しさに気がついてからは毎食フィリピン料理を食べるほど虜になりました。また、フィリピンはアジア最大級のショッピングモールがあるほど、大型のショッピングモールがいくつかあります。そこへ寮の仲間と一緒にいくなどして過ごしました。移動の道中でリアルなフィリピンの文化や貧富の差を目の当たりにするというカルチャーショックも経験しました。外を出歩いてみると、綺麗な大型の施設がある一方で、路上で生活している人々が多くいるという現状を知ったことも印象深かったです。クラス全体で観光する日もあり、世界遺産や、博物館に連れて行っていただき、フィリピンの歴史を学ぶこともできました。

Q. 今後の展望について(留学前と留学後で変わったことがあればそれも合わせて教えてください。)

短期間でも英語の環境に身を置いたことで、自分の英語力の現状を把握し、さらに伸ばすための具体的なステップを考える機会となりました。また、異なる文化や価値観を持つ人々と交流したことで、自分の視野が広がり、多様性を受け入れる力や国際的な視点を養うきっかけとなりました。以前から将来的に海外で勤務することに興味がありましたが、今回の経験により、海外の人と関わっていくイメージがより具体的になりました。

Q. 留学を志す人へのメッセージをお願いします。

貴重な経験がたくさんでき、英語力だけでなく精神的な成長も実感することができたと心から思います。短い期間ではありましたが、海外での生活を通して、日本を外から客観的に見ることができ、日本の豊かさや、日本での日々の生活へのありがたみを痛感しました。自分の視野の狭さや固定観念にも気が付くことができました。留学先での楽しいことも辛かったこともすべて自己成長につながったと自負しています。体調管理には十分気を付けて、事故やけがのない留学になることを願っています。



FPT大学（ベトナム）

国際日本学部 国際日本学科 4年（渡航時） 杉山 太陽
留学期間：2024年8月～9月

Q. 留学をしようと思った理由は何ですか？

非英語圏での生活を通して、自分のキャリアの選択肢を広げるため、また、東南アジアの文化を旅行ではなく長期滞在のプログラムを通して把握するためという2点です。非英語圏については、これまでアメリカ留学経験はあったのですが、英語が通じない国への留学をしたことがなかったため、言語の壁が存在している地域での生活が可能なのか、人間関係の構築は容易なのかなどについて体験して、将来自分が非英語圏での生活が可能なのかを考慮していました。東南アジア文化については、ベトナム含めた東南アジアは、これまで自分が行ったことのない地域であり、1ヶ月滞在することで自分が将来ビジネスをする上で活用できるような東南アジア地域の社会問題やニーズ、国民の文化観などを知りたいと考えていました。

Q. このプログラムを選んだ理由を教えてください。

現地のビジネス文化を把握できると考えたためです。語学留学や大学に通う形式の留学は既に経験していたものの、現地でインターンをする経験はこれまでありませんでした。そこで自分が社会人になる前段階で、海外での仕事がどれだけ日本での仕事と異なっているのか、自分に合っているワークスタイルはどちらなのか、生活だけでは感じ取れないビジネス面での文化観、価値観はどのようなものなのかを把握したいと考えていました。

Q. 留学準備をする上で大切だと思うことは何ですか？

現地特有の文化やボキャブラリーについて把握することだと思います。ベトナムの人と話す時に、ベトナム戦争や徴兵制、大学の入試制度などを知っておくだけで会話の質が格段に上がります。留学中に自分が得られる学びの幅も非常に大きくなります。ボキャブラリーについても日本では聞き馴染みのない料理名や地名、人物名などを覚えているだけで質問への受け答えがスムーズにできるようになり、現地の人とのコミュニケーションが円滑に進むようになりますし、それができれば友情が深まって、より濃い留学生活を送れるようになる可能性が高まると思います。

Q. キャンパスや学生の雰囲気を教えてください。（どの国からの学生と交流がありましたか？）

FPT大学のキャンパスは付属の高校棟が併設されていて、大学のキャンパスとしては2棟、グラウンドや食堂なども含めた広さは和泉キャンパスと同じくらいでした。夏休み期間中のプログラムなので、現地の学生はほとんど帰省中で、明治大学のプログラムにアシスタントとして6人の現地学生が入ってくださっていました。他の国からもプログラムの参加者はいたそうなのですが、基本的に大学での授業は明治大学の学生のみ、また、他の国から来た学生は宿泊先も別なので、交流はほとんどなかったです。

Q. 留学先での学習・実習内容について教えてください。

最初の1週間は現地の大学に通って、ネイティブスピーカーの先生から

短期留学：海外キャリア実習

ビジネス英語についての授業を受けました。最後の登校日にプレゼンを終えた後は4週間、現地の企業でインターンをしていました。業務内容は各学生の就業先によって大きく異なっており、ホテルの受付、SNS投稿、学校の先生など様々でした。私の就業先は金融系だったので、主に業界のリサーチとその内容を上司にプレゼンすることがメインでした。

Q. 寮（宿泊先）の雰囲気はいかがでしたか？

ビーチから徒歩10分の場所にある朝食付き2人1部屋のホテルで、明治大学からの参加者約20人はもちろんのこと、同じプログラムに参加している他の大学からの人が北は福島から南は沖縄まで30人近く同じビルに滞在していました。そのため、夜も友達との部屋に遊びに行ったり、朝食会場で一緒に朝ごはんを食べたりと、非常に賑やかで楽しい雰囲気の施設でした。受付の方も非常に親切で、割高ですが換金やランドリーのサービスもあるので非常に恵まれた環境の施設でした。

Q. 授業以外の時間や課外活動として、どのようなことをしていましたか？

ダナンはビーチリゾートとして有名な街なので、パラセーリングやシュノーケリングをしていました。加えてダナンは、サンワールド（遊園地）、ホイアン市街地、フエ王宮、マーブルマウンテン（洞窟）、ナイトマーケット、ミーソン遺跡など観光スポットも非常に多く、休日は観光地を巡っていました。9月の頭にはベトナムの独立記念日で大型連休があり、その時期はインターンも休日になるので2泊3日でハノイに国内旅行にも行きました。

Q. 今後の展望について（留学前と留学後で変わったことがあればそれも合わせて教えてください。）

今後は東南アジアのインフラ関係の仕事ができればと思っています。それを実現する上でまず今回のプログラムを通して現地の文化や生活を体験することができたため、今後はビジネス面での金融、政治、インフラの専門知識などを身につけて、まだ発展途上の東南アジアのインフラ環境を改善できるよう尽力していきたいと思っています。

Q. 留学を志す人へのメッセージをお願いします。

留学は短期/長期、英語圏/非英語圏によって環境も生活も大きく異なります。1ヶ月の場合だと、言語スキルが飛躍的に向上することは正直難しいです。ただそれ以外の部分で、限られた期間の中でも、日本にいただけでは体験できない多くの機会が転がっているの、自分が何をしたいのか分かっていなかったり留学経験がなくて不安という方には1ヶ月の短期留学は非常にオススメです。夏休み期間中のプログラムということもあり、進学や就活にも大きく影響することはないので、その面でも遅れを取らずに自分の世界を広げてみたいという方には非常に合ったプログラムだと思います。



ケンブリッジ大学コーパス・クリスティカレッジ (イギリス)

理工学部 建築学科 2年（渡航時） 下田 伊織
留学期間：2024年8月～9月

Q. 留学をしようと思った理由は何ですか？

小さい頃から外国の文化や生活に興味があったからです。中学生の時にマレーシアに行った際、手でご飯を食べるという文化を体験し、異文化に衝撃を受けました。国によって生活や文化、考え方が異なることが面白いと思い、さまざまな国の文化に触れていきたいと思うようになりました。そして、留学では旅行とは異なり、実際に現地で生活するので、現地の文化や生活に触れられると思い留学を決意しました。

Q. このプログラムを選んだ理由を教えてください。

Art&Architectureの授業に惹かれたからです。大学で建築を学んでいることもあり、ヨーロッパの建築に興味がありました。実際にイギリスの建物や街並みを見ながら、建築を学ぶことは貴重な経験になると思い、このプログラムに応募しました。また、ヨーロッパの文化にも興味があったのでイギリスを選びました。

Q. 留学準備をする上で大切だと思うことは何ですか？

情報を集めることが大切だと思います。現地での生活やマナー、気候を事前に調べておくことをおすすめします。情報を集めておくことで、生活に余裕が生まれ、充実した留学生活を送ることができます。また、このプログラムはテーマ特化型ということもあり、それぞれのテーマについての知識が必要とされました。私は今まで環境問題について考える機会が少なかったため、環境の授業のディスカッションでなかなか話すことが出来ませんでした。現地で学ぶことについての知識や情報を集めておくことが大切だと思います。

Q. キャンパスや学生の雰囲気教えてください。（どこの国からの学生と交流がありましたか？）

ケンブリッジは約30個のカレッジが集まっており、自然豊かで、学生が賑う学園都市になっています。カフェやパブ、公園、雑貨屋などがあり、街を歩くだけでも楽しめました。夏休みということもあり、観光客も多く、朝から夜まで常に賑わっていました。また、古い建物がほとんどですが、教室はとても綺麗で、過ごしやすかったです。このプログラムでは、PAと呼ばれるケンブリッジ大学の学生が、授業のサポートとイベントの企画をしてくれました。PAの方はとても優しく、拙い英語でもしっかりと話を聞いてくれたので、英語を話すことに抵抗がなくなりました。

Q. 留学先での学習・実習内容について教えてください。

Art&Architecture、Science、Environment、Entrepreneurshipの4つの授業があり、この中から3つ以上受講することができます。私は、Art&Architecture、Science、Environmentの3つの授業を受けました。Art&Architectureでは、実際に美術館や教会に行き、絵画や建築を学びました。Scienceでは、座学以外にペットボトルロケットや紙飛行機を飛ばす実験があり、楽しく授業を受けることができました。Environmentでは、環境問題についてディスカッションやディベートをしました。全ての授業でPAの方がついてくれるので、分からなかったことがあっても丁寧に教えてくれます。最後にプレゼンテーションとテストがあったため、最後の週は、課題とテスト勉強に追われとても大変でしたが、授業が終わった時は達成感でいっぱいでした。

Q. 寮（宿泊先）の雰囲気はいかがでしたか？

寮生活で、部屋がとても綺麗だったので快適に過ごすことができました。初めての一人暮らしで最初は不安でしたが、とても過

短期留学：海外テーマ特化型

ごしやすいのですぐに慣れました。清掃の方はとても親切だったので、生活で困ったことがあってもすぐに解決してくれました。また、留学前、たくさんの人にイギリスのご飯は美味しいと言われましたが、寮のご飯はとても美味しく、日本食が恋しくなることはありませんでした！

Q. 授業以外の時間や課外活動として、どのようなことをしていましたか？

平日の授業以外の時間は、PAの方が企画したイベントに参加していました。みんなでアイスを食べに行く企画やスポーツ大会などがありました。また、ケンブリッジにはお店や公園がたくさんあり、自由時間にはお散歩や買い物をしていました。休日は、ロンドンやセブンススターズ、オックスフォードなどにお出かけしました。イギリスは、電車のストライキやキャンセルが多く、だいたい予定通りの電車に乗ることはできません。電車が止まって今日中に帰れなくなるかも…と不安になったこともありましたが、今では良い思い出となっています！

Q. 今後の展望について（留学前と留学後で変わったことがあればそれも合わせて教えてください。）

留学前は、考え方や文化が異なることでカルチャーショックを受けると考えていました。しかし、実際行ってみると、日本がイギリスを参考にしているところもあり、想像していたよりも異文化を感じることはありませんでした。実際に経験しないと分からないということを、この留学で学んだと思います。今後、色々な国に行き、自分の目でその国の生活にや文化を見ていきたいと思うようになりました。

Q. 留学を志す人へのメッセージをお願いします。

留学に少しでも興味があったら、ぜひ挑戦して欲しいと思います。留学プログラムに申し込む前は、いろいろなことに悩むと思います。しかし、そこで一歩踏み出すことで、自分自身を大きく変えることができます。私も実際、留学プログラムに申し込む前は悩みましたが、この留学で貴重な経験をし、今では留学して良かったなと思っています。留学する理由はさまざまなので、自分なりの目標をもって挑戦してみてください！



はじめに MESSAGE

みなさんはなぜ海外への留学を考えているのでしょうか？その理由はそれぞれ異なるでしょう。しかし、恐らく共通しているのは、現在の皆さんの明治大学における学習が海外の大学で勉強したいと考えるようになったきっかけだということだと思います。そのように、1つのことをきっかけに、何かにチャレンジしようと考え行動することは非常に重要です。学生の今だからできる特権であるように考えます。

さて、我々の生きている世界は混沌としています。解決の困難な問題ばかりです。みなさんが留学先で肌で感じることは、そうした問題がなぜ発生するのか、その理由の一端を垣間見るきっかけになるのではないかと思います。そしてみなさんの留学先での体験は、みなさんと同世代の若者たちが何をどのように見て考えているのかを知る絶好の機会になると思います。そのような体験は、留学先での勉強と同様にみなさんにとって貴重な財産となることでしょう。是非留学を自分の人生を形成していくための、そして多様なものの見方を習得するための機会としていただきたいと思います。そのために、我々明治大学のスタッフ一同はみなさんの留学をサポートするために様々な準備をしています。

しかしながら、実際に留学するのはみなさん自身であるのですから、この「手引き」に書かれていることを熟読し、有意義で無理のない留学計画を立てることも大切です。留学先に到着し、実際に生活を始めてみると、日本での日常との違い、すなわち日本では常識だと思っていたことがそうではない、といったようなことがあるだろうと思います。そのようなときにどのように対処するのか、事前にこの「海外留学の手引き」を参照し、十分に計画を練ってください。みなさんの留学が実り多いものとなることを願っております。

国際教育センター長
2025年4月

目次 CONTENTS

明治大学の留学制度概要・留学ロードマップ	01
中期・長期留学できる協定校	02
明治大学から世界へ—留学体験記—	03
1. 明治大学の留学制度	12
短期留学	12
中期・長期留学	15
長期海外実習	21
2. 留学に向けた計画と準備 留学前	22
STEP 1 留学計画を立てる	22
STEP 2 留学プログラムに出願、入学（参加）許可を受ける	28
STEP 3 留学・渡航に向けて各種手続きを始める	30
3. 留学の際の注意点 留学中	34
4. 帰国の手続き、その他 留学後	36
5. 協定留学対象校紹介	37
大学間協定留学	37
学部間・研究科間協定留学	48
6. 留学に役立つ情報・リンク集	56
語学能力試験・適正試験	56
学外奨学金情報（海外留学）	59
各国情報・留学関連情報	60
7. よくある質問とその回答	61
8. 大学間協定留学に関するデータ	69
9. 明治大学学生外国留学に関する規程（抜粋）	73



明治大学の留学制度

留学の種類

明治大学では、語学力の向上や海外での勉学や実習等に興味のある方を対象として、様々な留学制度を設けています。留学期間によって、主に長期休暇期間（夏季・春季）を利用した「短期留学」と、約1学期間から1学年間にわたる「中期・長期留学」の2種類に分けることができます。また、長期海外実習やその他の留学プログラムも実施しています。

留学の目的や明治大学での学習計画によって、自身に最適なプログラムを選びましょう。

種類	種別	期間	主催
短期留学	海外語学研修	1 か月程度	国際教育センター 各学部・研究科
	海外実習		
	海外テーマ特化型研修		
中・長期留学	大学間協定留学（交換型・授業料負担型）	1 学期間～1 学年間	国際教育センター
	学部間・研究科間協定留学（交換型・授業料負担型）		各学部・研究科
	認定留学		—
長期海外実習	国連ユースボランティア	1 学期間（約 5 か月）	国際教育センター

1. 短期留学

明治大学国際教育センターの短期留学には、語学力の向上や特定の国・地域の文化の理解を目的とした「海外語学研修」、海外でのインターンシップを中心とする「海外実習」、グローバル人材の基礎となる教養、専門分野について学ぶ「海外テーマ特化型研修」など、多くのプログラムが設けられています。

また、各学部が、学部の特徴に合わせたプログラムを催行しています。

1 国際教育センター主催の短期留学プログラム



https://www.meiji.ac.jp/cip/shortterm_programmes.html



国際教育センター主催プログラムには、「グループ渡航型」と「個人渡航型」があります。それぞれの特徴は以下の通りです。

【グループ渡航型】

- ・全学部横断で募集し、グループで研修に参加します。
- ・研修校への提出書類や、渡航手続き等の留学前準備を国際教育センターがサポートします。
- ・初めての海外でも安心なプログラムです。

【個人渡航型】

- ・民間業者が催行するプログラムを国際教育センターが内容を確認し、本学学生向けに適切と判断したプログラムを提供します。
- ・個人で各プログラムに申し込み、修了することで単位を付与します。
- ・夏季・春季休暇期間内であれば渡航・帰国日を自由に決めることができます。
渡航の自由がある反面、自分で考え、自分自身で対応する必要があります。

どちらの場合も本学指定の保険への加入は必須です。この保険には危機管理会社による24時間サポート（日本語）が附帯されています。

次ページはグループ渡航型プログラムの一覧です。個人渡航型プログラムは、上記 URL を参照してください。

1. 海外語学研修(2単位)

実施時期	言語	国	研修先	募集人数
夏季 8～9月	英語	イギリス	シェフィールド大学	20名
		カナダ	ヨーク大学	20名
			マクマスター大学	20名
		フィリピン	エンデラン大学(3週間・6週間・オンライン)	50名
	ドイツ語	オーストリア	ウィーン大学	20名
	フランス語	フランス	リヨン・カトリック大学	15名
	中国語	台湾	国立台湾師範大学	15名
春季 2～3月	英語	オーストラリア	アデレード大学	25名
		ニュージーランド	オークランド大学	20名
		カナダ	ユークン大学	15名
			ブリティッシュ・コロンビア大学	20名
			ビクトリア大学	20名
		フィリピン	エンデラン大学(3週間・6週間・オンライン)	50名
	スペイン語	スペイン	バルセロナ自治大学	15名

2. 海外実習(2単位)

実施時期	言語	国	プログラム名	募集人数
夏季 8～9月	英語	オーストラリア	海外キャリア実習(オーストラリア)	20名
		ベトナム	海外キャリア実習(ベトナム)	20名
		マレーシア	UTM Study Tour	20名
春季 2～3月	英語	アメリカ	サンフランシスコで学ぶソーシャルイノベーションプログラム	5名
	英語・日本語	ベトナム	海外キャリア実習(ベトナム)	20名
			FPT Study Tour	15名
	英語・日本語	タイ	タイ言語&文化プログラム	20名
			海外キャリア実習(タイ)	20名
			海外ボランティア実習(タイ)	20名

3. 海外テーマ特化型研修(2単位)

実施時期	言語	国	プログラム名	募集人数	言語要件 TOEIC(IPを含む)
夏季 8～9月	英語	イギリス	ケンブリッジ大学コーパスクリスティ校	20名	550点
		ベトナム	ベトナム国家大学ホーチミン市人文社会科学大学	20名	500点
春季 2～3月	英語	アメリカ	テンプル大学	20名	550点
			カリフォルニアデービス校	30名	400点

2 学部・研究科主催の短期留学プログラム



各学部・研究科において、主に夏季・春季の長期休暇期間を利用した短期プログラムを実施しています。各学部が主催する短期留学プログラムでは、一部のプログラムを除き、他学部生の参加を認めています。詳細は各プログラムの募集要項をご確認ください。

2024年度までに実施されたプログラムまたは2025年度実施予定プログラムの一例は次の通りです。
実施先等が変更・追加となる場合がありますので、応募方法やプログラム詳細については、各学部・研究科に確認してください。

学 部

学部	プログラム名	言語	国	実施時期（期間）
法学部	ケンブリッジ大学コーパス・クリスティ・カレッジ夏季法学研修	英語	イギリス	8月中旬～9月中旬（4週間）
	ハワイ大学春期法学研修	英語	アメリカ	2月下旬～3月初旬（2週間）
商学部	ミュンヘン大学付属語学学校ドイツ語夏期集中講座	ドイツ語	ドイツ	8月（約4週間）
	フレンチ・ファッション（Mod' Art International）	英語・フランス語	フランス	2月（2週間）
	The World of Australian Wine（WAW）	英語	オーストラリア	2月（3週間）
政治経済学部	ノースイースタン大学短期留学プログラム（夏期）	英語	アメリカ	8月（3週間）
	タイ短期留学プログラム（夏期）	英語	タイ	8月（3週間）
	西シドニー大学短期留学プログラム（春期）	英語	オーストラリア	2月上旬～3月上旬
	ベトナム国家大学短期留学プログラム（夏期）	英語	ベトナム	8月（4週間）
	ロンドン大学東洋アフリカ研究学院（SOAS）IFCELSサマープログラム	英語	イギリス	8月中旬～9月上旬
	オックスフォード大学レディ・マーガレット・ホールサマープログラム	英語	イギリス	8月（3週間）
	LSE Summer School（ロンドンスクール オブエコノミクス アンドポリティカルサイエンス サマースクール）	英語	イギリス	6月中旬～8月中旬の3～10週間
文学部	トロント大学短期語学研修プログラム（春期）	英語	カナダ	2～3月（4週間）
	トロント大学短期語学研修プログラム（夏期）	英語	カナダ	8月（4週間）
	ロンドン大学東洋アフリカ研究学院（SOAS）IFCELSサマープログラム	英語	イギリス	7月～9月中旬の3～6週間
理工学部	国際実習「タイプログラム」	タイ語・日本語	タイ	9月上旬の10日間程度
農学部	国際農業文化理解（タイ）	タイ語・英語	タイ	9月上旬（約1週間）
	国際農業文化理解（バリ）	英語	インドネシア	9月上旬（約1週間）
経営学部	IBP（International Business Program）A（ポートランド州立大学）	英語	アメリカ	8月中旬～9月上旬（約4週間）
	IBP（International Business Program）B（ポートランド州立大学）	英語	アメリカ	2月中旬～3月上旬（約4週間）
	ISIBM（International Summer Institute for Business Management）	英語	カナダ	8月上旬～8月下旬（約3週間）
	グローバル・サービスマーケティング（Global Service Learning）A	英語	インドネシア	8月下旬～9月中旬（約2週間）
	グローバル・サービスマーケティング（Global Service Learning）B	英語	フィリピン	2月下旬～3月上旬（約2週間）
情報コミュニケーション学部	タイ短期学生交流プログラム/国際交流（タイ）（シーナカリンウィロート大学）	日本語	タイ	8月下旬～9月上旬（約2週間）
	海外ロケ体験プログラム/国際交流（メディア）	英語	未定	2月下旬～3月上旬（約2週間）
	ロンドン大学東洋アフリカ研究学院（SOAS）IFCELSサマープログラム/国際交流（イギリス）	英語	イギリス	7月上旬～9月中旬（3～9週間）
国際日本学部	海外ボランティア（ブディルフル大学）	英語	インドネシア	8月（3週間）
	ICYE JAPAN（特定非営利活動法人国際文化青年交換連盟日本委員会）海外ボランティアプログラム（認定）	英語	開催年によって異なる	8月（3～4週間） 2月～3月（3～4週間）

2. 中期・長期留学

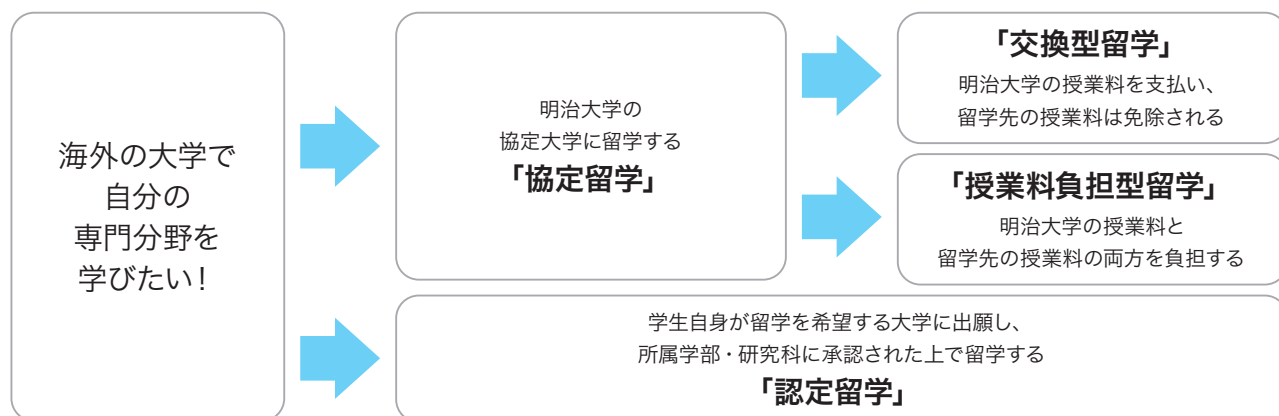
1 「協定留学」と「認定留学」の制度概要

明治大学は、学部生、大学院生のみなさんが、在学中に原則として、1学期間から1学年間の中期・長期留学ができる海外留学制度を設けています。この中期・長期留学制度には、大きく分けて「協定留学」と「認定留学」という2つの形態があります。いずれも明治大学に在籍したまま留学ができ、留学先で修得した単位が一定の条件の下で明治大学の卒業要件単位として認定されます。

以下で制度の概略を説明しますが、取扱いは学部や研究科によって異なるため、これらの制度の適用については、自分自身で所属学部・研究科事務室で必ず確認してください。

また、**明治大学の留学制度を利用しないで1学期間以上の留学をする場合は、継続履修制度、単位認定 P.18 等は適用されないので注意してください。**

■明治大学の海外留学制度：協定留学・認定留学 ※休学しての利用不可



1. 協定留学

協定留学とは、明治大学と世界各国の高等教育機関との協定に基づいて、原則として、1学期間から1学年間留学するプログラムです。**協定留学の制度を利用するためには、学内選考に合格し、明治大学から派遣候補生として推薦される必要があります。**

協定留学には「大学間協定留学」と「学部間・研究科間協定留学」の2種類があります。

また、授業料支払いの有無によって「交換型」と「授業料負担型」の2種類に分けられます。交換型で派遣可能な学生数は各大学につき2名程度、授業料負担型では5～10名程度です。授業料負担型の場合、留学先の授業料・経費を助成する「明治大学外国留学奨励助成金」への申請が可能です。

■留学の種類

留学プログラム主催者による分類

大学間協定留学	対 象	全学部・全研究科の学生が対象 ※ただし、一部協定校においては留学可能な学部・研究科の指定があります。詳細は募集要項をご確認ください。
	手 続 き	国際連携事務室にて学内募集・選考・派遣の手続きを行います
	問い合わせ先	国際連携事務室
学部間・研究科間協定留学	対 象	所属学部・研究科の学生が対象（一部例外あり）
	手 続 き	所属学部・研究科にて学内募集・選考・派遣の手続きを行います
	問い合わせ先	所属学部・研究科事務室

留学先の授業料の負担有無による分類

交換型	授 業 料	留学先の授業料は免除（明治大学の学費は納入する必要があります）
	定 員	各大学2名程度（協定校でも、年度により募集がない場合があります）
授業料負担型	授 業 料	留学先授業料は自己負担（明治大学の学費も納入する必要があります）※授業料助成制度あり P.31
	定 員	各大学5名～10名程度（協定校により異なります）

■応募資格

協定留学(大学間)の応募資格

2025年秋出発協定留学(大学間、交換型)募集要項より抜粋。条件は変更になる可能性があります。必ずホームページで公開する最新の募集要項を確認してください。

協定留学募集要項



<https://www.meiji.ac.jp/cip/admission/index.html>



以下1～5全ての条件を満たす者

1 明治大学の正規生であること

学部生：在学1学期相当あたり卒業要件単位を15単位以上修得していること。

大学院生：指導教員の許可を得た者。

休学中の応募可。ただし、留学を開始する学期には必ず復学していること。また、各種手続き（面接審査・オリエンテーションへの出席等）は、休学中であっても滞りなく行うこと。

2 外国において長期にわたって生活をする上で心身共に問題がないこと

持病や既往症がある方は、必ずかかりつけ医等の了承を得た上で、診断書を添付し応募すること。

3 留学にかかる経費を理解し、経済的な裏付けが得られること

学内選考合格後、協定校への出願手続きにおいて、留学期間中に必要な費用が準備されていることの証明が求められた場合は、金融機関が発行する残高証明書が提出できること。

4 誓約書に記載されている事項に同意し、さらに保証人（保護者）の同意を得られること

必ず事前に保証人（保護者）の同意を得た上で、学内選考に応募すること。

5 希望する協定校が定める出願条件（「出願条件等一覧」に記載）を全て満たしていること

GPA要件について

希望する協定校のGPA要件を満たしていること。ただし、協定校が要件を設定していない場合は2.0を最低要件とする。また、学内選考に合格した場合、協定校への出願時・出発時においても、協定校の定めるGPA要件を満たしていること。万が一一回った場合には派遣不可となるため注意すること。

語学要件について

学内選考（オンライン応募）時点で、希望する協定校の要件を満たすスコア（複数選択肢がある場合はいずれか一つ）を提出できること。要件を満たしていない大学を希望校に含めた場合、その大学は選考対象外となるので注意すること。また、学部・学科によって要件が異なる大学もあるため、「出願条件等一覧」に記載されている注意事項をよく確認の上応募すること。

英語	TOEFL iBTまたはIELTS (Academic モジュール) にて、希望大学の要件を満たしていること。 ただし、協定校が要件を設定していない場合はTOEFL iBT 61点 / IELTS 5.5点を最低要件とする。
その他言語	希望大学の要件を満たしていること。ただし、協定校が要件を設定していない場合はCEFR* B1レベルを最低要件とする。また、協定校が証明書の提出を求めている場合に限り、明治大学教員による語学能力評価表（所定書式）を提出することで応募可とする。 *CEFR P.56 参照

協定留学(学部間・研究科間)の応募資格

所属学部・研究科に確認してください。

2. 認定留学

認定留学とは、明治大学の学生が自分で留学先の大学（高等教育機関）を選んで出願し、所属学部・研究科に認められた上で留学する制度です。認定留学をするためには、原則、留学先の大学から入学許可を得た時点で所属学部・研究科に留学願を提出し、学部・研究科において承認される必要があります。学費は明治大学と留学先大学の両方に支払う必要があります（留学先の授業料や経費を助成する「明治大学外国留学奨励助成金」への申請が可能です **P.31**）。協定留学との最も大きな違いは、留学先を世界各国の大学（高等教育機関）の中から選択することができる点です。

■認定留学の条件

1 共通の条件

留学先は学位の授与権を有する高等教育機関又は所属学部教授会、研究科委員会、研究科教授会がそれに準ずるものとして認定した高等教育機関等であること。留学先機関における教育課程は、所属学部教授会、研究科委員会又は研究科教授会の認める課程とする。

2 学部・大学院それぞれの条件

- | | |
|------|--|
| 学部生 | ①明治大学に1学期以上在学していること
②在学1学期相当あたり卒業要件単位を15単位以上修得していること
③留学先機関の定める出願条件を満たしていること |
| 大学院生 | ①指導教員等の許可を得た者
②留学先機関の定める出願条件を満たしていること |

※条件は学部・研究科によって異なる場合があります。

■認定留学の注意点

認定留学の申請条件、申請締切等は学部や研究科によって異なるため、自分自身で所属学部・研究科事務室で必ず確認して下さい。

留学先において学習する内容が明治大学における専攻と大きく異なる場合は、認定留学として認められない可能性があるため、出願前に所属学部・研究科において、どのようなプログラムに参加するのか、どのような授業を履修予定なのかを含め、相談してください。

2 「協定留学」・「認定留学」を比べてみよう

	協定留学	認定留学
資格	- 協定校が定める条件を全て満たしていること - 学部生 1学期以上在学 - 在学1学期相当あたり卒業要件単位を15単位以上修得していること ※年次によって出願できない協定校もある。詳細は募集要項等を確認すること - 大学院生 指導教員等の許可を得た者	- 留学先が定める条件を全て満たしていること - 学部生 1学期以上在学 - 在学1学期相当あたり卒業要件単位を15単位以上修得していること - 大学院生 指導教員等の許可を得た者
留学先	明治大学と留学の協定を結んでいる高等教育機関等（ P.2 P.37 参照）	学位の授与権を有する高等教育機関等、又は所属学部教授会・研究科委員会・研究科教授会がそれに準ずるものと認定した高等教育機関等 ※自分自身で留学先機関を選択
募集人数	- 交換型 各大学につき毎年度2名程度（協定校により異なる） - 授業料負担型 各大学につき毎年度5名～10名程度（協定校により異なる）	制限なし
授業料	- 交換型 留学先授業料は免除（明治大学の学費のみ納入） - 授業料負担型 留学先授業料も自己負担（明治大学と留学先の両方の学費を納入）	全て自己負担（明治大学と留学先の両方の学費を納入）
助成金	留学経費の助成制度あり	留学経費の助成制度あり
選考内	あり	なし
手続き	1. 留学プログラム主催部局（国際教育センターまたは学部・研究科）に応募書類を提出 2. 学内選考（書類審査、面接審査） 3. 学内選考合格後、協定校に出願 4. 協定校から入学許可書を受領 5. 留学願を所属学部・研究科事務室に提出 6. 所属学部・研究科から留学許可を得る 7. 留学へ出発	1. 自分で留学希望先の高等教育機関等に出願 2. 入学許可書を受領 3. 留学願を所属学部・研究科事務室に提出 4. 所属学部・研究科から留学許可を得る 5. 留学へ出発 ※学部により手続きの流れが異なる場合があります。
外国語能力	留学先、学部により要求されるスコアが異なる ※大学間協定留学に英語で出願する場合は原則TOEFL iBT61点 またはIELTS5.5点以上が必要 ※その他の言語で出願する場合はCEFR* B1レベル以上の語学力が必要 *CEFR P.56 参照	留学先大学により異なる
募集時期	① オーストラリア、韓国、一部の南米地域：5～6月頃 ② ①以外の国・地域：10～11月頃	募集・出願時期は留学先により異なる

	協定留学	認定留学
留学期間	原則として1学期間から1学年間	原則として1学期間から1学年間
窓口	国際連携事務室または所属学部・研究科事務室	所属学部・研究科事務室

※学部間・研究科間協定留学の場合、募集人数・手続き・募集時期等が上記と異なる場合があります。詳しくは所属学部・研究科事務室に確認してください。

3 「協定留学」・「認定留学」の主な共通点



1. 明治大学に在籍したまま留学します

明治大学の留学制度（協定留学又は認定留学）を利用して留学をする場合は、休学をせず在籍したまま留学をします。留学期間中は在学年数に算入されるため、学部生は、諸条件を満たせば4年間で卒業することが可能となります。

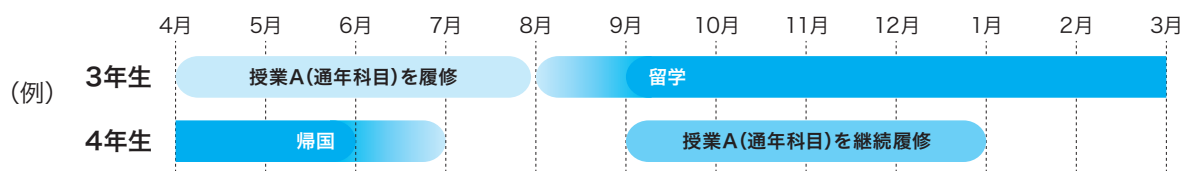
※休学して本留学制度を利用することはできません。

2. 継続履修制度を適用できます

明治大学と留学先の学年暦のずれにより、明治大学の通年科目の履修に支障が出ることがあります。これを解消するのが継続履修制度です。

出発年度の春学期と帰国年度の秋学期で同一科目を履修し、その履修を合わせて、1年間継続して履修したものとみなします。この制度の利用により、留学期間の1年を含めて4年間で卒業できる可能性があります。ただし、そのためには、学部・研究科ごとの卒業要件を満たす必要があるため、あらかじめ明治大学及び留学先の履修計画をよく検討する必要があります。継続履修願は、留学願と一緒に所属学部・研究科に提出します。

※学部生の場合、学部により、ゼミ・卒業論文等の取扱いが異なりますので、事前に所属学部で十分確認してください。



3年生の4～7月（春学期）に授業A（通年科目）を履修

→ 3年生の8～9月から留学

→ 翌年（4年生）6～7月頃帰国

→ 4年生9月（秋学期）から授業A（通年科目）を継続履修

→ 4年生の翌年1月で履修終了

※学部・研究科により異なりますので、留学前に必ず所属学部・研究科に相談してください。

■教職課程・社会教育主事課程・学芸員養成課程・司書課程・司書教諭課程の履修者に係る注意事項

資格課程の設置科目は、原則として学部等の設置科目の取扱いに準じますが、学外で実習を行う科目などは、詳細な履修計画と手続きが必要となります。留学を希望する場合は、資格課程事務室に早めに相談してください。

3. 留学先で修得した単位が認定されます

留学先で修得した単位については、所属学部・研究科における審査を経て、明治大学の卒業要件単位として認定される制度があります。ただし、留学先で修得した単位が自動的に明治大学の単位として認定されるわけではなく、また、必ずしも修得した単位の全てが認定されるわけではないため、十分に注意してください。また所属の学部・研究科により次の取り扱いが異なる場合があります。

■認定される科目の範囲

- ① 原則として、所属学部・研究科設置科目に相当するもの及び関連科目で、未修得の科目であること。例えば留学先で「社会学」という名称の科目の単位を修得したとしても、明治大学で既に同内容又はそれに相当する「社会学」の科目で単位を修得している場合は認定されません。
- ② 上記に該当しない科目については、本人の留学目的、専攻等を考慮し、学部・研究科において決定します。
- ③ 卒業論文・卒業指導は原則として認定される科目の範囲から除きます。

■単位認定の方法 P.36 参照

単位認定は所属学部・研究科にて行います。帰国したら、所属学部・研究科で帰国届とともに単位認定願を受け取り、指定された期日までに必要書類を添えて、所属学部・研究科に提出してください。提出された書類を基に、学部教授会、研究科委員会又は研究科教授会が審査・認定します。場合により、別途面接や筆記試験が課されることがあります。

必要となる書類

- ①単位認定願 ②留学先の正式な成績証明書 ③留学先で受講した講義の概要がわかる資料（明治大学のシラバスに該当する情報：単位数、講義時間数、課題、成績評価基準等を示す文書・資料）④その他所属学部・研究科が提出を求める資料

※必要書類は所属学部・研究科によって異なる場合がありますので、所属学部・研究科の事務室に確認してください。

■単位数の換算

原則として、留学先で修得した科目の単位数を、シラバス等記載の授業時間数に基づき明治大学の単位数に換算した上で認定します。留学先で修得した単位数がそのまま認定されるわけではないので、十分に注意してください。

4. 留学の期間

- 協定留学又は認定留学の制度を利用した場合、留学期間は原則として1学期間から1学年間で、明治大学の在学期間に算入されます。1学年間とは授業が実際に行われている期間を指し、9～11カ月間が一般的です。例えば、8～9月から留学した場合、帰国時期は通常翌年の5～7月頃になります。なお、留学期間については、所属学部・研究科により取扱いが異なる場合がありますので、事前に所属学部・研究科事務室によく相談するとともに、国際連携事務室にも相談をしてください。
- 帰国の時期、帰国届の提出日等により、履修に伴う手続きに影響が出る場合があります。所属学部・研究科事務室に必ず確認をしてください。

4 「協定留学」・「認定留学」の主な違い



1. 留学可能な大学が異なります

■協定留学の場合

明治大学又は明治大学の特定の学部・研究科が協定を結んでいる世界各国の高等教育機関等に留学します。留学先機関における教育課程は、明治大学における所属学部教授会、研究科委員会又は研究科教授会が認める課程とします。

■認定留学の場合

以下の条件を満たしていれば、原則として、どこへも留学が可能です。

- 学位の授与権を有する高等教育機関等又は所属学部教授会、研究科委員会又は研究科教授会がそれに準ずるものと認定した高等教育機関等であること。
- 留学先機関における教育課程は、明治大学における所属学部教授会、研究科委員会又は研究科教授会が認める課程であること。

2. 選考・出願の方法が異なります

■協定留学の場合

協定留学希望者は、**学内選考に合格し、明治大学から派遣候補生として推薦される必要があります**。大学間協定に基づく協定留学の学内選考の概要は以下の通りです。なお、**志願者は必ず当該年度に公開される募集要項で応募条件、詳細情報を確認してください**（応募条件は毎年度変更の可能性があり、協定校によっては募集がない年度もあります）。

募集時期	オーストラリア、韓国、一部の南米地域：5～6月頃 上記以外の国・地域：10～11月頃	※2025年度以降の募集では対象の国・地域が変更になる場合があります。
応募資格	留学を希望する大学の要求する語学基準等、出願条件等一覧に記載されている条件を満たしていること。	
選考内容	原則として、書類審査と面接審査あり。 学内選考に合格した後、候補者は学内選考後の通算 GPA を確認した上で協定校へ出願しますが、受け入れの最終審査は協定校が行います。	
提出書類	① 所定の応募書類（留学計画書、誓約書等） ② 語学能力証明書（学内選考応募時に提出する必要があります） ③ 最新の成績通知表の写し ④ その他、当該年度の募集要項に記載されている書類	

※学部間・研究科間協定留学については、所属学部・研究科に確認してください。

■認定留学の場合

学内選考はありません。各自で留学先の応募条件を確認し、出願します（入学許可書受領後、認定留学として所属学部・研究科の承認を得る必要があります）。

募集時期	希望する留学先の募集時期を確認
応募資格	希望する留学先の応募資格を確認
選考内容	明治大学での学内選考はなし、各自で希望する留学先に直接出願
提出書類	希望する留学先の提出書類を確認

3. 外国語能力基準が異なります

留学先では、原則、正規授業として実施される専門科目を履修しますので、講義を理解するだけの語学能力を有している必要があります。語学能力基準をクリアするため、時間に余裕を持って語学能力試験を受験してください。

(P.56)「語学能力試験・適性試験」参照

■協定留学の場合

英語で出願	その他の言語で出願
TOEFL iBTやIELTS等、語学能力試験のスコアの提出が求められます。また、各協定校や志望する学部・学科の条件を満たす必要があります。 (P.37)「協定留学対象校紹介」参照	各協定校の定める基準を満たす必要があります。語学能力試験のスコアの提出を必須としない協定校もありますが、自分の実力を知るためにも、可能な限り語学試験等を受験してください。

■認定留学の場合

留学先の定める入学条件を満たしている必要があります。

※留学先によって異なりますので、各大学の指示に従ってください。

3. 長期海外実習

国連ユースボランティア

国連ユースボランティアは、世界の平和と開発を支援するための国際機関である「国連ボランティア計画 (UNV: United Nations Volunteers)」との協定に参加する日本のコンソーシアム大学(*)が連携して、学生を開発途上国へボランティアとして派遣するプログラムです。派遣学生は、UNVのコーディネートにより、約5ヵ月間、主に開発途上国の国連諸機関に派遣されます。派遣が確定した学生に対し、明治大学からUNVを通じて航空券、現地滞在費などの手当てが支給されます。開発途上国が抱える様々な問題を改善するため、UNVによる多様なボランティア活動に従事することを通じて、国際社会や異文化理解に関する知識に加え、業務に従事するための外国語力、交渉力、積極性、柔軟性、問題解決能力などグローバル人材に必要な素養を身につけることを目的とします。

(*) 関西学院大学・明治学院大学・明治大学・立教大学の4大学

1. 派遣先国／派遣機関／分野

派遣先国は、アジア、アフリカ、欧州、大洋州の各国。派遣機関は、開発途上国における国連事務所や政府機関、NGOなど、UNVにボランティア派遣要請をしている機関。ウェブサイトやポスター作成などの広報活動やプロジェクト運営支援などを通じて、教育、保健衛生、環境、ジェンダー、貧困削減などの活動に携わります。

※派遣機関により活動の内容は異なります。

2. 派遣期間

9月～翌年2月の約5ヶ月間

3. 語学要件

一定レベル (TOEFL iBT 72点、TOEIC L&R 785点、IELTS 5.5点相当) 以上の語学能力を満たすこと。

※参加者は、「長期海外実習 (8単位)」「海外実習課題研究 (4単位)」とのセット履修が必須です。

※学部ごとに履修対象・要件が設定されています。

※最新情報については、該当科目の2025年度シラバス及び募集要項を必ず確認してください。

長期海外実習



https://www.meiji.ac.jp/cip/chouki_kaigaijissu/index.html





留学期間・形態に関わらず、留学には十分な準備が求められます。特に、1学期間から1学年間（またはそれ以上）の長期留学の場合は、具体的な出願手続きも含めて、留学へ出発する約1年半以上前から準備を始める必要があります。（P.01 留学ロードマップ参照）

留学に関する情報収集や各種語学能力試験の受験準備等はできるだけ早い時期から取りかかり、出願直前に焦ることのないようにしましょう。

留学に向けた流れ

STEP 1

留学計画を立てる

P.22

STEP 2

留学プログラムに出願
入学（参加）許可を受ける

P.28

STEP 3

留学・渡航に向けて
各種手続きを始める

P.30

STEP 1 留学計画を立てる

留学は思い立ってすぐにできるものではありません。留学費用の準備、保護者など周囲の同意や協力も必要です。留学を有益なものにするためには、入念に留学計画を立て、準備することが重要です。

1 留学目的の明確化

留学したいと思い始めたら、まず留学の目的を明確にしましょう。外国への留学は、語学力の向上、国際感覚の涵養、複眼的なものの見方の獲得、異文化の理解等その効果は大きい反面、肉体的、精神的、経済的な面で大きな負担がかかります。それだけに、憧れだけで留学をとらえるのではなく、留学の目的をはっきりさせることが重要です。

留学中は、言語の問題はもちろん、風土・習慣や文化の違いからくるストレスなど様々な課題に直面します。**留学の目的・目標をしっかりと持つことは、これらの試練を克服する大きな要素であるとともに、より高い留学成果を上げるための重要な基盤であるといえます。**目的を明確にし、帰国後及び卒業後の将来設計についても十分検討しながら、留学計画を立てましょう。

POINT

- ① 留学する理由や具体的な目的は何か？
- ② その目的は留学をしなければ達成できないのか？
- ③ 留学を通して何を手に入れたいのか？
- ④ 留学経験を将来どのように活かしたいのか？

2 留学情報の収集・留学先の選定

留学に関する正確な情報を得て、これに基づき自分にあった留学先を選びましょう。情報収集の際には、必ず「オリジナルの情報源」から最新情報を得よう心掛けてください。大学について知るには、各大学のホームページが重要な情報源です。提供されている授業、学内外周辺の環境、宿舍の情報、おおよその生活費等、多くの情報を入手することができます。国によっては、駐日各国大使館のホームページ上で留学情報を提供している場合もあります。また、研究室やゼミに所属している場合は、指導教員に相談することも重要です。

留学先機関の選定にあたって考慮すべきポイントは、①学びたい分野、②国・地域、③留学時期・期間、④大学の特徴・規模・施設及びその地域の環境・留学生数、⑤出願時に要求される能力（成績・語学力等）、⑥学費その他の必要経費、⑦留学の形態等があります。各項目ごとに検討してみましょう。

POINT

- インターネットや書籍等を活用し、自分自身で情報収集する習慣をつけましょう。
- 選定のポイント
 - ① 学びたい分野は？ ② 留学したい国・地域は？ ③ 留学する期間・留学開始時期は？
 - ④ どのような大学（規模・施設・環境）に留学したいのか？
 - ⑤ 出願のための条件は（成績・語学力等）？ ⑥ 必要経費はどの程度かかるか？
 - ⑦ 留学の形態は（協定留学・認定留学・短期留学・休学して留学）？

特に重要な点は、留学先の学科や設置科目の内容が、自分の専攻分野や関心に見合ったものであるかということです。各大学のホームページなどで、設置科目やその内容を細かく調べましょう。これは根気のいる作業ですが、大変勉強になるはずです。こうした過程のなかで留学に対する意欲も向上してくることでしょう。本学ホームページ（国際連携・留学）に、留学を経験した先輩たちの報告書 **P.26** を掲載していますので、参考にしてください。

3 留学時期の決定

1. 短期留学

短期留学プログラムの場合、多くが夏季・春季休暇期間を利用しての留学になります。学部・研究科主催のプログラムでは、対象の学年が定められているプログラムもありますが、国際教育センターが主催するプログラムの多くはどの学部・研究科、学年の学生でも参加できます。自分の在学中の学習計画や留学目的に合わせて参加時期を決定しましょう。

2. 中期・長期留学

欧米地域の多くは通常8～9月が年度開始時期となっており、この時期から留学を開始するのが一般的です。オーストラリア、韓国などは2～3月が年度初めとなり、明治大学の春休み頃留学を開始します。

いずれの場合も、留学前に、単位修得又は認定の条件、卒業時期と卒業のための手続き等を必ず所属学部・研究科事務室に相談し、確認してください。同時に、就職、大学院進学等卒業後の計画を綿密に立て、準備をしておく必要があります。

協定留学・認定留学にて、2～3年次に留学した場合は、留学期間を含めて4年間で明治大学を卒業できる道が開かれています。ただし、4年次に留学した場合は卒業時期が延びる可能性があるということを念頭に置かねばなりません。卒業後の進路やこれまでの学習状況等を勘案して、無理のない計画を立てることをお勧めします。特に、卒業論文の作成や、就職活動も卒業時期に大きくかわかるため、所属学部・研究科事務室や就職キャリア支援センターへ事前に相談しましょう（**P.33** 参照）。

また、留学しようとする場合、日本と他国の学年暦の違いがひとつの障壁になります。明治大学では、「継続履修制度」（**P.18** 参照）を設けており、履修上の隙間が生じないように調整することができます。所属学部・研究科にて履修制度等の確認をしっかりと行ってください。

POINT

- 留学の目的、留学希望地域・国、在学中の学習・履修計画に合わせて、最適な留学プログラムを選びましょう。

4 学力の向上

十分な留学成果を収めるには、その裏付けとなる基本的な学力が備わっていることが必要です。留学先による入学可否の判定には、明治大学における学業成績（GPA）が考慮されます。また、授業・ディスカッション・レポート等の留学中の勉強にも、それまでに蓄積された学力が大きく影響することになります。さらに、授業中の発言や積極的な参加態度も評価対象となります。知識を増やすのみならず、自分の意見を持ち、発表することを日頃から心がけましょう。

POINT

留学のためには、語学力だけでなく明治大学での学業成績(GPA)も重要です。明治大学での授業にも力を入れ、計画的に履修しましょう。

5 語学力の向上

語学力は一朝一夕に身につくものではないため、地道な勉強が必要です。明治大学に設置されている外国語講座やオンライン教材を大いに利用しつつ、あらゆる機会を使って語学力を高める努力をしてください。

また、日頃から留学先や日本の政治、経済、文化等について知識を深めておくことが望まれます。留学先における現地の人々との会話や、講義を理解する上でも、単に語学力のみならず言語の背景にある文化・社会全般についての幅広い知識が必要となります。

1. 短期留学

短期留学プログラムの場合、語学能力の向上を目的とするプログラムでは、参加のために必要となる語学スコア等の要件がないことが多くあります。これに対し、専門分野を外国語で学ぶためのプログラムや海外ボランティア等の実習プログラムでは、参加のために必要となる語学スコア要件が設けられていますので、プログラムごとに確認する必要があります。いずれの場合も、留学中の学習や生活には基礎的な語学力が必要になります。参加に向けて最低限の語学力を身につけてから臨めるように、日々学習を進めることをお勧めします。

2. 中期・長期留学

中期・長期留学プログラムの場合、1学期間から1学年間にわたる留学生活のために、十分な語学力を備えていることが大前提です。留学先では現地の学生とともに講義を受け、授業中は頻繁に討論をします。また、予復習や宿題として日々多量の教科書や参考書を読みこなし、課されたレポートを書かなければなりません。そのため、日常会話能力に加え、自分の学問分野に関する専門的な語学力が要求されます。

英語圏への留学の場合、通常はTOEFL iBTやIELTSといった英語能力試験のスコアの提出が必須となります。自分が出願しようとする大学が、どの試験の受験を義務付けているか、また何点以上のスコアを出願の基準としているのかを事前にホームページ等で調べ、受験プランを立ててください（協定留学希望者は、前年度の出願条件を参考にしてください **P.37**）。

語学試験の受験準備は留学先選びや情報収集と並行して、またはそれ以前から始めることが必要です。各種語学能力試験・適性試験については、**P.56** を参照してください。

POINT

- 1学期間から1学年間の留学のためには、一定の語学力があることが前提条件です。
- 留学期間にかかわらず、語学力は一朝一夕では身につかないので、早いうちから継続的に学習しましょう。
- 英語圏へ留学を希望する場合は、指定の英語能力試験（TOEFL iBTやIELTS）のスコア提出が必須です。受験日は限られており、スコア入手までに時間を要しますので、早めに受験準備をしましょう。
- その他の言語圏へ留学を希望する場合でも、スコア提出が必要となる留学先もあり、また、自分自身の語学レベルを知るためにも、ぜひ積極的に語学能力試験を受験してください。英語能力試験に比べ、試験の実施頻度が少ないため、計画的に準備しましょう。

6 留学資金計画

学力、語学力と並んで重要なことは、留学資金計画です。留学経費は渡航前の準備段階から発生します。渡航後の留学費用の大部分は授業料と生活費（住居費・食費等）で、このほかに往復渡航費、教材費、保険代、通信費、その他雑費等が加わります。留学経費は、国及び地域、大学（公立・私立の別も含む）、住居や食事の形態（学生寮・アパート、外食・自炊等）によって異なりますが、短期留学では安いところで約30万円、高いところでは100万円以上、長期留学では安いところで1年間に約150万円、高いところでは300万円以上かかります。

中期・長期留学では、留学経費の負担者が誰であっても、それを負担する経済力を証明できないと留学先の入学許可書及びビザが発行されないことがあります。一般的には経費支弁者の銀行残高証明書や奨学金の受給証明書を提示する必要があります。

このようなことを念頭に、綿密な資金計画を立ててください。なお、明治大学の協定・認定留学制度を利用する場合は、留学経費の助成金を申請することもできます（**P.31** **P.59** 参照）。

留学費用の目安

例：カリフォルニア州立大学フラトン校（授業料負担型）に1学年間留学した場合
【学部生】※2023年度実績（費用は留学年度により変動する可能性があります）

授業料	生活費（住居費含む）・健康保険料等	合計
\$11,244※	\$23,690	\$34,934

※協定留学（交換型）で留学する場合、留学先の授業料は免除されます。

参考：留学報告書 **P.26**

7 留学準備に役立つ授業・講座・サポート

1. 留学準備に役立つ授業・講座

ここでは、明治大学で開講している留学準備に役立つ授業・講座をご紹介します。海外留学を効果的に準備・計画し、留学目的を達成するための支援を行う授業・講座の一例ですので、参考にしてください。なお、専門分野を外国語で学ぶ中期・長期留学の場合は、語学力だけでなく、その分野の知識を備えているかが重要です。留学先で学びたい分野については、留学前に本学の関連科目を履修する等、しっかり準備するようにしてください。

※ 下記は過年度開講科目です。2025年度の最新情報については、学部間共通外国語シラバス、各学部シラバス等を確認してください。

法学部	「留学基礎講座」
商学部	「初習外国語プラスワン」「上級外国語」「発展外国語」「Essentials of Commerce A/B」「Applied Commerce A/B」「異文化コミュニケーション論」
政治経済学部	「留学基礎講座」「留学準備講座」「ACE (Advanced Communicative English)」「Top School Seminar」
文学部	「留学準備講座 A/B」「海外授業シミュレーション A/B」
経営学部	「GREAT (Global Resources English Applied Track)」「IBP(International Business Program) A/B」「TOEFL Preparation A/B」「English Exams A/B」「TOEFL Reading/Listening/Speaking/Writing」「Genre of Writing」「Speech and Debate」
情報コミュニケーション学部	「SPICE (Special Program for Information and Communication in English)」「国際交流（世界のキャンパスから）」
国際日本学部	「海外留学入門 A/B」「異文化間教育学 A/B」「国際教育交流論 A/B」
グローバル人材育成プログラム科目	「留学のスズメ」「日本社会・文化理解講座」「東南アジア理解講座」「海外語学研修」
リバティアカデミー	「チャレンジ! 毎日学べる実践英会話」 実施日程や申込方法等詳細は、リバティアカデミーホームページを参照してください。 リバティアカデミー https://academy.meiji.jp/

2. 留学に役立つサポート

■留学相談（カウンセリング）

大学の留学制度に関する質問や相談だけでなく、自己手配の留学に関する相談など、留学に関する様々な相談に応じます。資格を有する専門の留学カウンセラーが対応します。

「留学に興味はあるけれど、何から始めればいいのかわからない」、「留学プログラムや留学支援制度について知りたい」、「留学費用はどれくらい必要なのか気になる」といった不安や疑問を持つ方は、ぜひ留学相談（カウンセリング）をご活用ください。

留学相談
（カウンセリング）



https://www.meiji.ac.jp/cip/preparation/eng_programmes/sodan.html



■学生留学アドバイザー

過去に留学制度を利用した先輩学生「学生留学アドバイザー」に、現地の様子や学習方法、帰国後の就職活動などについて直接相談できます。留学前・中・後の大学生活や体験談を基に、リアルなアドバイスや交流の機会を提供します。

学生留学
アドバイザー



https://www.meiji.ac.jp/cip/preparation/counseling/gakusei_advisor.html



■留学報告書

世界各地に留学した明大生の留学報告書を掲載しています。ぜひ留学準備に役立ててください。

留学報告書



<https://www.meiji.ac.jp/cip/report/report.html>



3. 海外留学プレ・ポスト英語プログラム

海外留学を志望する人、留学先が決まった人、留学後さらなる英語力向上を目指す人をサポートする英語プログラムです。

ターゲットスキル別講座

■TOEFL Speaking Skills Workshop, IELTS Speaking Skills Workshop

集中講座を通じ、スピーキングの自習法を理解し、留学志望先が求めるTOEFL iBT®やIELTS™のセクションスコア取得を目指します。

■Essay Writing Skills

集中講座を通じ、エッセイライティングの自習法を理解し、留学志望先が求めるTOEFL iBT®/IELTS™のセクションスコア取得を目指します。

■TOEIC® L&R Skills

TOEIC® L&R 700超えを目指す学生、2技能の基礎固めをしてから4技能英語能力試験の対策をしたい学生を対象に、効果的な自学自習の方法を指導します。

■Group Communication Skills Workshop

留学後・就職前準備として、また留学予定者の渡航前準備として、グローバルな環境における課題解決能力を身に付けたい学部生を対象とする1日完結の国際共修講座です。

学習支援

- ・英語学習アドバイジング・オフィスアワー
- ・英語学習オンデマンドセミナー
- ・海外大学院出願メンターシップ
- ・はじめてのTOEFL iBT オンラインセミナー
- ・はじめてのIELTS オンラインセミナー

学習支援(学外講座)

- ・TOEIC Listening & Reading 公式eラーニング：基礎編・全レベル
- ・レアジョブ英会話（オンライン）
- ・AIアブリススピーキング練習

海外ブレ・ポスト
英語プログラム



https://www.meiji.ac.jp/cip/preparation/eng_programmes/index.html



8 学部間共通外国語科目

外国語の実践的運用能力の養成を目的とし、外国文化理解と会話を中心に学ぶ語学講座です。各学部で実施している必修外国語科目以外にも、さまざまな言語を学ぶことができます。語学力向上のためにも、積極的に活用してください。

これらの科目は、和泉・駿河台・生田・中野のいずれのキャンパスの開講科目も履修が可能となっており、また、学年に関係なく履修が可能です。

1. 会話科目

内 容	初級レベル～上級レベルの会話クラスです。担当教員はほとんどがネイティブ・スピーカーで、個性的な授業が展開されます。
種 類	English Communication（英会話）、ドイツ語会話、フランス語会話、中国語会話、ロシア語会話、スペイン語会話

2. 講読科目

内 容	初級文法や簡単な日常会話から学習を始め、中級レベルまでの文法理解・読解・口頭表現などを学ぶクラスです。
種 類	ロシア語、スペイン語、韓国語、古典ギリシア語、ラテン語、イタリア語、アラビア語

3. 資格科目

内 容	問題を解く経験を積み、各種検定合格を目指すクラスです。
種 類	資格英語（TOEIC・TOEFL等）、資格ドイツ語（独検）、資格中国語（中検・HSK）

4. 国際理解講座(Intercultural Communication)

内 容	留学を計画している方や、異文化の理解を深めたい方等を対象にした講座です。実際にその言語でコミュニケーションを取りながら異文化理解を深めつつ、高度な外国語運用能力を養うことができます。
種 類	英語圏、ドイツ語圏、フランス語圏、中国語圏

5. 集中講座

夏期集中講座

内 容	外国語コミュニケーション能力の向上を目的として、学内にて実施されます。
種 類	English Intensive Course（英会話）、ドイツ語会話、フランス語会話、中国語会話、韓国語会話

春期集中講座

内 容	合宿形式による集中講義です。外国語コミュニケーション能力の向上を目的として本学セミナーハウスにて実施されます。
種 類	English Intensive Course（英会話）

※年度によって開講されない科目もありますのでご注意ください。詳細は当該年度の学部間共通外国語シラバスをご覧ください。

担当窓口	・駿河台キャンパス：教務事務室（リバティタワー5階） ・和泉キャンパス：和泉教務事務室（第一校舎1階） ・生田キャンパス：生田キャンパス課（中央校舎1階） ・中野キャンパス：中野キャンパス事務室（低層棟3階）
------	---

POINT

- 各種語学・資格科目：各種言語の学習や TOEIC・TOEFL 等の資格試験に向けた語学学習をしたい方向け
- 国際理解講座 (Intercultural Communication)：実際にその言語を使いながら留学をシミュレーション体験して、異文化理解を深め、総合的なスキルアップを目指したい方向け
- 集中講座：長期休業期間を利用して、集中的に外国語コミュニケーション能力を向上させたい方向け

STEP 2 留学プログラムに出願、入学(参加)許可を受ける

自分に合った留学プログラムや留学先を決定したら、留学プログラムへの応募・出願手続きについて確認し、早めに準備を始めましょう。明治大学が主催する留学プログラムでは、短期留学プログラムの場合、原則として留学先への出願は大学が行います。一方、中期・長期留学プログラムの場合は、原則として学生自身が出願手続きを行います。

1 学内選考 (学内プログラムの場合)

短期留学

短期留学プログラムの場合、出願方法や応募時期同様、学内選考の有無はプログラムにより異なります。詳細は、主催部局（国際教育センターや各学部・研究科）に確認してください。

中期・長期留学

中期・長期留学プログラムのうち、協定留学（交換型・授業料負担型）については、協定校への派遣学生決定のための学内選考（書類審査、面接審査等）があります。派遣学生の募集と学内選考は、留学開始の約7～10カ月前を目安に実施されます。明治大学主催の留学プログラムの場合は、国際教育センターや各学部・研究科のホームページやOh-o!Meijiで、募集要項や出願条件が掲載されます。あらかじめ各プログラムの定める応募資格や各協定校の定める出願条件を確認の上、早めに学内選考の準備を進めましょう。例年、大学間協定留学では春出発の場合5～6月、秋出発の場合10～12月に学内応募・選考が行われます。参考 **P.37** 大学間協定留学募集期間

※最終的な留学可否は、学内選考後の通算GPAを確認した上で出願先の海外大学・協定校が決定します。学内選考後に本学からの派遣候補生として決定しても、留学が保証されるわけではないので注意してください。

2 留学先への出願

短期留学

短期留学プログラムでは、国際教育センターや各学部・研究科等の主催部局によって出願方法や応募時期が定められています。原則として、留学先とのやり取り（出願を含む）はプログラムの主催部局が行い、参加者は明治大学を通じて全ての手続きを行います。多くの場合、プログラム実施の4～5カ月前に説明会が実施され、応募期間が設けられています。参加を希望するプログラムがある場合には、主催部局の窓口早めに相談し、手続きについて確認しましょう。

中期・長期留学

中期・長期留学プログラムでは、学内選考や推薦手続き等を除き、原則として留学先の情報収集や留学先とのやり取りは留学する学生自身が行います。

留学先の出願情報を入手したら、書類や資料を熟読し、出願締切日を確認しましょう。書類にはパソコンで入力又は手書きで必要事項を記入します。近年は、留学先ホームページより直接オンライン申請を行うケースが増えてきています。

申請書類へのデータ入力又はオンライン申請後、印刷した書類に署名が必要な場合もありますので、記入漏れがないか確認しましょう。また、締め切り間際ではなく、余裕をもって提出しましょう。

出願書類について、次にアメリカの大学の一般的な例を提示します（あくまでも一般例です。アメリカでも大学によって求める書類が異なるので、各大学の指示に従ってください）。

出願に必要な書類等 (例) ※大学によって異なります。

成績証明書 (Transcript of Academic Record)
明治大学の英文成績証明書が必要です。 高校の成績証明書を求められることもあります、その場合は出身高校に作成を依頼してください。
在学証明書 (Certificate of Official Student Status)
提出を求められた場合には、英文のものを用意してください。
健康診断書 (Health Certificate)
所定の用紙がある場合とない場合がありますが、英文診断書を扱う医療機関（トラベルクリニック等）で健康診断を受診し、作成してもらってください。診断書には医師のサインや病院の印章が必要です。
財政能力証明書 (Statement of Financial Support)
留学経費（学費・生活費等）をまかなう財政能力があることを証明するもので、この証明がないと入学が許可されなかったり、入学が許可された場合でもビザが発行されなかったりすることがあります。必要経費は、ホームページ等に概算見積額が示されていることが多く、その額を負担できることを証明する必要があります。通常、銀行で英文の預金残高証明書を作成します。なお、これはビザ申請をする際にも必要になる場合があるので、余分に取得しておくといでしょう。
推薦状 (Letter of Recommendation)
推薦状を誰に何通依頼するかは、留学先の指示に従いますが、一般的に 1～2 通が必要となります。自分の学習状況や人物をよく知る人による、具体的な内容のものが望ましいので、履修中あるいは過去に履修した科目の担当で、留学の相談等をしたことのある教員に作成をお願いしてみるとよいでしょう。その際、推薦状に盛り込んで欲しい内容や自分のアピールポイントを伝えておくことも大切です。なお、国際教育センターでは推薦状の発行は行っていません。
エッセイ (Statement of Purpose/Study Plan 等)
自己紹介文のようなもので、特に志望動機、何を勉強したいのかを明記することが大切です。これまでの体験や将来の目標等にも触れながら具体的に書きましょう。審査の対象となる重要なものですから、内容はもちろん、論理構成、語句等十分に練って書いてください。日本語と英語では、文章の書き方のポイントが異なるので、教員に相談をしたり、市販されている英文エッセイ執筆のための参考書も活用することをお勧めします。
各種能力試験の証明書 (語学等)
TOEFL iBT を始めとする英語能力試験（ P.56 参照）の証明書や留学先から指定がある場合は当該の能力試験のスコア等を準備してください。
申請手数料 (Application Fee)
多くの大学で申請手数料が必要です。クレジットカード等を利用して支払います。

3 入学許可書の受領 ※中期・長期留学の場合



願書を提出して2～3カ月後に審査の結果が通知されます。合格通知が届いたら、速やかに留学先へ入学意思がある旨を連絡します（協定留学では、学内選考合格後の留学辞退は原則として認めていません）。出願先から通知がない場合は、問い合わせましょう。合格通知と併せてビザ申請に必要な書類も送付されているので、紛失等することがないように取り扱いに注意してください。

STEP 3 留学・渡航に向けて各種手続きを始める

入学許可書を受領したら、いよいよ留学・渡航に向けて具体的な手続きを開始します。学内外での必要な手続きや生活面での各種準備等、国際連携事務室、各学部・研究科及び留学先から送られてきた書類や資料、パンフレット等を熟読し、渡航までに必要な手続きを進めます。

短期留学プログラムの場合、渡航のための手続きや宿舎の手配等は主にプログラムの主催部局が行います。事前オリエンテーション等で指示された手続きを必ず行ってください。中期・長期留学プログラムの場合は、原則として、全て派遣学生自身が渡航前の各種手続きや手配を行う必要があります。学内外の留学に関する手続きや、渡航前の手続き（滞在先・渡航日程・予防接種を含む健康管理・オリエンテーション等）については、それぞれ所属学部・研究科や留学先に確認し、期限までに手続きを完了させましょう。

手続きを怠ると、入学許可が取り消されたり、留学が認められない場合もあるため、特に注意が必要です。

1 留学に係わる学内手続き ※中期・長期留学の場合

明治大学主催の中期・長期留学（協定留学、認定留学）制度を利用して海外留学する場合、以下の学内手続きが必要になります。この手続きを怠ると留学、単位の認定等ができなくなりますので、くれぐれも注意してください。

1. 学内手続きの流れ

留学時期は留学先国・地域、その他の事情によって異なります。必要書類の提出時期は、事前に所属学部・研究科事務室に相談をしてください。夏季・春季休暇期間にかかる場合は、その期間を考慮して余裕をもって提出しましょう。留学先国・地域によっては入学許可書の到着が遅いこともあるため、事前に各学部・研究科に相談し、入学許可書が到着次第、すぐに手続きができるようにしてください。留学予定の大学に出願した段階で、今後の手続きについて所属学部・研究科に相談することが重要です。

学内手続きの流れ

① 所属学部等で手続き方法の確認	留学先から入学許可書を受領したら、留学に係る手続きについて、所属学部・研究科に確認
② 所属学部等での手続き	所属学部・研究科に留学に係る必要書類を提出
③ 審査結果通知	所属学部・研究科から本人に留学の可否を通知
④ 留学指導	留学先での履修・研究指導等を所属学部・研究科と相談
⑤ 助成金の申請（任意）	当該年度の募集要項を確認のうえ、指定の期日までに国際連携事務室に書類提出
⑥ 留学へ出発	現地に無事到着したら、国際連携事務室及び所属学部・研究科に報告

2. 所属学部・研究科での留学手続き

留学先から入学許可書を受領したら、留学願など以下の書類を所属学部・研究科事務室に提出します。提出書類の詳細は、各学部・研究科に確認してください。**所属学部・研究科の承認をもって、正式に留学決定となります。**

① 留学願（所定様式）	④ 留学先の入学許可書の写し	⑦ その他学部長・研究科長が指定するもの
② 保証人同意書・留学に係る資金計画書（所定様式）	⑤ 留学先の便覧、講義要項等	
③ 履修（研究）計画書（所定様式）	⑥ 継続履修願（所定様式）	

※上記④の入学許可書は、大学独自の証明書式で発行されるとは限りません。留学先からの手紙・通知等、入学許可を証明できる書類を入手したら、速やかに手続きをしましょう。

POINT

入学許可書を手に入れたら、速やかに所属学部・研究科において留学手続きをしましょう。必要な手続きをしないと、協定留学または認定留学として認められません。

3. 留学中の連絡について

危機管理のためにも、留学中の連絡先や学習状況を大学に届け出てください。

住所の連絡

出発までに留学先での住所が決まらず、明治大学に知らせていない場合は、正確な住所が決まり次第、国際連携事務室及び所属学部・研究科事務室に連絡しましょう。留学中に住所を変更した時も同様です。履修や学籍手続き等の連絡で必要になる場合があります。

学習状況報告

必要に応じて、留学先での学習状況を所属学部・研究科及び留学の相談をしている指導教員等に連絡しましょう。連絡方法については、留学手続きの際に所属学部・研究科の指示を受けてください。

POINT

留学中も必ず大学と連絡が取れる状態にしてください。メールアドレスや電話番号、住所等は必ず所属学部・研究科（大学間協定留学の場合は国際連携事務室）に連絡し、変更があった際は、その都度報告しましょう。

2 奨学金・助成金

奨学金は以下のように大別できます。奨学金は給付型（返還不要）や貸与型のものがありますが、給付型奨学金を受給するためには、語学能力試験のスコアや学業成績（GPA）によって審査される場合が多いので、日頃から明治大学の学業成績（GPA）を高める努力を続けましょう。また留学先独自に奨学金制度を設けている場合もありますので、事前に問い合わせてみましょう。

学内の 留学関連奨学金・助成金

- ① 明治大学外国留学奨励助成金
- ② 明治大学学生海外トップユニバーシティ留学奨励助成金
- ③ 明治大学国際化サポート海外留学奨励金
- ④ 各学部・研究科による留学関連奨学金・助成金



学外の 留学関連奨学金・助成金

- ① 日本政府機関による奨学金制度
- ② 外国政府機関による奨学金制度
- ③ 日本の地方自治体による奨学金制度
- ④ 日本の民間団体による奨学金制度
- ⑤ 外国の民間団体による奨学金制度
- ⑥ 留学先独自の奨学金制度

POINT

学外の奨学金に関する情報は、本手引きの **P.59** もご参照ください。また、次の場所でも情報を入手することができます。

- 留学先の駐日各国大使館及び文化機関等
- 留学先
- 独立行政法人日本学生支援機構

独立行政法人日本学生支援機構では「海外留学奨学金パンフレット」を作成しています。パンフレットは同機構のホームページで閲覧することができます。

日本学生支援機構「海外留学のための奨学金」 <https://ryugaku.jasso.go.jp/scholarship/>

3 滞在先の確保 ※中期・長期留学の場合

留学先により、学生寮やアパート等の紹介がある場合もありますが、必ずしも留学生用に確保されているわけではありません。

留学先が提供する学生寮に滞在を希望する場合は、早めに申込みを済ませましょう。学生寮は先着順で満室となることがあるため、出願の段階で締切日や申込方法の確認が必要です。入学許可書受領を待たずに寮の申込みができたり、願書と同時に入寮申込書を提出する大学もあります。入学許可書受領後も入寮申込書が送られてこなかったら、学生寮担当部局（Housing Office 等）に連絡を取るようにしてください。

POINT

留学先国・地域によっては、ビザを取得するために現地の住居証明の提出が求められます。滞在先は早めに手配しましょう。

4 パスポート(旅券)、ビザ(査証)の取得

1. パスポートの取得

海外へ渡航するためにはパスポートが必要です。留学先によっては、出願の際にパスポートのコピーを提出することが求められるため、留学を考えている場合はパスポートを早めに準備しましょう。パスポートを取得するには、住民登録をしている都道府県庁の旅券取扱窓口にて、必要書類を揃えて申請します。通常、申請してから発給まで1~2週間程度(土・日・祝日・年末年始等除く)がかかります。

POINT

パスポート申請については外務省ホームページを参考にしてください。
外務省 パスポート(旅券) <https://www.mofa.go.jp/mofaj/toko/passport/>

2. ビザの取得

留学するためには、留学先国・地域が指定するビザ(留学ビザ、学生ビザ等)を取得する必要があります。留学先によって必要な書類、申請方法等が異なります。ビザ申請では、様々な書類の提出を求められることから、留学を本格的に考え始めた時点で、留学先国・地域の駐日各国大使館ホームページ等で情報を収集し、必要書類等を確認してください。また、大使館の査証担当窓口は業務取扱時間が限られているので注意しましょう。

POINT

入学許可書を入手したら、留学先が定める渡航日に間に合うよう、早めにビザの申請をしましょう。

5 航空券の購入 ※中期・長期留学の場合

航空券は旅行会社又は航空会社等で購入でき、航空会社、搭乗時期、経由地、有効期間等により価格に幅があります。また、割引運賃による航空券の場合、正規価格の航空券と異なり、予約変更、払い戻し、ルート変更等に制限があるので、購入の際は注意してください。特に8月等の旅行シーズンに渡航する場合は、満席になることも考えられるため、早めに航空券を手配した方がよいでしょう。

6 外貨購入・送金手続

留学中の費用の持参・調達の方法は留学先や人によって異なりますが、現金持参、クレジットカード、現地銀行口座を開けて日本から送金(銀行振込や小切手の送付)等が考えられます。現地での銀行口座開設は、時間を要する場合があるため、現地到着後、口座が開設できるまで使える現金、クレジットカード等を持参することをお勧めします。

外貨現金	外国為替取扱銀行で購入できます。現金を持参する場合は、高額になりすぎないように気をつけるとともに、人目にふれる場所に置かず、スリ等の危険にも注意しましょう。
クレジットカード	身分証明にもなり便利です。ただし、紛失や使い過ぎ、カード犯罪等に十分に注意する必要があります。また、万一紛失した際に即時に利用停止手続きができるよう、カード会社の緊急連絡先は常に携帯しましょう。地域によっては利用できないカードもあるため、事前に留学先国において利用可能かを調べましょう。
現地にて口座開設 (海外送金)	留学先において口座を開け、日本の口座から海外送金することができます。送金には手数料負担や日本にいる家族等に依頼する手間等が発生します。

7 健康状態のチェック・海外旅行保険の加入

出発前に必ず健康診断等を受け、治療を要するものについては出発前に済ませるようにしてください。日本と海外では医療費が大きく異なります。

医療保険については、留学先の指定する保険（強制加入又は任意加入）もありますが、渡航前に、留学期間中に適用される海外旅行保険に加入しておくことを強くお勧めします。なお、協定留学制度を利用して留学する場合は、明治大学指定の海外旅行傷害保険に加入することを留学の条件としています。また、明治大学内で行われる定期健康診断は必ず受診してください。

POINT

留学をする場合は、必ず海外旅行保険に加入しましょう（協定留学の場合は、明治大学指定の海外旅行傷害保険に加入することが義務付けられています）。

保険証券の発行には3週間程度かかりますので、余裕を持って手続きしてください。

8 公的手続き

中期・長期留学の場合、長期間日本を離れることになりますので、各自治体において住民票、健康保険、国民年金等の手続きを行ってください。手続き方法については各自治体に直接問い合わせてください。

9 就職活動

就職活動については現在、一言では言い表せない程複雑化しており、採用スケジュールも企業毎に異なっています。そのため、留学に行くことを決めた学生は留学の目的を明確にし、その目的をどうすれば達成できるのかを考えて行動することが一番大切です。そのうえで、早くから”仕事に就く”ことを意識し、就職キャリア支援センターを活用するなど必要なアクションを起こしてください。就職キャリア支援センターのサービスは一部オンライン化されているので、留学先から利用することもできます。

M-Career
(就職キャリア支援システム)



<https://meiji.pita.services/career/> (「M-Career」で検索)



※M-Careerには、就職活動報告書（先輩たちの就活履歴）や個別相談の予約機能など就職活動に関わる情報・支援行事などが蓄積されています。





留学の際の注意点 留学中

1 到着直後——留学生担当部局への連絡

短期留学プログラムの場合、多くのプログラムで、到着空港に現地担当者による出迎えがあります。到着後は、担当者の指示に従って、必要な手続きを進めてください。

中期・長期留学の場合、到着後、直ちに留学生担当部局 (International Student Office 等) に行き、到着の報告をするとともに、留学生生活に必要な指示 (留学生向けのオリエンテーション) を受ける必要があります。そのため、なるべく担当部局の開室する平日に到着することをお勧めします。担当者には、以後の留学生生活においても分からないことや困ったことがあれば、すぐに相談をするようにしてください。

2 科目履修、授業等について

短期留学プログラムの場合、原則として、あらかじめ定められたカリキュラムを参加者全員で受講します。カリキュラムに含まれる授業等は、各プログラムの目的に沿ったものとなっています。

中期・長期留学プログラムの場合、個人で履修科目を選択し、登録・受講することとなります。また、この際は、以下の点について留意してください。

1. 履修科目の登録

科目選択や学習上の助言、指導をしてくれる Academic Advisor がいる場合、現地で配付されるコース案内やスケジュール表をもとに、アドバイザーと相談しながら履修科目を決めます。履修登録方法、履修費用等については、オリエンテーション期間中に案内されますが、不明な点は Academic Advisor や International Student Advisor 等に質問してください。なお、留学の出願書類を作成する際に、履修希望科目を記入する場合もあり、この内容によって履修科目が渡航前に決定されている場合もあります。

2. 授業形態

最初の講義の際、担当教員からシラバスを渡されることが一般的です。シラバスには講義の内容、教科書・参考書の案内、試験方法、レポート、成績評価の基準等が記されており、それによって学習スケジュールを立てることになります。

講義は通常、教室内での討論や質疑応答を交えて進められることが多く、学生が十分予習して授業に臨むことが前提となります。そのため、予習として大量の課題図書・参考図書を読んでおくこと (Reading Assignment) が求められます。

リーディング以外にもレポートやエッセイの提出が学期中に数回課されることがあり、試験も中間試験、期末試験に加えて小テストが適宜行われます。成績の評価方法も大学により異なるので、留学先のホームページ等を読み、よく理解しておきましょう。

授業に向けての準備

① 読解の訓練

留学生として、外国語で書かれた教科書・参考書を読みこなすことは最大の難関です。日頃から様々な文章に触れて、多読を積み重ねてください。最初は短い文章から始め、徐々に長い文章を読んでいくのもひとつの方法でしょう。

② 専門知識の習得

専攻に関する参考書を日本語及び留学先言語で幅広く読み、少しでも多くの知識をつけておく必要があります。

③ 外国語によるレポート作成方法の習得

留学先国・地域によって、レポート、論文の書き方等には様々なルールがあります。レポートの書き方に関する参考図書を利用し、知識をつけてください。ルールに則って書いているかどうかで成績に反映されます。

④ パソコンやインターネット等の活用方法の習得

パソコンを活用できることは必須です。メールはもちろんのこと、レポートやエッセイは通常パソコンで作成し、提出しなくてはなりません。また、情報収集もインターネットで行うことが多いので、情報収集方法や参考になるリンク等をあらかじめリストアップしましょう。

3. 図書館の利用

留学中は、図書館が生活の中心になるといっても過言ではありません。図書館を上手に利用することは留学を成功させる秘訣です。年度初めのオリエンテーション期間中に図書館利用案内が行われることが多いので、出席するとともに実際に足を運んで利用に慣れましょう。

3 健康維持と危機管理について

1. 健康維持

留学を成功させるには、心と体の健康が第一条件です。食事や生活様式の違いから体調を崩してしまうと、せっかく希望に満ちて始まった留学生活が台無しになってしまいます。日本とは異なる環境において生活することとなるため、日本にいる時以上に体調管理に留意しましょう。

長期にわたって海外で生活する場合、カルチャーショックやホームシックに悩んだり、外国語での厳しい勉強を目の当たりにして強いストレスを感じたりすることがあるかもしれません。こうした反応は誰にでも起こりうることです。

そうした場合には、趣味やリラクスの時間を積極的に作ったり、スポーツで汗を流す等の工夫をしてみましょう。悩みが解決しない場合は自分ひとりで抱え込まず、早めに留学先の学内診療所や担当者、家族・友人に相談することが大切です。

2. 危機管理

留学生活に慣れて気が緩むと、事故や事件に巻き込まれる可能性が高くなります。キャンパス内においても事件は起こり得ます。寮等での貴重品の管理には常に注意するとともに、図書館で勉強して帰りが遅くなる場合も、一人で夜道を歩くような行為は絶対に避けましょう。また、テロや自然災害、感染症は本人の注意に関係なく起こります。留学開始直後に限らず、留学中は常に危機管理意識を持って生活してください。

留学先の治安や医療事情の最新情報は外務省のホームページで確認することができます。また、3カ月以上海外に滞在する場合は、必ずその地域を管轄する日本国大使館又は総領事館に在留届を提出してください。インターネットでも簡単に手続きをすることができます。

外務省在留届

 <https://www.ezairyu.mofa.go.jp/>

外務省海外安全ホームページ

 <https://www.anzen.mofa.go.jp/>

外務省ホームページ（世界の医療事情）

 <https://www.mofa.go.jp/mofaj/toko/medi/>

POINT

- 健康状態への不安や心配ごとがある場合は、早めに留学先の学内診療所や周囲の方に相談しましょう。
- 3カ月以上留学する場合は、必ず在留届を提出しましょう。
- パスポート、クレジットカードや携帯電話紛失、病気、事故等が起きた際の連絡先を一覧にして常に携帯しましょう。
- 留学中は、ご家族と定期的に連絡を取り、心配をかけることのないようにしましょう。



留学プログラムの終了後は、各自で必要な手続きを行います。指定の期日までに帰国手続きを完了しましょう。また、留学後に単位認定を希望する場合、速やかに所属学部・研究科で必要な手続きを行ってください。

1 帰国直後——所属学部・研究科での帰国手続き ※中期・長期留学の場合

帰国後は、所属学部・研究科において、帰国の手続きをする必要があります。特に、留学先で修得した単位を明治大学の単位として認定したいと考えている方は、所定の手続きを行わないと、単位が認定されません（P.18 参照）。帰国したら速やかに所属学部・研究科事務室に帰国報告をするとともに、次の書類を提出しましょう。

- | |
|--|
| ① 帰国届（所定様式） |
| ② 単位（研究指導）認定願（所定様式） |
| ③ 留学先の正式な成績証明書又は指導教員の研究指導報告書 |
| ④ 講義要項（明治大学のシラバスに該当する情報：単位数、時間数、成績評価基準等を示す文書・資料） |
| ⑤ その他所属学部・研究科が提出を求める資料 |

POINT

- 帰国前に所属学部・研究科に単位認定に必要な書類を確認しましょう。提出された書類を基に、留学先で修得した単位・研究指導の認定を行います。
- シラバスや留学先で書いたレポートやエッセイ等、単位認定の補助となり得るものは留学中に全て保存し、持ち帰るようにしてください。

※ 多くの場合、留学期間が終了すると、留学先のポータルサイト等、授業時間割やシラバスにアクセスできなくなりますので、必ず留学中に必要書類の確認・入手をするようにしましょう。

2 その他（奨学金・資格課程等）

奨学金受給再開（留学による中断がある場合）や、資格課程等必要な手続きがある場合は、関連する事務室に出向きましょう。また、留学準備のためにお世話になった関係者にも、忘れずに帰国の報告をしましょう。

POINT

所属学部・研究科以外における手続きも、各窓口で帰国後速やかに進めましょう。（奨学金・資格課程等）



PARTNER UNIVERSITIES

協定留学対象校紹介

1. 大学間協定留学 全学部・全研究科の学生が参加可能

大学間の協定校は、原則として、どの学部・研究科の学生でも参加できるプログラムです。主なプログラムの募集時期、渡航期間は下表のとおりです。

主なプログラムと学内募集期間 ※2025年度スケジュール（予定）

			2025年									2026年												2027年					
出発時期	費用負担	留学期間	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	4月	5月	6月		
春出発 (オセアニア・韓国・南米等) P.38	交換型・授業料負担型	1学期間	学内募集	可否決定								渡航期間																	
		1学年間												渡航期間															
トップ ユニバーシティ (アメリカ) P.39	授業料負担型	サマープログラム					学内募集	可否決定					渡航期間																
		秋出発 ※1学年間の場合																							渡航期間				
秋出発 (欧米圏、アジア等) P.40	交換型	1学期間					学内募集	可否決定																					
		1学年間																											
	授業料負担型	1学期間							学内募集	可否決定																			
		1学年間																											

次ページより過年度の募集実績に基づく協定校一覧を掲載します。協定校の詳細情報については必ず各協定校の公式ホームページを確認してください。

注意点

- 大学間協定留学では、出願言語において、大学レベルの講義を受けるのに十分な語学力を有していることが前提です。英語と現地語両方の欄に記載がある協定校は、どちらか一つを選んで出願してください。なお、非英語圏の協定校に英語で出願する場合は、英語で開講されている分野・科目が限られるため、当該協定校のホームページにて事前によく確認してください。
- 学内選考に合格した場合、協定校への出願時・留学への出発時を通して、協定校の定める GPA 要件を満たしている必要があります。
- GPA・語学要件について、本一覧に記載されているのは、各大学の最低要件です。学部・学科によってはより高い要件が設定されている場合もあるため、募集要項及び各大学のホームページを必ず確認してください。
- 語学能力証明書については、希望する協定校の出願言語の要件を満たす証明書（複数選択肢がある場合は内一つ）を学内選考オンライン応募期間内に提出できることが応募の条件です。ただし、現地語での出願の場合、一部の大学においては、明治大学教員による語学能力評価表（所定書式）でも応募可能です。W=Writing, R=Reading, S=Speaking, L=Listening
- 協定校により、留学できる年次に制限が設けられている場合があります。年次制限の有無については、ホームページ掲載の最新出願条件等一覧を確認してください。
- 多重国籍の出願者で、うち一つの国籍が希望大学に制限されている国籍に該当する場合は、必ず出願前に国際連携事務室へ相談してください。
- 募集人数が0.5の大学は1学期に1名、1は1学年間1名派遣できることを示します。

募集情報

<https://www.meiji.ac.jp/cip/admission/index.html>

*詳細は募集要項及び出願条件等一覧を確認してください。

※こちらに記載されている情報は2023年度に募集した2024年派遣の協定留学募集実績に基づく情報です。協定校ごとの募集の有無や出願条件は毎年度変更になりますので、最新の募集要項・出願条件は前ページ下部記載のホームページで必ず確認してください。

1. 春出発（例年5～6月頃募集し、翌年2月頃～留学開始）

1 交換型

※この条件は2024年度の募集内容です。

国・地域名	大学名	募集人数	出願言語	応募要件					
				GPA	英語要件		現地語要件 必要な 語学レベル	大学院生	留学生
					TOEFL iBT	IELTS			
韓国 Korea	釜慶大学 Pukyong National University	2	English or Korean	2.0	61	5.5	CEFR B1	—	○
	漢陽大学 (ERICA キャンパス) Hanyang University (ERICA Campus)	1	English or Korean	2.4	72	5.5	TOPIK level 3	—	○
	漢陽大学 (ソウルキャンパス) Hanyang University (Seoul Campus)	1	English or Korean	2.4	72	5.5	TOPIK level 3	—	○
	韓国外国語大学 Hankuk University of Foreign Studies	2	English or Korean	2.5	80	6.0	TOPIK level 3/ KLAT 150 (B2)	○ 修士のみ	○
	慶尚国立大学 Gyeongsang National University	2	Korean	2.0	—	—	CEFR B1	○ 修士のみ	○
	慶熙大学 Kyung Hee University	2	English or Korean	2.5*	82	6.5	TOPIK level 3*	—	○
	建国大学 Konkuk University	2	English or Korean	2.0	61	5.5	CEFR B1	○ 修士のみ	○ 韓国籍を 除く
	高麗大学 Korea University	2	English or Korean	2.5	61	5.5	CEFR B1	○* 修士のみ	○
	済州大学 Jeju National University	2	Korean	2.64	—	—	TOPIK level 3*	○ 修士のみ	○
	淑明女子大学 Sookmyung Women's University	2	English or Korean	2.8	71	5.5	TOPIK level 3	○* 修士のみ	○
	仁荷大学 Inha University	3	English or Korean	2.25	71	5.5	CEFR B1*	—	○
	崇実大学 Soongsil University	2	English or Korean	2.0	70	5.5	TOPIK level 4	—	日本人 のみ
	西江大学 Sogang University	1	English or Korean	2.7	79	6.5	TOPIK level 4	○ 修士のみ	○
	大田大学 Daejeon University	2	Korean	2.0	—	—	TOPIK level 3	—	○
	大邱大学 Daegu University	2	Korean	2.0	—	—	TOPIK level 3	—	○
	忠北大学 Chungbuk National University	2	English or Korean	2.0	61	5.5	CEFR B1*	○ 修士のみ	○
	同徳女子大学 Dongduk Women's University	2	Korean	2.5	—	—	TOPIK level 4	—	日本人 のみ
	梨花女子大学 Ewha Womans University	2	English or Korean	2.5	61	5.5	CEFR B1	○ 修士のみ	○
	嶺南大学 Yeungnam University	1	English or Korean	2.7	61	5.5	CEFR B1	—	○

国・地域名	大学名	募集人数	出願言語	応募要件					
				GPA	英語要件		現地語要件 必要な 語学レベル	大学院生	留学生
					TOEFL iBT	IELTS			
オーストラリア Australia	クイーンズランド工科大学 Queensland University of Technology	4	English	2.5	79 (R:16 L:16 S:18 W:21)	6.5 (R:6.0 L:6.0 S:6.0 W:6.0)	—	○* 修士のみ	○ オーストラリア 国籍・二重 国籍を除く
	シドニー工科大学 University of Technology Sydney	2	English	2.5	79* (W:21)	6.5* (W:6.0)	—	○ 修士のみ	○
	西シドニー大学 Western Sydney University	4	English	2.0	70 (R:13 L:13 S:18 W:21)	6.0 (R:6.0 L:6.0 S:6.0 W:6.0)	—	○ 修士のみ	○

*詳細は募集要項及び出願条件等一覧を確認してください。

※この条件は2024年度の募集内容です。

国・地域名	大学名	募集人数	出願言語	GPA	応募要件				
					英語要件		現地語要件 必要な 語学レベル	大学院生	留学生
					TOEFL iBT	IELTS			
オーストラリア Australia	ニューイングランド大学 University of New England	1	English	2.0	79 (W:22)	6.0 (R:5.5 L:5.5 S:5.5 W:5.5)	—	—	日本人 のみ
	UNSWシドニー（ニューサウスウェールズ大学） UNSW Sydney (The University of New South Wales)	6 (ブリッジ型 との合計)	English	3.0	90	6.5	—	○ 修士のみ	○
	マッコーリー大学 Macquarie University	3	English	2.5*	83* (R:13 L:12 S:18 W:21)	6.5* (R:6.0 L:6.0 S:6.0 W:6.0)	—	○ 修士のみ	○ オーストラリア 国籍を除く

中南米

国・地域名	大学名	募集人数	出願言語	GPA	応募要件				
					英語要件		現地語要件 必要な 語学レベル	大学院生	留学生
					TOEFL iBT	IELTS			
ブラジル Brazil	FAAP - アルマンド・アルバレス・ベンチアード大学 Fundação Armando Álvares Penteado - FAAP	3	English or Portuguese*	2.0	67	5.5	CEFR B1*	—	○
アルゼンチン Argentina	ラプラタ国立大学 Universidad Nacional de La Plata	2	Spanish	2.0	—	—	CEFR B1	○ 修士のみ	○

2 授業料負担型

国・地域名	大学名	募集人数	出願言語	GPA	応募要件				
					英語要件		現地語要件 必要な 語学レベル	大学院生	留学生
					TOEFL iBT	IELTS			
オーストラリア Australia	アデレード大学 The University of Adelaide	制限 なし	English	2.5	79* (R:13 L:13 S:18 W:21)	6.5* (R:6.0 L:6.0 S:6.0 W:6.0)	—	○* 修士のみ	○ オーストラリア、 ニュージーランド 国籍を除く

3 ブリッジ型

国・地域名	大学名	募集人数	出願言語	GPA	応募要件				
					英語要件		現地語要件 必要な 語学レベル	大学院生	留学生
					TOEFL iBT	IELTS			
オーストラリア Australia	UNSWシドニー（ニューサウスウェールズ大学） UNSW Sydney (The University of New South Wales)	6 (交換型 との合計)	English	3.0	65 (W:18)	5.5 (R:5.0 L:5.0 S:5.0 W:5.5)	—	○ 修士のみ	○

2. 海外トップユニバーシティ留学（例年 9～10 月頃学内募集し、翌年 5 月～ 9 月にかけて留学開始）

1 サマープログラム【授業料負担型】

※この条件は2024年度の募集内容です。

《助成金S対象》			応募要件					
国・地域名	大学名	プログラム名	GPA	英語要件			大学院生	留学生
				TOEIC スコア	TOEFL iBT スコア	IELTS スコア		
アメリカ USA	コロンビア大学 専門教育学部 Columbia University, School of Professional Studies	コロンビアサマーセッションズ Columbia Summer Sessions	3.0	—	100	7.0	○ 修士のみ	○
	スタンフォード大学 Stanford University	インターナショナルオナーズプログラム (IHP) International Honors Program (IHP)	3.0	—	100	7.0	○ 修士のみ	○
	ペンシルベニア大学 一般教養・専門教育学部 (LPS) University of Pennsylvania, College of Liberal and Professional Studies (LPS)	ペンサマーグローバルインスティテュート (PSGI) Penn Summer Global Institute (PSGI)	3.0	—	100	7.0	—	○

助成金A対象

《助成金A対象》			応募要件					
国・地域名	大学名	プログラム名	GPA	英語要件			大学院生	留学生
				TOEICスコア	TOEFL iBTスコア	IELTSスコア		
アメリカ USA	カリフォルニア大学デービス校 University of California, Davis	サマーセッションズ UC Davis Summer Sessions	2.5*	685	80	6.5	○* 修士のみ	○
	カリフォルニア大学バークレー校 University of California, Berkeley	サマーセッションズ Berkeley Summer Sessions	2.5	685	80	6.5	○* 修士のみ	○
	カリフォルニア大学ロサンゼルス校 University of California, Los Angeles	サマーセッションズ UCLA Summer Sessions	2.0*	685	80	6.5	—	○

*詳細は募集要項及び出願条件等一覧を確認してください。

2 秋出発プログラム [授業料負担型]

※この条件は2024年度の募集内容です。

《助成金S対象》			応募要件					
国・地域名	大学名	プログラム名	GPA	英語要件			大学院生	留学生
				TOEIC スコア	TOEFL iBT スコア	IELTS スコア		
アメリカ USA	コロンビア大学 専門教育学部 Columbia University, School of Professional Studies	ヴィジティングスチューデントプログラム Visiting Student Program	3.0	—	100	7.0	○ 修士のみ	○
	ペンシルベニア大学 一般教養・専門教育学部 (LPS) University of Pennsylvania, College of Liberal and Professional Studies (LPS)	インターナショナルゲストスチューデントプログラム (IGSP) International Guest Student Program (IGSP)	3.3	—	100	7.0	—	○

《助成金A対象》			応募要件					
国・地域名	大学名	プログラム名	GPA	英語要件			大学院生	留学生
				TOEIC スコア	TOEFL iBT スコア	IELTS スコア		
アメリカ USA	カリフォルニア大学バークレー校 エクステンション University of California, Berkeley Extension	グローバルアクセスプログラム (GAP) Global Access Program (GAP) ① BGA Program	3.0	—	90	7.0	○ 修士のみ	○
		グローバルアクセスプログラム (GAP) Global Access Program (GAP) ② BHGAP Haas School of Business	3.0	—	90	7.0	○ 修士のみ	○

(参考情報) 認定留学

以下のプログラムは海外トップユニバーシティ留学奨励助成金の対象ですが、協定留学ではなく、認定留学となります。
プログラム参加に必要な諸手続きは学生自身で行った上で、所属学部・研究科に認定留学の許可を得てください。
以下に参考情報を記載しますが、留学を希望する場合は、必ず自分で該大学の公式ホームページで最新情報を確認して手続きをとってください。

《助成金S対象》			応募要件					
国・地域名	大学名	プログラム名	GPA	英語要件			大学院生	留学生
				TOEIC スコア	TOEFL iBT スコア	IELTS スコア		
イギリス UK	ケンブリッジ大学ペンブルックカレッジ Pembroke College, University of Cambridge	サマープログラム Pembroke Cambridge Summer Programme	3.2*	—	107* (各セクション 25以上)	7.0* (各セクション 7.0以上)	○*	○*
アメリカ USA	ハーバード大学 Harvard University, The Division of Continuing Education	サマースクール Harvard Summer School	—*	—	100*	7.0*	○*	○*

※詳細は各大学公式ホームページを確認してください。

3. サマープログラム (例年1月頃学内募集し、同年5月頃留学開始)

1 授業料負担型

※この条件は2024年度の募集内容です。

			応募要件					
国・地域名	大学名	プログラム名	GPA	英語要件			大学院生	留学生
				TOEIC スコア	TOEFL iBT スコア	IELTS スコア		
アメリカ USA	ボストン大学 Boston University	サマーターム Summer Term	2.5	685*	84*	7.0*	○ 修士のみ	○
スペイン SPAIN	エサデビジネススクール ESADE Business School	インターナショナルサマープログラム International Summer Program	2.0	700	61	5.5	○* 修士のみ	○

4. 秋出発 (例年交換型は10～11月頃、授業料負担型は12～1月頃学内募集し、翌年8月～9月頃留学開始)

1 交換型

※この条件は2024年度の募集内容です。

北米					応募要件				
国・地域名	大学名	募集 人数	出願言語	GPA	英語要件		現地語要件 必要な 語学レベル	大学院生	留学生
					TOEFL iBT	IELTS			
アメリカ USA	アーカンソー州立大学 Arkansas State University	2	English	2.0	61	5.5	—	—	○
	オレゴン大学 University of Oregon	2	English	2.5*	61*	6.0*	—	○ 修士のみ	○

※詳細は募集要項及び出願条件等一覧を確認してください。

※この条件は2024年度の募集内容です。

国・地域名	大学名	募集人数	出願言語	応募要件					
				GPA	英語要件		現地語要件 必要な 語学レベル	大学院生	留学生
					TOEFL iBT	IELTS			
アメリカ USA	カリフォルニア州立大学ドミンゲス・ヒルズ校 California State University, Dominguez Hills	2	English	2.5	61	5.5	—	○ 修士のみ	○
	カリフォルニア州立大学ロングビーチ校 California State University Long Beach	8	English	2.0	61	6.0	—	○* 修士のみ	○
	北テキサス大学 University North Texas	2	English	2.5	79*	6.0*	—	○ 修士のみ	○
	サザンイリノイ大学カーボンデール校 Southern Illinois University, Carbondale	3	English	2.5*	68	6.0	—	—	○* 米国籍を 除く
	サンディエゴ州立大学 San Diego State University	2.5	English	2.5	80	6.5	—	—	○* 米国籍を 除く
	サンフランシスコ州立大学 San Francisco State University	15	English	2.75	61	6.0	—	—	○
	ジョージア大学 University of Georgia	1	English	2.0	80*	6.5*	—	○ 修士のみ	○
	テネシー工科大学 Tennessee Technological University	1	English	2.5	72	6.0	—	—	○
	テンブル大学 Temple University	2	English	3.0	79*	6.0*	—	○* 修士のみ	○
	ニューヨーク市立大学スタテンアイランド校 College of Staten Island, City University of New York	2	English	2.75	61	5.5	—	—	○
	ニューヨーク州立大学ニューバルツ校 State University of New York at New Paltz	2	English	2.0	80	6.5 (R:6.0 L:6.0 S:6.0 W:6.0)	—	—	○
	ニューヨーク州立大学バッファロー校 University at Buffalo, The State University of New York	3	English	3.0	70	6.0	—	—	○* 米国籍を 除く
	ネバダ大学リノ校 University of Nevada, Reno	2	English	2.75*	61*	6.0*	—	○* 修士のみ	○
	ネブラスカ大学オマハ校 The University of Nebraska Omaha	2	English	2.0	61*	6.0*	—	○ 修士のみ	○
	ノーザン州立大学 Northern State University	15	English	2.0	61	5.5	—	—	○
	ハワイ大学ヒロ校 University of Hawaii at Hilo	2	English	3.0	61	5.5	—	—	○
	マリアン大学インディアナポリス校 Marian University Indianapolis	1.5	English	2.5	69	6.0	—	—	○
	ミドル・テネシー州立大学 Middle Tennessee State University	2	English	2.5	61*	5.5*	—	○ 修士のみ	○
	メンフィス大学 The University of Memphis	2	English	2.5	61	6.0	—	—	○
	南ユタ大学 Southern Utah University	4	English	2.5	71*	6.0	—	○ 修士のみ	○
カナダ Canada	アルバータ大学 University of Alberta	2	English	2.5*	90 (R:21 L:21 S:21* W:21)	6.5 (R:6.0 L:6.0 S:6.0 W:6.0)	—	○*	○
	モントリオール大学 Université de Montréal	1.5	French	2.4*	—	—	CEFR B2*	○	○
	ユーコン大学 Yukon University	1*	English	2.0	87 (R:20 L:20 S:20 W:20)	6.5 (R:6.0 L:6.0 S:6.0 W:6.0)	—	—	日本人 のみ
	ヨーク大学 York University	2	English	2.5	61*	5.5*	—	○* 修士のみ	○

中南米

国・地域名	大学名	募集人数	出願言語	応募要件					
				GPA	英語要件		現地語要件 必要な 語学レベル	大学院生	留学生
					TOEFL iBT	IELTS			
メキシコ Mexico	グアダラハラ大学 Universidad de Guadalajara	2	Spanish	2.5	—	—	CEFR B1	○ 修士のみ	○
	グアナファト大学 Universidad de Guanajuato	2	Spanish	2.0	—	—	CEFR B1*	—	○

*詳細は募集要項及び出願条件等一覧を確認してください。

※この条件は2024年度の募集内容です。

国・地域名	大学名	募集人数	出願言語	GPA	応募要件				
					英語要件		現地語要件 必要な 語学レベル	大学 院生	留 学生
					TOEFL iBT	IELTS			
イギリス UK	イースト・アングリア大学 University of East Anglia	2	English	2.5	79* (R:18 L:17 S:21 W:19)	6.0* (R:5.5 L:5.5 S:6.0 W:6.0)	—	○* 修士のみ	○
	シェフィールド大学 The University of Sheffield	2	English	3.0	88* (R:20 L:19 S:22 W:19)	6.5* (R:6.0 L:6.0 S:6.0 W:6.0)	—	—	○
	マンチェスター大学 人文科学部 Faculty of Humanities, The University of Manchester	2	English	3.0	90*	6.5* (R:5.5 L:5.5 S:5.5 W:5.5)	—	—	○
	ヨーク・セント・ジョン大学 York St John University	4	English	2.6	75* (R:18 L:17 S:20 W:20)	6.0* (R:5.5 L:5.5 S:5.5 W:5.5)	—	—	○
	ロンドン大学東洋アフリカ研究学院 (SOAS) SOAS, University of London	2	English	3.3	95 (R:20 L:20 S:20 W:23)	6.5 (R:6.0 L:6.0 S:6.0 W:6.0)	—	○ 修士のみ	○
イタリア Italy	ヴェネツィア大学 Università Ca' Foscari Venezia	2	English or Italian	2.0	72	5.5	CEFR B2	○	○
	シエナ外国人大学 Università per Stranieri di Siena	2	Italian	2.0	—	—	CEFR B2	○ 修士のみ	○
	シエナ大学 Università degli Studi di Siena	1	English* or Italian	2.0	61	5.5	CEFR B1	○	○
	フィレンツェ大学 経済・企業経済学部 School of Economics & Management, Università degli Studi di Firenze	1	English or Italian	2.0	65	5.5	CEFR B1	○ 修士のみ	○
	ボローニャ大学 University of Bologna	1	English or Italian	2.0	61*	5.5*	CEFR B1	○ 修士のみ	○
	マチェラータ大学 University of Macerata	2	English* or Italian	2.0	61	5.5	CEFR B1*	○ 修士のみ	○
	ミラノ大学 Università degli Studi di Milano	1	Italian	2.0	—	—	CEFR B1	○ 修士のみ	○
オーストリア Austria	ウィーン大学 Universität Wien	2	English or German	2.0	61*	5.5*	CEFR B2*	○ 修士のみ	○
	クーフシュタイン・チロル応用科学大学 Fachhochschule Kufstein Tirol-University of Applied Sciences	2	English	2.0	61*	5.5*	—	—	○
	ザルツブルク大学 Paris Lodron University of Salzburg	2	English* or German	2.0	61*	5.5*	CEFR B2	○ 修士のみ	○
オランダ Netherlands	ライデン大学 Universiteit Leiden	2	English	3.2	90*	6.5*	—	○ 修士のみ	○
スウェーデン Sweden	カールスタッド大学 Karlstads Universitet	2	English	2.0	90	6.5 (R:5.5 L:5.5 S:5.5 W:5.5)	—	○ 修士のみ	○
	セーデルトーン大学 Södertörns Högskola	2	English	2.0	61*	5.5*	—	○ 修士のみ	○
	ヨーテボリ大学 ビジネススクール School of Business, Economics and Law, University of Gothenburg	1	English	2.0	61*	5.5*	—	○* 修士のみ	○
	リンシェーピング大学 理工学部 Faculty of Science and Engineering, Linköpings Universitet	2	English	2.0	61	5.5	—	○ 修士のみ	○
	リンシェーピング大学 教養学部 Faculty of Arts and Sciences, Linköpings Universitet	1	English	2.0	61	6.0	—	○ 修士のみ	○
スイス Switzerland	チューリッヒ大学 Universität Zürich	1	English or German	2.0	90*	6.5*	CEFR C1	○ 修士のみ	○
	スイス・アメリカン応用科学大学 American Institute of Applied Sciences in Switzerland	2	English	2.0	72 (R:18 L:17 S:20 W:17)	5.5 (R:4.5 L:4.5 S:4.5 W:4.5)	—	○ 修士のみ	○
スペイン Spain	サラマンカ大学 Universidad de Salamanca	2	Spanish	2.0	—	—	CEFR B1	—	○
	バレンシア大学 Universitat de València	2	English or Spanish	2.0	61	5.5	CEFR B1	—	○
	レイ・ファン・カルロス大学 Universidad Rey Juan Carlos	2	English or Spanish	2.0	72	5.5	CEFR B1*	—	○
セルビア Serbia	ベオグラード大学 University of Belgrade	1	English	2.5	61	5.5	—	○	○
デンマーク Denmark	コペンハーゲン大学 人文科学部 Faculty of Humanities, University of Copenhagen	6	English	2.0	61*	5.5*	—	○ 修士のみ	○

*詳細は募集要項及び出願条件等一覧を確認してください。

※この条件は2024年度の募集内容です。

国・地域名	大学名	募集人数	出願言語	応募要件					
				GPA	英語要件		現地語要件 必要な 語学レベル	大学 院 生	留 学 生
					TOEFL iBT	IELTS			
ドイツ Germany	キール応用科学大学 Fachhochschule Kiel	2	English* or German	2.0	72	5.5	CEFR B2	○ 修士のみ	○
	ジーゲン大学 Universität Siegen	2	English or German	2.0	72	5.5	CEFR B2 (TestDAF, Telc, Goethe Certificate)	○ 修士のみ	○
	バイロイト大学 Universität Bayreuth	2	English or German	2.0	75	5.5	Goethe/ Telc B2	○ 修士のみ	○
	ハインリッヒ・ハイネ大学 (デュッセルドルフ大学) Heinrich-Heine-Universität Düsseldorf	1	German	2.0	—	—	Goethe B1	○ 修士のみ	○
	パッサウ大学 Universität Passau	2	English or German	2.0	61*	5.5	CEFR B1*	○ 修士のみ	○
	フリードリヒ・シラー大学 (イエーナ大学) Friedrich-Schiller-Universität Jena	2	German	2.0	—	—	CEFR B2	○	○
ノルウェー Norway	インランドノルウェー大学 Høgskolen i Innlandet	4	English	2.0	61*	5.5*	—	○ 修士のみ	○
	ノルウェー経済大学 Norwegian School Of Economics	2	English	2.0	72	5.5	—	○ 修士のみ	○
	ベルゲン大学人文学部 Faculty of Humanities, University of Bergen	2	English	2.0	61	5.5	—	○ 修士のみ	○
ハンガリー Hungary	エトヴェシュ・ロラード大学 Eötvös Loránd Tudományegyetem	2	English	2.0	61*	5.5*	—	○* 修士のみ	○
フランス France	ヴェルサイユ大学 Université de Versailles et Saint-Quentin-en-Yvelines	2	English or French	2.0	61	5.5	CEFR B2*	○ 修士のみ	○
	エクス・マルセイユ大学 教養・言語・文・人文科学部, 法・政経学部, 経済・経営学部* Aix-Marseille Université	2	English* or French	2.0	61	5.5	CEFR B1*	—	○
	エクス・マルセイユ大学 (大学院) 経済・経営学部 Aix-Marseille Université-IAE	2	English or French	2.0	68*	5.5*	CEFR B2*	○ 修士のみ	○
	グルノーブル・アルプ大学 Université Grenoble Alpes	2	French	2.0	—	—	CEFR B1*	○ 修士のみ	○
	ストラスブール大学 Université de Strasbourg	2	French	2.0	—	—	DELFDALF /TEF/TCF B1*	○ 修士のみ	○* フランス 国籍を除く
	ソルボンヌ・ヌーベル大学 (パリ第3大学) Université Sorbonne Nouvelle (Paris 3)	3	French	2.0	—	—	CEFR B2	○ 修士のみ	○
	トゥールーズ政治学院 Institut d' Études Politiques de Toulouse	1	English or French	2.0	72	5.5	DELFD/TCF/TEF B2	○ 修士のみ	○
	パリ・シテ大学 Université Paris Cité	2	French	2.0	—	—	CEFR B2	○ 修士のみ	○
	フランス国立東洋言語文化研究学院 (INALCO) Institut national des langues et civilisations orientales	2	French	2.0	—	—	CEFR B1*	○	○
	ランス大学 Université de Reims Champagne Ardenne	3	French	2.0	—	—	CEFR B1	○ 修士のみ	○
	リール・カトリック大学 (LILLE Campus) Université Catholique de Lille (LILLE Campus)	3	English or French	2.75	61*	5.5	CEFR B1*	○ 修士のみ	○
	リヨン政治学院 Institut d' Études Politiques de Lyon	2	English or French	2.0	61	5.5	CEFR B2	○ 修士のみ	○
	リヨン第2大学 Université Lumière Lyon 2	2	French	2.0	—	—	CEFR B1	○ 修士のみ	○
	リヨン第3大学 Université Jean Moulin Lyon 3	4	English* or French	2.0	61	5.5	CEFR B1*	○	○
	レユニオン大学 Université de la Réunion	2	French	2.0	—	—	CEFR B1	○ 修士のみ	○
ブルガリア Bulgaria	ソフィア大学 Sofia University St. Kliment Ohridski**	2	English	2.0	61	5.5	—	○	○
ベルギー Belgium	リエージュ大学 Université de Liège	1	English* or French*	2.5	61*	5.5*	CEFR B1*	○ 修士のみ	○

*詳細は募集要項及び出願条件等一覧を確認してください。

※この条件は2024年度の募集内容です。

国・地域名	大学名	募集人数	出願言語	応募要件					
				GPA	英語要件		現地語要件 必要な 語学レベル	大学院生	留学生
					TOEFL iBT	IELTS			
ポーランド Poland	ウッジ大学 Uniwersytet Łódzki	5	English	2.0	61	5.5	—	○ 修士のみ	○
	ポズナン経済大学 Uniwersytet Ekonomiczny w Poznaniu	2	English	2.0	72	5.5	—	○ 修士のみ	○
リトアニア Lithuania	ヴィリニウス大学 Vilnius University	1.5	English	2.0	72	5.5	—	○	○
	ミーコラス・ロメリス大学 Mykolo Romerio Universitetas	2	English	2.0	61	5.5	—	○	○
ルーマニア Romania	ブカレスト大学 Universitatea din București	1	English*	2.5	61*	5.5*	—	○ 修士のみ	○
	ブカレスト経済研究大学 Academia de Studii Economice din Bucuresti	1	English	2.0	61	5.5	—	○	○
ロシア Russia	クラスノヤルスク国立教育大学 Krasnoyarsk State Pedagogical University	2*	Russian	2.0	—	—	CEFR B1*	○	○
	モスクワ国立大学 Lomonosov Moscow State University	2	Russian	3.0	—	—	TORFL-II / B2 level	○ 修士のみ	○

中東

国・地域名	大学名	募集人数	出願言語	応募要件					
				GPA	英語要件		現地語要件 必要な 語学レベル	大学院生	留学生
					TOEFL iBT	IELTS			
トルコ Turkey	中東工科大学 Middle East Technical University	1	English	2.0*	61*	5.5*	—	○*	○

アフリカ

国・地域名	大学名	募集人数	出願言語	応募要件					
				GPA	英語要件		現地語要件 必要な 語学レベル	大学院生	留学生
					TOEFL iBT	IELTS			
ガーナ Ghana	ガーナ大学 University of Ghana	2	English	2.5	61	5.5	—	—	○
モロッコ Morocco	アル・アハワイン大学 Al Akhawayn University	2	English	2.75	72	5.5	—	○ 修士のみ	○

アジア

国・地域名	大学名	募集人数	出願言語	応募要件					
				GPA	英語要件		現地語要件 必要な 語学レベル	大学院生	留学生
					TOEFL iBT	IELTS			
インド India	インド科学院大学 Indian Institute of Science	2	English	2.0	61	5.5	—	○*	○
インドネシア Indonesia	ガジャマダ大学 Universitas Gadjah Mada	1	English	3.0	70	5.5	—	—	○
シンガポール Singapore	シンガポール経営大学 Singapore Management University	2	English	2.0	93 (R:22 W:22)	7.0 (R:7.0 W:6.5)	—	○* 修士のみ	○
タイ Thailand	シーナカリンウィロート大学 Srinakharinwirot University	2	English or Thai	2.5	61	5.5	*	—	○
	タマサート大学 Thammasat University	2	English	2.5*	61*	6.0*	—	○ 修士のみ	○
	チュラロンコン大学 Chulalongkorn University	2	English*	2.75	79*	6.0* (R:5.5 L:5.5 S:5.5 W:5.5)	—	○* 修士のみ	○
中国 China	延辺大学 Yanbian University	2*	Chinese	2.0	—	—	HSK-4	—	日本人 のみ
	華東師範大学 East China Normal University	2	Chinese	3.0	—	—	HSK-5 with 180	○	○
	上海交通大学 Shanghai Jiao Tong University	2	English or Chinese	3.0	90	6.0	HSK-5 with 200	○ 修士のみ	○ 中国籍を 除く
	深圳大学 Shenzhen University	5	Chinese	2.0	—	—	HSK-4	○	○
	中央財経大学 Central University of Finance and Economics	1	English or Chinese	2.0	85	6.5	HSK-6	○	○

*詳細は募集要項及び出願条件等一覧を確認してください。

※この条件は2024年度の募集内容です。

国・地域名	大学名	募集人数	出願言語	応募要件					
				GPA	英語要件		現地語要件 必要な 語学レベル	大学院生	留学生
					TOEFL iBT	IELTS			
中国 China	中央民族大学 Minzu University of China	2	Chinese	2.0	—	—	HSK-5 with 180	—	○ 中国籍を 除く
	中国人民大学 Renmin University of China	1	Chinese	3.0	—	—	HSK-6	○ 修士のみ	○ 中国籍を 除く
	東華大学 Donghua University	1	English*	2.0	80	6.0	—	○* 修士のみ	○ 中国籍を 除く
	東北財経大学 Dongbei University of Finance and Economics	1	English*	2.0	79	6.0	—	○ 修士のみ	○ 中国籍を 除く
	南京大学 Nanjing University	2	English or Chinese	2.0	78	6.0	HSK-5	○ 修士のみ	○ 中国籍を 除く
	北京大学 Peking University	3	Chinese	3.0*	—	—	HSK-6 with each item over 70 points	○ 修士のみ	○* 中国籍を 除く
	北京第二外国語大学 Beijing International Studies University	1	Chinese	2.0	—	—	HSK-5 with 180	○ 修士のみ	○ 中国籍を 除く
	廈門大学 Xiamen University	2	Chinese	2.5	—	—	HSK-4 with 210*	○	○*
香港 Hong Kong	香港大学 人文学部外国語外国文化学科 School of Modern Language and Cultures, The Faculty of Arts, The University of Hong Kong	2	English	2.8*	93*	6.5*	—	—	○
	香港中文大学 The Chinese University of Hong Kong	3	English or Chinese	3.0	80*	6.0*	CEFR B1	—	○
台湾 Taiwan	国立嘉義大学 National Chiayi University	2	Chinese	2.0	—	—	HSK-4	○	○
	国立政治大学 National Chengchi University	2	English or Chinese	2.75	80	6.0	HSK-4*	○*	○*
	国立台北大学 National Taipei University	2	English or Chinese*	2.75	72	5.5	HSK-6*	○ 修士のみ	○ 台湾籍を 除く
	国立台湾師範大学 National Taiwan Normal University	1	English or Chinese	3.0	80	6.5	TOCFL Level 3 / HSK-5*	○	○
	国立台湾大学 National Taiwan University	2	English or Chinese	3.0	71	5.5	TOCFL Band B Level 3 / HSK-5	○	○* 台湾籍を 除く
	国立高雄科技大学 National Kaohsiung University of Science and Technology	1	English* or Chinese	3.0	61*	5.5	TOCFL Level 4 / HSK-6	○ 修士のみ	○ 台湾籍を 除く
	国立中央大学 National Central University	1	English* or Chinese	2.8*	61	5.5	HSK-3	○	○ 台湾籍を 除く
	国立虎尾科技大学 National Formosa University	2.5	English or Chinese	2.0	61	5.5	CEFR B1	○ 修士のみ	○ 台湾籍を 除く
	中国文化大学 Chinese Culture University	2	English or Chinese	2.0	61	5.5	HSK-4	○	○ 台湾籍を 除く
フィリピン Philippines	エンデラン大学 Enderun Colleges	0.5*	English	2.0	72	5.5	—	—	日本人 のみ
	フィリピン大学ディリマン校 University of the Philippines Diliman	2	English	2.0	61	5.5	—	○ 修士のみ	○
ベトナム Vietnam	ハノイ大学 Hanoi University	2	English*	2.0	80* (R:20* L:20 S:20 W:20)	6.0* (R:5.0* L:5.0 S:5.0 W:5.0)	—	○ 修士のみ	日本人 のみ
	ハノイ貿易大学 Foreign Trade University	3	English	2.0	65	5.5	—	○ 修士のみ	○
	ベトナム国家大学ハノイ外国語大学 University of Languages and International Studies, Vietnam National University-Hanoi	1	English	2.8	—	5.5	—	—	日本人 のみ
マレーシア Malaysia	マラヤ大学 University of Malaya	2	English	3.0	80	6.0	—	○ 修士のみ	○
	マレーシア科学大学 Universiti Sains Malaysia	2	English	2.0	79	5.5	—	○* 修士のみ	○
	マレーシア工科大学 Universiti Teknologi Malaysia	1.5	English	3.0	61	5.5	—	○ 修士のみ	○
	マレーシア・サラワク大学 Universiti Malaysia Sarawak	1	English	2.75	61*	5.5*	—	○*	○

*詳細は募集要項及び出願条件等一覧を確認してください。

※この条件は2024年度の募集内容です。

オセアニア				応募要件					
国・地域名	大学名	募集人数	出願言語	GPA	英語要件		現地語要件 必要な 語学レベル	大学院生	留学生
					TOEFL iBT	IELTS			
オーストラリア Australia	UNSW シドニー (ニューサウスウェールズ大学) UNSW Sydney (The University of New South Wales)	5.5	English	3.0	90	6.5	—	○ 修士のみ	○

*詳細は募集要項及び出願条件等一覧を確認してください。

2 授業料負担型

※この条件は2024年度の募集内容です。

北米				応募要件					
国・地域名	大学名	募集人数	出願言語	GPA	英語要件		現地語要件 必要な 語学レベル	大学院生	留学生
					TOEFL iBT	IELTS			
アメリカ USA	アーカンソー州立大学 Arkansas State University	制限なし	English	2.0	61	5.5	—	—	○
	インディアナ大学インディアナポリス校 Indiana University Indianapolis	7.5	English	2.0	61*	5.5*	—	—	○
	オレゴン大学 University of Oregon	制限なし	English	2.5*	61*	6.0*	—	○ 修士のみ	○
	カリフォルニア州立大学サンバーナーディーノ校 California State University, San Bernardino	制限なし	English	2.0*	61*	5.5*	—	○ 修士のみ	○ 米国籍 除く
	カリフォルニア州立大学チャンネル・アイランズ校 California State University Channel Islands	制限なし	English	2.0	61	6.0	—	—	○
	カリフォルニア州立大学ドミンゲス・ヒルズ校 California State University, Dominguez Hills	制限なし	English	2.5	61	5.5	—	○ 修士のみ	○
	カリフォルニア州立大学ノースリッジ校 California State University, Northridge	制限なし	English	2.0*	61*	6.0*	—	○ 修士のみ	○ 米国籍 除く
	カリフォルニア州立大学フラトン校 California State University, Fullerton	制限なし	English	2.0	61*	5.5*	—	○ 修士のみ	○
	カリフォルニア州立大学ロングビーチ校 California State University Long Beach	10	English	2.0	61*	5.5* (R:5.5 L:5.5 S:5.5 W:5.5)	—	○ 修士のみ	○
	カリフォルニア大学アーバイン校 生涯教育部 Division of Continuing Education, University of California, Irvine	制限なし	English	3.0	80	6.5	—	○ 修士のみ	○
	カリフォルニア大学デービス校 生涯専門教育部 University of California, Davis	制限なし	English	3.0	71*	6.0*	—	○ 修士のみ	○
	セントラル・オクラホマ大学 University of Central Oklahoma	5	English	2.5	61*	5.5*	—	○ 修士のみ	○
	ソノマ州立大学 Sonoma State University	5	English	2.5	61*	6.0*	—	○ 修士のみ	○
	テネシー工科大学 Tennessee Technological University	5	English	2.5	72	6.0	—	—	○
	テンプル大学 Temple University	10	English	2.75	79	6.0	—	○* 修士のみ	○
	ニューヨーク市立大学ステテンアイランド校 College of Staten Island, City University of New York	制限なし	English	2.75	61	5.5	—	—	○
	ボストン大学メトロポリタンカレッジ Boston University Metropolitan College	50	English	3.0	84 (R:21 L:18 S:23 W:22)	6.5 (R:6.5 L:6.5 S:6.5 W:6.5)	—	○ 修士のみ	○
	ミドル・テネシー州立大学 Middle Tennessee State University	制限なし	English	2.5	61*	5.5*	—	○ 修士のみ	○
	南ユタ大学 Southern Utah University	20	English	2.5	71*	6.0	—	○ 修士のみ	○
	メンフィス大学 The University of Memphis	2	English	2.5	61	6.0	—	—	○

欧州				応募要件					
国・地域名	大学名	募集人数	出願言語	GPA	英語要件		現地語要件 必要な 語学レベル	大学院生	留学生
					TOEFL iBT	IELTS			
イギリス UK	マンチェスター大学 人文科学部 Faculty of Humanities, The University of Manchester	制限なし	English	3.0	90*	6.5* (R:5.5 L:5.5 S:5.5 W:5.5)	—	—	○

*詳細は募集要項及び出願条件等一覧を確認してください。

※この条件は2024年度の募集内容です。

国・地域名					応募要件						
					GPA	英語要件		現地語要件		大学院生	留学生
						TOEFL iBT	IELTS	必要な語学レベル			
フランス France	トゥールーズ政治学院 Institut d' Études Politiques de Toulouse	3	English or French	2.0	72	5.5	DELTA/TCF/TEF B2		○ 修士のみ	○	
スウェーデン Sweden	ルンド大学 Lunds Universitet	7.5	English	2.0*	78	6.0			—	○	

アフリカ

アフリカ				応募要件						
国・地域名	大学名	募集人数	出願言語	GPA	英語要件		現地語要件	大学院生	留学生	
			English		TOEFL iBT	IELTS	必要な語学レベル			
ガーナ Ghana	ガーナ大学 University of Ghana	4	English	2.5	61	5.5	—	—	○	

3 ブリッジ型【授業負担型】 学術英語研修 + 正規コース履修

※この条件は2024年度の募集内容です。

				応募要件						
国・地域名	大学名	募集人数	出願言語	GPA	英語要件		現地語要件		大学院生	留学生
			English		TOEFL iBT	IELTS	必要な語学レベル			
アメリカ USA	ポートランド州立大学 Portland State University	50	English	2.0	36*	5.5*	—	—	○米国籍除く	

5. テンプル大学デュアルディグリープログラム【授業料負担型】

明治大学における4年次秋学期（在学8学期目）からテンブル大学大学院へ約2年間留学し、同大学院修士課程を修了することで、明治大学の「修士」学位とテンブル大学大学院の「修士」学位を取得することができるプログラムです。

※過年度募集対象となった学部（プログラムに参加が可能な学部）は、商学部、政治経済学部、理工学部（建築学科のみ）、農学部（農学科のみ）、情報コミュニケーション学部、国際日本学部でした。学部ごとに出席条件が異なるので、必ず最新の学部別出席条件等一覧を確認してください。

※出席条件は、修士課程選考コースごとに異なります。詳しくは最新の募集要項、テンブル大学公式ホームページを確認してください。

※この条件は2024年度の募集内容です。

国・地域名	大学名	募集人数	出願言語	GPA	英語要件		大学院生	留学生	備考
					TOEFL iBT	IELTS			
アメリカ USA	テンブル大学 Temple University	制限なし	English	3.0 or higher (4.0 scale)	79~105	6.5~7.0	—	○	学部ごとに出願できるコースが異なる*

*詳細は募集要項及び出席条件等一覧を確認してください。

2. 学部間・研究科間協定留学 当該学部・研究科の学生のみ参加可能

学部間・研究科間の協定留学では、学部・研究科が独自に留学の協定を締結した協定校に留学します。対象者は当該学部・研究科在籍者のみで、原則として異なる学部・研究科の協定校に申請することはできません（一部の学部では、大学院生の応募も認めています）。学内募集・選考・派遣の手続きは、全て当該学部・研究科において行われます。プログラムの詳細については所属学部・研究科に確認してください。

■ 以下は、過年度に募集した学部間・研究科間協定留学情報です。記載情報は予告なく変更されることがあります。また、新規協定校については掲載されていないので、最新情報は必ず当該学部・研究科に確認してください。

学部間協定留学

法学部 法学部は以下の大学と協定を結び、協定留学を実施しています。留学先機関の授業料は原則として免除されます。

国・地域名	大学名	出願言語	募集人数	応募要件							
				GPA	語学要件			留学生	学部1年生	大学院生	備考
					英語	現地語	スコア証明書				
台湾 Taiwan	国立台湾大学法律学院 NATIONAL TAIWAN UNIVERSITY, College of Law	Chinese	2	2.0	—	中国語による基本的なコミュニケーション能力を有する者	—	事前に要問合せ	○	—	注1
中国 China	南京師範大学法学院 NANJING NORMAL UNIVERSITY, School of Law	Chinese	3	2.0	—	HSK4級	○	事前に要問合せ	○	○	注1 注2
ブラジル Brazil	サンパウロ大学法学部 UNIVERSITY OF SÃO PAULO, School of Law	Portuguese	5	2.0	—	ポルトガル語による基本的なコミュニケーション能力を有する者	—	事前に要問合せ	○	—	注1

注1 在学1年につき卒業要件単位を30単位以上修得しているか、修得見込みであること。
注2 募集人数は、法学研究科・法科大学院からの参加人数を含む。
注3 募集人数は、法学研究科からの参加人数を含む。

商学部 商学部は以下の大学と協定を結び、協定留学を実施しています。留学先機関の授業料は原則として免除されます。

国・地域名	大学名	出願言語	募集人数	応募要件							
				GPA	語学要件			留学生	学部1年生	大学院生	備考
					英語（いずれかを満たすこと）	現地語	スコア証明書				
イギリス UK	カーディフ大学カーディフビジネススクール CARDIFF BUSINESS SCHOOL CARDIFF UNIVERSITY	English	2名前後	—	TOEFL iBT: 60 IELTS: 6.0 (各セクション5.5)	—	○	○	○	—	注1
ドイツ Germany	ブレーメン経済工科大学 HOCHSCHULE BREMEN	English and German	4名前後	—	TOEFL iBT: 71 IELTS: 5.5 英検準1級 TOEIC: 785	ドイツ語による基本的なコミュニケーション能力を有する者 (独検3級程度)	Eng.: ○ German: ○	○	○	—	
フランス France	パリ商業高等大学 INSTITUT SUPERIEUR DU COMMERCE PARIS	English or French	2名前後	—	TOEFL iBT: 79 TOEFL iTP: 543 IELTS: 6.5 TOEIC: 785	フランス語による基本的なコミュニケーション能力を有する者	Eng.: ○ French:—	○	○	—	
	レンヌ商科大学 ESC RENNES SCHOOL OF BUSINESS	English or French	5名前後	—	TOEFL iBT: 79 IELTS: 5.5 TOEIC: 785	フランス語による基本的なコミュニケーション能力を有する者	Eng.: ○ French:—	○	○	—	

注1 語学要件は前年度の派遣候補者募集の際のもので、最新の情報は商学部事務室に確認してください。

政治経済学部 政治経済学部は以下の大学と協定を結び、協定留学を実施しています。留学先機関の授業料が発生する協定校と免除される協定校があります。

1 授業料免除型

国・地域名	大学名	出願言語	募集 人数	応募要件							
				GPA	語学要件			留学生	学部 1年生	大学院 生	備考
					英語（いずれかを満たすこと）	現地語	スコア証明書				
インドネシア Indonesia	ペトラクリスチャン大学 PETRA CHRISTIAN UNIVERSITY	English	2	2.75	TOEIC: 575 TOEFL iBT: 61 IELTS: 6.0	—	○	○	○	—	
オランダ Netherlands	ロッテルダム応用科学大学 ROTTERDAM UNIVERSITY OF APPLIED SCIENCES	English	3	2.0	TOEFL iBT: 80 IELTS: 6.0	—	○	○	—	—	

国・地域名	大学名	出願言語	募集人数	GPA	応募要件						
					語学要件			留学生	学部1年生	大学院生	備考
					英語 (いずれかを満たすこと)	現地語	スコア証明書				
韓国 Korea	延世大学 YONSEI UNIVERSITY	English	2	2.8	TOEFL iBT: 61	—	○	○	○	—	
シンガポール Singapore	南洋理工大學 NANYANG TECHNOLOGICAL UNIVERSITY	English	1	3.0	TOEFL iBT: 90 IELTS 6.0 overall and 6.0 writing	—	○	○	○	—	
タイ Thailand	シーナカリンウィロート大学 SRINAKHARINWIROT UNIVERSITY (①社会科学部/②経済学部/③人文学部/④社会経営)	English	①4 ②5 ③3 ④3	①2.0 ②2.0 ③2.0 ④2.5	①② TOEIC: 785 TOEFL iBT: 61 IELTS: 5.5 ③ TOEIC: 550 TOEFL iBT: 70 IELTS: 5.5 ④ TOEIC: 650 TOEFL iBT: 65 IELTS: 5.5	—	○	○	○	—	
	タマサート大学 THAMMASAT UNIVERSITY	English	2	2.8	TOEFL iBT: 61 IELTS: 6.0	—	○	○	—	—	
	チュラロンコン大学 CHULALONGKORN UNIVERSITY (①政治学部/②経済学部)	English	①1 ②2	①3.0 ②2.8	① TOEFL iBT: 87 no sub-score below W:21, L:19, R:19, S:20 IELTS: 6.5 no sub-score below 6.0 ② TOEFL iBT: 79 IELTS: 6.5	—	○	○	○	—	
台湾 Taiwan	国立政治大学 NATIONAL CHENGCHI UNIVERSITY (①社会科学学院政治学科/②社会科学学院)	English	①3 ②2	①3.4 ②2.0	① TOEIC: 800 TOEFL iBT: 80 IELTS: 6.5 ② TOEIC: 785 TOEFL iBT: 61 IELTS: 5.5	—	○	○	○	—	注1
	国立台湾大学 NATIONAL TAIWAN UNIVERSITY	English	2	2.0	TOEFL iBT: 79 IELTS: 6.0	—	○	○	○	—	
中国 China	北京大学 PEKING UNIVERSITY	English	2	3.0	IELTS: 6.0	HSK6級 (over180points) (中国語での授業希望者のみ)	○	○	—	—	
フィンランド Finland	東フィンランド大学 UNIVERSITY OF EASTERN FINLAND	English	3	2.0	TOEIC: 785 TOEFL iBT: 61 IELTS: 5.5	—	○	○	○	—	
ベトナム Vietnam	ハノイ貿易大学 FOREIGN TRADE UNIVERSITY	English	3	2.0	TOEFL iBT: 65 IELTS: 5.5	—	○	○	○	—	
	ベトナム国家大学ハノイ人文社会科学大学 UNIVERSITY OF SOCIAL SCIENCES AND HUMANITIES, VIETNAM NATIONAL UNIVERSITY- HANOI	English	3	2.0	TOEIC: 785 TOEFL iBT: 61 IELTS: 5.5	—	○	○	○	—	
	ベトナム国家大学 ホーチミン市人文社会科学大学 UNIVERSITY OF SOCIAL SCIENCES AND HUMANITIES, VIETNAM NATIONAL UNIVERSITY - HO CHI MINH CITY	English	2	3.0	TOEFL iBT: 80 IELTS: 6.0	—	○	○	○	—	
	ホーチミン市経済大学 UNIVERSITY OF ECONOMICS HO CHI MINH CITY	English	2	2.0	TOEFL iBT: 72 IELTS: 5.5	—	○	○	○	—	
ドイツ Germany	ノイウルム応用科学大学 NEU-ULM UNIVERSITY OF APPLIED SCIENCES	English	2	2.0	TOEIC R:385, L:400, S:160, W:150 TOEFL iBT: 72 (R:18, L:17, S:20, W:17) IELTS: 6.0	—	○	○	○	—	

2 ダブルディグリープログラム [授業料負担型]

国・地域名	大学名	出願言語	募集人数	GPA	応募要件						
					語学要件			留学生	学部1年生	大学院生	備考
					英語 (いずれかを満たすこと)	現地語	スコア証明書				
タイ Thailand	タマサート大学 THAMMASAT UNIVERSITY	English	15	3.0	TOEFL iBT: 80 IELTS: 6.0	—	○	○	—	—	注1 注2

注1：最新の情報は政治経済学部 HP を参照してください。

注2：2 年次終了までに外国語科目、基礎科目、運動・健康科学科目、その他学科必修科目を 75 単位以上修得し、3 年次春学期終了までに 95 単位以上修得する見込みであること。

文学部

文学部は以下の大学と協定を結び、協定留学を実施しています。
留学先機関の授業料は原則として免除されます。

国・地域名	大学名	出願言語	募集人数	GPA	応募要件						
					語学要件			留学生	学部1年生	大学院生	備考
					英語 (いずれかを満たすこと)	現地語	スコア証明書				
ドイツ Germany	ビーレフェルト大学言語学および文学部 UNIVERSITÄT BIELEFELD Fakultät für Linguistik und Literaturwissenschaft	German	1~2	—	—	留学開始までに ドイツ語 CEFR: B1、または B2 を取得している ことが望ましい ※Goethe-Zer- tifikat B1、ドイ- ツ語技能検定試 験 2~3 級程度	—	○	注1	○	注2

国・地域名	大学名	出願言語	募集人数	応募要件							
				GPA	語学要件			留学生	学部1年生	大学院生	備考
					英語 (いずれかを満たすこと)	現地語	スコア証明書				
ドイツ Germany	バンベルク大学人文学部 UNIVERSITÄT BAMBERG, Geistes-und Kulturwissenschaften	German	1~2	—	—	留学開始までにドイツ語 CEFR: B1、または B2 を取得していることが望ましい ※Goethe-Zertifikat B1、ドイツ語技能検定試験2~3級程度	—	○		○	
	アルベルト・ルートヴィヒ大学フライブルク 人文学部及び文献学部 ALBERT-LUDWIGS-UNIVERSITY OF FREIBURG Faculty Of Humanities,Faculty Of Philology	German	1~2	—	—	ドイツ語で講義を受けられる十分な語学力を有する者	—	○		○	
台湾 Taiwan	国立台湾師範大学文学院 NATIONAL TAIWAN NORMAL UNIVERSITY, College of Liberal Arts	Chinese or English	1~2	中国語もしくは英語で講義を受けられる十分な語学力を有する者 国立台湾師範大学文学院の各専攻が定める出願条件を満たす者				○		○	
	国立中興大学文学院 NATIONAL CHUNG HSIUNG UNIVERSITY, College Of Liberal Arts	Chinese or English	5	中国語もしくは英語で講義を受けられる十分な語学力を有する者(以下、目安) 【中国語】 TOCFL (華語文能力測驗) 3級 (進階級)、HSK (中国語検定試験) 5級 【英語】 TOEFL : ITP 500 / iBT 61、IELTS : 5.0、TOEIC : 670 相当 GPA3.0以上が望ましい				○		○	
	国立台湾大学文学院 NATIONAL TAIWAN UNIVERSITY, College of Liberal Arts	Chinese or English	5	中国語もしくは英語で講義を受けられる十分な語学力を有するもの(以下、目安) 【中国語】 B2もしくはそれ以上 【英語】 CEFR B2もしくはそれ以上 (TOEIC 785、TOEFL 72、IELTS 5.5 もしくはそれ以上) GPA 3.5以上が望ましい				○		○	
	国立台北大学法律学院 NATIONAL TAIPEI UNIVERSITY, College of Law	Chinese	2	—	—	TOCFL (華語文能力測驗) 3級 (進階級)、HSK (中国語検定試験) 3級もしくはTECC (中国語コミュニケーション能力検定) レベル 4	○	○	注1	○	注2
フランス France	ボルドー・モンテーニュ大学 UNIVERSITÉ BORDEAUX-MONTAIGNE	French	1~2	—	—	留学開始までに DELFまたは TCF B1を取得していることが望ましい	—			○	
	ポー・アドゥール地方大学 UNIVERSITÉ DE PAU ET DES PAYS DE L'ADOUR	French	1~2	—	—	留学開始前までにフランス語 CEFR B2を取得していることが望ましい	—	○		○	
韓国 Korea	高麗大学 KOREA UNIVERSITY	Korean or English	1~3	2.5以上	韓国語もしくは英語で講義を受けられる十分な語学力を有する者			○		○	
中国 China	北京師範大学歴史学院 BEIJING NORMAL UNIVERSITY, School of History	Chinese	1	3.0以上	—	New HSK レベル5 (180点以上) または同等の語学力を有する者	—	○		○	
セネガル Republic of Senegal	シェイク・アント・ジョブ大学 人文科学部 CHEIKH ANTA DIOP UNIVERSITY, School Of Letters And Human Sciences	French or English	1~2	フランス語もしくは英語で講義を受けられる十分な語学力を有する者				○		○	

注1 学部1年生の出願については、文学部事務室に確認すること。

注2 大学院生は指導教授の許可を受けた者に限る。

理工学部

理工学部は以下の大学と協定を結び、協定留学を実施しています。
留学先機関の授業料は原則として免除されます。

国・地域名	大学名	出願言語	募集 人数	応募要件							
				GPA	語学要件			留学生	学部 1年生	大学院 生	備考
					英語（いずれかを満たすこと）	現地語	スコア証明書				
アメリカ USA	オレゴン大学建築・芸術学部 UNIVERSITY OF OREGON, School of Architecture and Allied Arts	English	1～2	2.5	TOEFL iBT: 88 IELTS: 7.0以上	—	○	○	—	○	注
	ワシントン大学建造環境学部建築学科 UNIVERSITY OF WASHINGTON, College of Built Environments Department of Architecture	English	1～2	3.0	TOEFL iBT: 76	—	○	○	—	○	注1
シンガポール Singapore	シンガポール国立大学設計・環境学部 NATIONAL UNIVERSITY OF SINGAPORE, School of Design and Environment	English	1～2	—	原則として TOEFL iBT61 以上	—	○	○ (シンガポール 国籍は不可)	—	○	注1
タイ Thailand	シーナカリンウィロート大学 工学部 SRINAKHARINWIROT UNIVERSITY, Faculty of Engineering	English	1～2	—	十分な英語能力を 有していること	—	—	○	—	○	注1
	チュラロンコン大学 ①建築学部、②理学部 CHULALONGKORN UNIVERSITY, Faculty of Architecture, Faculty of Science	English	①公募 なし ②1～2	②2.75	② TOEFL iBT: 79 TOEFL CBT: 213 TOEFL PBT: 550 IELTS: 6.0	—	○	○	—	○	注1 注2
フランス France	パリ国立建築大学ラヴィレット校 ÉCOLE NATIONALE SUPÉRIEURE D' ARCHITECTURE DE PARIS LA VILLETTE	French	1～2	—	—	DELFB1以上 が望ましい	—	○	—	○	注1
	パリ・カトリック大学パリ電子工学院 CATHOLIC UNIVERSITY OF PARIS, Institut Supérieur d'Electronique de Paris	English or French	1～2	—	—	DELFB2以上 が望ましい	○	○	—	○	注1
	ボルドー工科大学 BORDEAUX INSTITUTE OF TECHNOLOGY	English or French	1～2	—	—	DELFB1以上 が望ましい	—	○	—	○	注1 注3
ドイツ Germany	ウッパタール大学 UNIVERSITY OF WUPPERTAL	English or German	1～2	—	—	—	—	○	—	○	注1

注1 原則として本学理工学研究科への進学が内定した学部4年生、又は大学院生が応募可能。また、詳細および最新情報は、理工学部HPを必ず確認すること。

https://www.meiji.ac.jp/sst/international/student_exchange.html

注2 ①建築学部については、原則として公募を実施しないため、留学希望者は理工学部事務室に問い合わせること。

注3 ボルドー工科大学については、原則として公募を実施しないため、留学希望者は理工学部事務室に問い合わせること。

農学部

農学部は以下の大学と協定を結び、協定留学を実施しています。
留学先機関の授業料が発生する協定校と免除される協定校があります。

1 交換型

国・地域名	大学名	出願言語	募集人数	応募要件							
				GPA	語学要件			留学生	学部1年生	大学院生	備考
					英語（いずれかを満たすこと）	現地語	スコア証明書				
タイ Thailand	カセサート大学カンベンセン校 農学部 KASETSART UNIVERSITY Faculty of Agriculture, Camphaensen	English or Thai	半期2名 または通 年1名の いずれか	2.5	過去1年以内のTOEICまたはTOEFLのスコアを応募期間までに提出可能な者	—	○	要事前 問合せ	○	—	注1
	カセサート大学バンクー校 農学部 KASETSART UNIVERSITY Faculty of Agriculture, Bangkok	English or Thai	半期2名 または通 年1名の いずれか	2.5	過去1年以内のTOEICまたはTOEFLのスコアを応募期間までに提出可能な者	—	○	要事前 問合せ	○	—	注1
	シーナカリンウィロート大学 SRINAKHARINWIROT UNIVERSITY (①農産物革新・技術学部/②経済学部)	English or Thai	各学部 2名	2.5	過去1年以内のTOEICまたはTOEFLのスコアを応募期間までに提出可能な者	—	○	要事前 問合せ	○	—	注1
	チュラロンコン大学 理学部 CHULALONGKORN UNIVERSITY Faculty of Science	English or Thai	半期4名、 通年2名の いずれか	2.75	TOEFL iBT: 79 TOEFL CBT: 213 TOEFL PBT: 550 IELTS: 6.0	—	○	要事前 問合せ	○	—	—
台湾 Taiwan	国立屏東科技大学 NATIONAL PINGTUNG UNIVERSITY OF SCIENCE AND TECHNOLOGY (①農学部/②工学部)	English or Chinese	各学部 半期2名 または通 年1名の いずれか	2.5	英語での授業が理解できるもの。(留学決定後には、英語・中国語の能力向上に十分努めること)	—	○	要事前 問合せ	○	—	注2
アメリカ USA	テキサス大学サウスウェスタンメディカルセンター UNIVERSITY OF TEXAS Southwestern Medical Center	English	1～3	2.5	英語で研究活動ができる者。 過去1年以内のTOEICまたはTOEFLのスコアを応募期間までに提出可能な者	—	○	要事前 問合せ	—	—	—

2 授業料負担型

国・地域名	大学名	出願言語	募集 人数	応募要件							
				GPA	語学要件			留学生	学部 1年生	大学 院生	備考
					英語（いずれかを満たすこと）	現地語	スコア証明書				
アメリカ USA	ミシガン州立大学 MICHIGAN STATE UNIVERSITY	English	10	2.5	TOEFL (iBT) 79点以上かつ 各セクションが17点以上 またはその試験による上記相当 過去1年以内のTOEICまたは TOEFLのスコアを応募 期間までに提出可能な者	—	○	要事前 問合せ	○	○	—

注1 タイ語力については特に問わない。授業は原則としてタイ語で行われるが、一部の科目については英語で開講される。

注2 語学力の具体的な基準については特に定めていないが、留学決定後は英語及び中国語の能力向上に各自で十分励み、留学に臨むこと。授業は国立屏東科技大学が英語で提供する授業のみ履修可能。(国立屏東科技大学により承認された中国語の技量をもつ学生は英語及び中国語で履修可能)

経営学部

経営学部は以下の大学と協定を結び、協定留学を実施しています。
交換留学の場合、留学先機関の授業料は原則として免除されます。
授業料負担型の留学を希望する場合の授業料は経営学部事務室に確認してください。

1 交換型

国・地域名	大学名	出願言語	募集 人数	応募要件							
				GPA	語学要件			留学生	学部 1年生	大学 院生	備考
英語（いずれかを満たすこと）	現地語	スコア証明書									
アメリカ USA	ノースカロライナ大学シャーロット校 ベルクカレッジ・オブ・ビジネス UNIVERSITY OF NORTH CAROLINA AT CHARLOTTE, Belk College of Business	English	2～4	2.3	TOEFL iBT 70以上 (各セクション14以上、MyBest scores可、Home Edition可、 TOEFL Essentials可) IELTS 6.0以上 (各セクション5.0以上) TOEIC 780以上	—	○	○	○	—	
イギリス UK	カーディフ大学 カーディフビジネススクール CARDIFF UNIVERSITY, Cardiff Business School	English	2～4	2.3	TOEFL iBT 78以上 (MyBest scores可) IELTS 6.0以上 (各セクション5.5以上)	—	○	○	○	—	
オランダ Netherlands	ロッテルダム応用科学大学 ロッテルダムビジネススクール ROTTERDAM UNIVERSITY OF APPLIED SCIENCES, Rotterdam Business School	English	2～4	2.3	TOEFL iBT 79程度 (MyBest scores可、Home Edition可、TOEFL Essentials可) IELTS 6.0程度 TOEIC 785程度	—	○	○	—	—	
カナダ Canada	ヴィクトリア大学 グスタフソン・ビジネス学部 UNIVERSITY OF VICTORIA, Gustavson School of Business	English	2～4	2.3	① TOEFL iBT 90以上 TOEFL ITP 575以上 TOEIC 800以上 IELTS 6.5 (各セクション6.0以上) ② TOEFL iBT 80-89 TOEFL ITP 550-574 TOEIC 750-799 ③ TOEFL iBT 79 TOEFL ITP 540-549 TOEIC 735-749	—	○	○	○	注1 注2	
韓国 Korea	ソウル国立大学 経営学部 SEOUL NATIONAL UNIVERSITY, College of Business Administration	English	1～2	2.5	TOEFL iBT 88程度 IELTS 6.0程度 TOEIC 800程度	—	○	○	○	—	
スペイン Spain	IE 大学 IE UNIVERSITY	English	2～4	2.3	TOEFL iBT 100以上 (Home Edition可) IELTS 7.0程度	—	○	—	—	—	
タイ Thailand	シーナカリンウィロート大学 経済学部 SRINAKHARINWIROT UNIVERSITY, Faculty of Economics	English	1～2	2.3	TOEFL iBT 64程度 IELTS 5.0程度 TOEIC 730程度	—	○	○	○	—	

国・地域名	大学名	出願言語	募集 人数	応募要件							
				GPA	語学要件			留学生	学部 1年生	大学 院生	備考
英語（いずれかを満たすこと）	現地語	スコア証明書									
タイ Thailand	シーナカリンウィロート大学 サステイナビリティ研究国際学部 SRINAKHARINWIROT UNIVERSITY, International College for Sustainability Studies	English	1～2	2.3	TOEFL iBT 57程度 (MyBest Scores可、Home Edition可、TOEFL Essentials可) IELTS 5.0程度 TOEIC 680程度	—	○	○	○	○	—
中国 China	対外経済貿易大学 国際商学院 UNIVERSITY OF INTERNATIONAL BUSINESS AND ECONOMICS, Business School	English	2～4	3.0 程度	TOEFL iBT 80以上 (MyBest scores可、Home Edition可) IELTS 6.0以上 TOEIC 785以上	—	○	○	○	○	—
ドイツ Germany	オスナブリュック応用科学大学 経営管理・社会科学部 HOCHSCHULE OSNABRÜCK, UNIVERSITY OF APPLIED SCIENCES Faculty of Business Management and Social Sciences	English	2～4	2.3	TOEFL iBT 80以上 (Home Edition可) IELTS 5.5以上 TOEIC 750以上	—	○	○	○	—	—
フィンランド Finland	東フィンランド大学 社会科学・ビジネス学部 UNIVERSITY OF EASTERN FINLAND, Faculty of Social Science and Business Studies	English	6～12	2.3	TOEFL iBT 72程度 (MyBest Scores可、Home Edition可、TOEFL Essentials可) IELTS 5.5程度 TOEIC 785程度	—	○	○	—	—	—
フランス France	エクセリア EXCELIA	English	5	2.3	TOEFL iBT 72程度 (MyBest Scores可、Home Edition可、TOEFL Essentials可) IELTS 5.5程度 TOEIC 785程度	—	○	○	○	—	—
	IPAG ビジネススクール IPAG BUSINESS SCHOOL	English	2～4	2.3	TOEFL iBT 72程度 (MyBest Scores可、Home Edition可、TOEFL Essentials可) IELTS 5.5程度 TOEIC 785程度	—	○	○	○	○	—
	NEOMA 経営大学院（学部コース） NEOMA Business School (Bachelor Courses)	English	3～6	2.3	TOEFL iBT 85程度 (MyBest Scores可、Home Edition可、TOEFL Essentials可) IELTS 6.0程度 TOEIC 785程度	—	○	○	○	○	—
香港 Hong Kong	香港城市大学 商学院 CITY UNIVERSITY OF HONG KONG, College of Business	English	2～4	2.3	TOEFL iBT 79以上 IELTS 6.5以上 TOEIC 730以上	—	○	○	○	—	—

2 授業料負担型

国・地域名	大学名	出願言語	募集 人数	応募要件							
				GPA	語学要件			留学生	学部 1年生	大学院 院生	備考
					英語（いずれかを満たすこと）	現地語	スコア証明書				
カナダ Canada	ヴィクトリア大学グスタフソン・ビジネス学部 【デュアルディグリー・プログラム】 UNIVERSITY OF VICTORIA, Gustavson School of Business	English	10	—	① TOEFL iBT 90以上 (各セッション20以上、Home Edition可) ② IELTS 6.5以上 (各セッション6.0以上、Indicator可)	—	○	○	—	—	注3
	ヴィクトリア大学グスタフソン・ビジネス学部 UNIVERSITY OF VICTORIA, Gustavson School of Business	English	2～5	2.3	交換型と同じ	—	○	○	○	○	注1 注2 注4

注1 英語能力 ① UVic における履修科目に制限なし ② UVic での履修科目の制限あり ⇒ 「指定の7科目の中から4科目を選択」または「ISIBMへの参加+履修科目の制限なし」

③ ISIBM への参加必須+履修科目の制限あり (指定の7科目の中から4科目を選択) (※ ISIBM への参加に係る費用は、全て自己負担。)

注2 大学院生の出願は、MBA コースではなくビジネス学部への出願が望ましい。事前に大学院事務局 (経営学研究科) で詳細を確認すること。

注3 「デュアルディグリー・プログラム履修の手引き」 含め、HP (https://www.meiji.ac.jp/keiei/features/uvicdd/copy_of_index.html) を確認し、不明点があれば経営学部事務局に問い合わせること。語学要件を満たしてなくても、一定の要件を満たすことで学内応募が可能。詳しくは募集要項を確認すること。

注4 募集を行わない場合があるので、詳しくは経営学部事務局に問い合わせること。

情報コミュニケーション学部

情報コミュニケーション学部は以下の大学と協定を結び、協定留学を実施しています。
留学先機関の授業料は原則として免除されます。

国・地域名	大学名	出願言語	募集 人数	応募要件							
				GPA	語学要件			留学生	学部 1年生	大学 院生	備考
					英語（いずれかを満たすこと）	現地語	スコア証明書				
タイ Thailand	シーナカリンウィロート大学 人文学部 SRINAKHARINWIROT UNIVERSITY, Faculty of Humanities	English or Thai	3	2.0	TOEFL iBT 52以上 TOEFL ITP (PBT) 470以上 TOEIC 500以上	—	○	○	○	—	注1 注2 注3 注4
ドイツ Germany	ゲーテ大学 言語学・文化学・芸術学部 GOETHE UNIVERSITY Frankfurt am Main, The Faculty of Linguistics, Cultures, and Arts	English or German	2	2.5	TOEFL iBT 61以上 IELTS 6.0以上	TestDaf B1相当以上	○	○	○	○	注1 注3 注4
ベトナム Vietnam	ハノイ貿易大学 FOREIGN TRADE UNIVERSITY	English	2	2.3	TOEFL iBT 65以上 IELTS 5.5以上	—	○	○	○	—	注1 注3
	ベトナム国家大学ハノイ外国語大学 日本語文化学部 UNIVERSITY OF LANGUAGES AND INTERNATIONAL STUDIES-VIETNAM NATIONAL UNIVERSITY, HANOI, Faculty of Japanese Linguistics and Culture	English	2	2.3	TOEFL iBT 58以上 TOEIC 565以上	—	○	○	○	—	注1 注3
香港 Hong Kong	香港城市大学 人文社会科学院 CITY UNIVERSITY OF HONG KONG, College of Liberal Arts and Social Sciences	English	2～3	2.0	TOEFL iBT 79以上 IELTS 6.5以上 TOEFL ITP (PBT) 550以上 TOEIC 700以上	—	○	○	—	—	注1 注2 注3

注1 出願時には必ず情報コミュニケーション学部事務局または大学院事務局に確認すること。

注2 GPA 要件は、記載の数字以上であることが望ましい。

注3 留学生が応募する場合は、別途学歴書の提出が必要。

注4 出願言語の語学能力試験の成績が提出できること。記載のスコアを満たしていることが望ましい。

国際日本学部

国際日本学部は以下の大学と協定を結び、協定留学を実施しています。

なお、国際日本学部では学部間協定留学を「アカデミック留学・インターンシッププログラム」と呼称しています。

1 交換型

国・地域名	大学名	出願言語	募集人数	応募要件							
				GPA	語学要件			留学生	学部1年生	大学院生	備考
					英語（いずれかを満たすこと）	現地語	スコア証明書				
シンガポール Singapore	シンガポール国立大学 人文・社会科学部 NATIONAL UNIVERSITY OF SINGAPORE, Faculty of Arts and Social Sciences	English	2	2.0 以上	TOEFL iBT 82 以上 (My Best Score, Home Edition 可) IELTS 6.5 以上 Writing (6.0 以上)	—	○	○	○	—	注1
アメリカ USA	フロリダ州立大学 社会科学・公共政策学部、 アート・サイエンス学部 FLORIDA STATE UNIVERSITY, College of Social Science and Public Policy, College of Arts and Sciences	English	2	2.8 以上	TOEFL iBT 80 以上 (My Best Score, Home Edition 可) IELTS 6.5 以上	—	○	○	○	—	注1

2 授業料負担型

国・地域名	大学名	出願言語	募集人数	応募要件							
				GPA	語学要件			留学生	学部1年生	大学院生	備考
					英語（いずれかを満たすこと）	現地語	スコア証明書				
アメリカ USA	エドモンズカレッジ EDMONDS COLLEGE	English	10	—	TOEFL iBT 54 以上 (My Best Score, Home Edition 可) Writing (16 以上) IELTS 5.0 以上 (各セクション 4.5 以上)	—	○	○	○	—	注2
	エベレットコミュニティカレッジ* EVERETT COMMUNITY COLLEGE	English	10	2.0 以上	【正規課程】 TOEFL iBT 61 以上 (My Best Score 可) IELTS 5.5 以上 [English Preparation Program] TOEFL iBT 53 以上	—	○	○	○	—	—
	オローニカレッジ OHLONE COLLEGE	English	10	—	TOEFL iBT 57 以上 (My Best Score 可) IELTS 5.5 以上	—	○	○	○	—	—
	グリーンリバーカレッジ* GREEN RIVER COLLEGE	English	10	2.5 以上	【正規課程】 TOEFL iBT 61 以上 IELTS 5.5 以上 (各セクション 5.0 以上) [Intensive English Program] TOEFL iBT 55 IELTS 5.5 (各セクション 4.0 以上)	—	○	○ (米国籍 不可)	○	—	—
	ショアラインコミュニティカレッジ* SHORELINE COMMUNITY COLLEGE	English	10	—	【正規課程】 TOEFL iBT 61 以上 (My Best Score, Home Edition 可, Writing 20 以上) IELTS 5.5 以上 (Writing 6.0 以上) [ESL Program] TOEFL iBT 51 (Writing: 14) IELTS 5.0 (Writing: 5.0)	—	○	○	○	—	—
	ニューヨーク州立大学 ニューバルツ校 STATE UNIVERSITY OF NEW YORK AT NEW PALTZ	English	5	2.5 以上	TOEFL iBT 68 以上 (My Best Score, Home Edition 可) IELTS 6.5 以上	—	○	○	○	—	注3
	ハワイ大学 カピオラニコミュニティカレッジ* UNIVERSITY OF HAWAII KAPI'OLANI COMMUNITY COLLEGE	English	10	—	【正規課程】 TOEFL iBT 61 以上 (My Best Score, Home Edition 可) IELTS 6.0 以上 [ESOL Program] TOEFL iBT 51 以上 IELTS 4.5 以上	—	○	○	○	—	—
	ピアスカレッジ* PIERCE COLLEGE	English	10	—	【正規課程】 TOEFL iBT 61 以上 (My Best Score, Home Edition 可) IELTS 5.5 以上 (各セクション 5.0 以上) [Intensive English Program] TOEFL iBT 51 以上	—	○	○	○	—	—
	ビュートカレッジ BUTTE COLLEGE	English	10	—	TOEFL iBT 51 以上 (My Best Score, Home Edition 可) IELTS 5.0 以上	—	○	○	○	—	—
	フットヒルカレッジ FOOTHILL COLLEGE	English	10	—	TOEFL iBT 61 以上 (My Best Score, Home Edition 可) IELTS 5.5 以上	—	○	○	○	—	—
	コントラコスタカレッジ CONTRA COSTA COLLEGE	English	10	—	TOEFL iBT 61 以上 (Home Edition 可) IELTS 5.5 以上 (各セクション 4.5 以上)	—	○	○	○	—	注4
	ディアブロバレーカレッジ DIABLO VALLEY COLLEGE	English									
	ロスメダノスカレッジ LOS MEDANOS COLLEGE	English									

国・地域名	大学名	出願言語	募集人数	応募要件							
				GPA	語学要件			留学生	学部1年生	大学院生	備考
					英語 (いずれかを満たすこと)	現地語	スコア証明書				
イギリス UK	オックスフォード大学 ハートフォードカレッジ UNIVERSITY OF OXFORD HERTFORD COLLEGE	English	6	—	TOEFL iBT 61 以上 IELTS 6.0 以上	—	○	○	○	—	注5
スウェーデン Sweden	セーデルトーン大学 SÖDERTÖRN UNIVERSITY	English	5	—	TOEFL iBT 72 以上 (My Best Score, Home Edition可) IELTS 5.5 以上	—	○	○	○	—	注6

3 アカデミック・インターンシッププログラム (授業料負担型)

国・地域名	大学名	出願言語	募集人数	応募要件							
				GPA	語学要件			留学生	学部1年生	大学院生	備考
					英語 (いずれかを満たすこと)	現地語	スコア証明書				
アメリカ USA	フロリダ州立大学 ディズニー・アカデミック・インターンシップ プログラム FLORIDA STATE UNIVERSITY Disney International Program (Academic Exchange Program)	English	国日生 65名 他学部生 15名程度	2.0	TOEFL iBT 61 以上 (My Best Score, Home Edition可) IELTS 5.5 以上	—	○	○	○	—	注7

* ESL, ESOL, English Preparation Program, Intensive English Program は英語プログラム。英語プログラムの履修が必要となる場合は事前に相談すること。
英語プログラムからスタートする場合には、2学期目に正規課程に上がることが条件となる。

注1 協定留学【交換型】のため、留学先の授業料は免除される。

注2 TOEFL iBT 72 (Writing:21) / IELTS 6.0 (Each section:5.5) 未満の場合、一部語学クラスを履修をしながら、正規課程科目を履修する。

注3 TOEFL iBT 80未満の場合、現地でプレイスメントテストの受験し、結果により ESL 科目の履修が義務付けられる場合もある。

注4 募集人数は、コントラコスタカレッジ、ディアブローバレーカレッジ、ロスメダノスカレッジ、3校合わせて10名。

注5 この留学プログラムは正規課程への留学とは異なり、他大学を含む外国人留学生向けに開講される語学を中心とした授業を履修する特別プログラム。

注6 多くの講義はスウェーデン語で実施されていますが、本プログラム参加者は英語で行われている講義を履修することになります。そのため、留学参加にあたり、スウェーデン語は必須ではありません。

注7 2025年度秋出発は、一部の学部（法・商・文・理工・農・経営・情報コミュニケーション・総合数理学部）の正規生も応募が可能。他学部生の参加可否については所属学部事務室に確認すること。

研究科間協定留学

法学研究科

法学研究科は以下の大学と協定を結び、協定留学を実施しています。
留学先機関の授業料は原則として免除されます。

国・地域名	大学名	出願言語	募集 人数	応募要件					
				GPA	語学要件			留学生	備考
					英語（いずれかを満たすこと）	現地語	スコア証明書		
台湾 Taiwan	国立台湾大学法律学院 NATIONAL TAIWAN UNIVERSITY, COLLEGE OF LAW	Chinese	2	留学希望者は大学院事務室に問い合わせること。					注1
中国 China	南京師範大学法学院 THE LAW SCHOOL OF NANJING NORMAL UNIVERSITY	Chinese	3	留学希望者は大学院事務室に問い合わせること。					注2

注1 一部、英語による科目もあり。

注2 募集人数は本学法学部・法務研究科からの参加人数を含む。

政治経済学研究科

政治経済学研究科は以下の大学と協定を結び、協定留学を実施しています。
留学先機関の授業料は原則として免除されます。

国・地域名	大学名	出願言語	募集人数	応募要件					
				GPA	語学要件			留学生	備考
					英語（いずれかを満たすこと）	現地語	スコア証明書		
アメリカ USA	デューク大学アジア太平洋研究所 DUKE UNIVERSITY, Asian/Pacific Studies Institute	English	1~2	—	TOEFL iBT 100以上 IELTS（アカデミック・モジュール） Overall Band 7.0以上 Duolingo English Test 120以上	—	○	○	注1 注2

注1 語学要件は、応募書類提出時に、上記の点数に達していない場合でも応募可能。

注2 出願時には必ず大学院事務室に確認すること。

経営学研究科

経営学研究科は以下の大学と協定を結び、協定留学を実施しています。
留学先機関の授業料が発生する協定校と免除される協定校があります。

国・地域名	大学名	出願言語	募集人数	応募要件					留学生	備考
				GPA	語学要件					
					英語（いずれかを満たすこと）	現地語	スコア証明書			
イギリス UK	カーディフ大学 カーディフビジネススクール CARDIFF UNIVERSITY, CARDIFF BUSINESS SCHOOL	English	若干名	—	TOEFL iBT 90以上 IELTS 6.5以上 (各セクション5.5以上)	—	○	○	注2	
韓国 Korea	ウソン大学 ソルブリッジ国際経営大学院 WOOSONG UNIVERSITY Solbridge International Graduate School of Business	English	1～2	—	英語能力を有する者	—	○	○		
中国 China	中央财经大学商学院 CENTRAL UNIVERSITY OF FINANCE AND ECONOMICS, Graduate School of Business	English or Chinese	2	—	IELTS 6.5以上 TOEFL iBT 90以上 TOEIC 750以上	—	○	○		
ドイツ Germany	オスナブリュック応用科学大学 経営管理・社会科学部 OSNABRÜCK UNIVERSITY OF APPLIED SCIENCES, The Faculty of Business Management and Social Sciences	English	2	—	IELTS 6.5以上 TOEFL iBT 88以上 TOEIC 800以上	—	○	○		
マレーシア Malaysia	マレーシア工科大学 ファカルティ・オブ・アーティフィシャル・インテリジェンス 【ダブルディグリー】 UNIVERSITI TEKNOLOGI MALAYSIA, Faculty of Artificial Intelligence	English	5名程度	—	英語能力を有する者	—	○	○	注1 注3	
フランス France	オーデンシア・ビジネススクール AUDENCIA BUSINESS SCHOOL	English	5	—	TOEIC 750以上	—	○	○		
	国立レンヌ大学経営学院 UNIVERSITÉ DE RENNES, IGR-IAE de Rennes	English	5	—	TOEIC 785以上	—	○	○	注2	
	トゥールーズ第一キャピトル大学 経営管理大学院 UNIVERSITÉ TOULOUSE 1 CAPITOLE, TSM Toulouse School of Management	English	5	—	TOEIC 785以上	—	○	○		

注1 大学院学生その他、大学院進学が確定している学部4年生も出願可。

注2 研究者としての留学も可。

注3 ダブルディグリー・プログラムのため、学位取得が義務付けられる。本学でマレーシア工科大学の授業が集中講義形式で行われるので、それに出席できること。
(集中講義は、9月から12月の間で2~3科目、1科目につき連続した土日×2週で実施。)

履修科目対応表を参考に、本学とマレーシア工科大学の修了単位数を満たすように履修する必要がある。パンフレット・履修科目対応表は、大学院事務室で配布。



留学の情報を収集するために役立つ語学能力試験、学外奨学金等のリンク集です。

1. 語学能力試験・適性試験

1 CEFRについて

ヨーロッパ共通言語参照枠 (CEFR: Common European Framework of Reference for Languages) は、言語の枠や国境を越えて、外国語の運用能力を同一の基準で測ることができる国際基準です。CEFRの等級は、A1、A2、B1、B2、C1、C2の6段階に分かれており、その言語を使って「具体的に何ができるか」を分かりやすく示します。

段階	CEFR	能力レベル別に「何ができるか」を示した熟達度一覧
熟達した言語使用者	C2	聞いたり読んだりした、ほぼ全てのものを容易に理解することができる。いろいろな話し言葉や書き言葉から得た情報をまとめ、根拠も論点も一貫した方法で再構築できる。自然に、流暢かつ正確に自己表現ができる。
	C1	いろいろな種類の高度な内容のかなり長い文章を理解して、含意を把握できる。言葉を探しているという印象を与えずに、流暢に、また自然に自己表現ができる。社会生活を営むため、また学問上や職業上の目的で、言葉を柔軟かつ効果的に用いることができる。複雑な話題について明確で、しっかりとした構成の詳細な文章を作ることができる。
自立した言語使用者	B2	自分の専門分野の技術的な議論も含めて、抽象的な話題でも具体的な話題でも、複雑な文章の主要な内容を理解できる。母語話者とはお互いに緊張しないで普通にやり取りができるくらい流暢かつ自然である。幅広い話題について、明確で詳細な文章を作ることができる。
	B1	仕事、学校、娯楽などで普段出会うような身近な話題について、標準的な話し方であれば、主要な点を理解できる。その言葉が話されている地域にいるときに起こりそうな、たいていの事態に対処することができる。身近な話題や個人的に関心のある話題について、筋の通った簡単な文章を作ることができる。
基礎段階の言語使用者	A2	ごく基本的な個人情報や家族情報、買い物、地元の地理、仕事など、直接的関係がある領域に関しては、文やよく使われる表現が理解できる。簡単で日常的な範囲なら、身近で日常の事柄について、単純で直接的な情報交換に応じることができる。
	A1	具体的な欲求を満足させるための、よく使われる日常的表現と基本的な言い回しは理解し、用いることができる。自分や他人を紹介することができ、住んでいるところや、誰と知り合いであるか、持ち物などの個人的情報について、質問をしたり、答えたりすることができる。もし、相手がゆっくり、はっきりと話して、助けが得られるならば、簡単なやり取りをすることができる。

(出典：ブリティッシュ・カウンシル「CEFR (ヨーロッパ言語共通参照枠)」)

<https://www.britishcouncil.jp/programmes/english-education/updates/4skills/about/cefr>

2 外国語の語学能力試験

英語

TOEFL

概要

TOEFL (Test of English as a Foreign Language) は、「英語を母国語としない人の英語力」を判定するテストで、米国の非営利テスト開発機関 ETS (Educational Testing Service) が運営している。日本では、公式テストとして TOEFL iBT (Internet Based Testing) が受験可能で、テストセンターで受験するテストのほか、自宅で受験する Home Edition が実施されている。Home Edition のスコアが海外の大学・大学院への出願に必要なスコアとして認められるかどうかは、各教育機関により異なるため、事前に確認すること。スコア有効期間内に受験した TOEFL iBT 各セクションの最も高いスコアを組み合わせた「My Scores」が利用できる大学もある。TOEFL iBT は、Reading、Listening、Speaking、Writing の 4 セクションで構成されており、総合スコア (0～120) に加えセクションごとのスコア (0～30) で評価される。スコアは受験日から 2 年間有効。また、公式スコアとしては認められていないが、団体用テストプログラムとして TOEFL ITP (Institutional Testing Program) も実施されており、学内プログラムの選考や効果測定等に利用されている。TOEFL ITP は、マークシート回答方式の試験で、Level 1 と 2 があり、Listening、Structure and Written Expression、Reading の 3 セクションで構成されている。実施団体に所属の学生のみ受験可能。スコアは受験日から 2 年間有効。

参考サイト

■ TOEFL iBT テスト日程 https://www.toefl-ibt.jp/test_takers/toefl_ibt/centers_dates.html

■ ETS <https://www.ets.org/toefl>

IELTS

概要

IELTS (International English Language Testing Service) は、ブリティッシュ・カウンシル、IDP Education、ケンブリッジ大学英語検定機構が共同運営している英語力を測るためのテストで、アカデミック・モジュール、ジェネラル・モジュール、IELTS for UKVI (英国ビザ申請用 IELTS) の 3 種類がある。一般的に、英語圏の大学や大学院等の高等教育機関での留学を目指す場合は、アカデミック・モジュール (コンピューター版またはペーパー版) を受験する必要があるが、留学先から指定された場合には、IELTS for UKVI の受験を求められることがある。日本国内では、一般財団法人日本スタディ・アプロード・ファンデーション (JSAF)、公益財団法人日本英語検定協会 (英検)、UK PLUS の 3 団体が公式テストセンターを運営している。試験は、Listening、Reading、Writing、Speaking の 4 セクションで構成されており、各セクションのスコアと合計点がそれぞれ 1.0 ~ 9.0 のバンドスコアで評価される。スコアは受験日から 2 年間有効。IELTS One Skill Retake のスコアを含む証明書は利用不可。

参考サイト

- IELTS Official Test Centre (JSAF) <https://www.jsaf-ieltsjapan.com/>
- IELTS Official Test Centre (英検) <https://www.eiken.or.jp/ielts/>
- IELTS Official Test Centre (UK PLUS) <https://berkeleyhouse.co.jp/ieltestestcentre/>
- IELTS <https://www.ielts.org/>

TOEIC

概要

TOEIC (Test of English for International Communication) は、TOEFL 同様、米国の非営利テスト開発機関 ETS (Educational Testing Service) により開発された英語能力試験だが、その性質は TOEFL と大きく異なる。TOEFL が、英語圏の留学先で学業を修めるのに必要な英語力があるかどうかを測るのに対し、TOEIC は、日常生活やグローバルビジネスの場でどれだけ英語でコミュニケーションできるかを測る。TOEIC テストは、TOEIC Listening & Reading (L&R)、TOEIC Speaking & Writing (S&W)、TOEIC Speaking 及び初中級者向けの TOEIC Bridge Listening & Reading、TOEIC Bridge Speaking & Writing の 5 種類がある。

参考サイト

- TOEIC 公式ホームページ (IIBC) <https://www.iibc-global.org/toEIC.html>
- ETS <https://www.ets.org/toEIC/>

フランス語

DELFDALF

概要

フランス国民教育省が認定した唯一の公式フランス語資格 (ディプロム) で、一度取得すれば無期限有効。DELFDALF (A1・A2・B1・B2)、DALF (C1・C2) の 6 レベルがあり、DELFDALF B2 または DALF の取得者は、フランスの大学に登録するための語学試験が免除される。

参考サイト

- 日本フランス語試験管理センター <http://www.delfdalf.jp/>
- CAMPUS FRANCE (フランス語資格試験 DELFDALF) <https://www.japon.campusfrance.org/ja/le-delfdalf>
- 在日フランス大使館 <https://jp.ambafrance.org/-rubrique1138>

TCF

概要

TCF (Test de Connaissance du Français) は、フランス国民教育省が認定した総合的なフランス語学力レベルを測るテスト。点数に応じて 6 段階のレベルで判定される。証書は 2 年間有効。

参考サイト

- 日本フランス語試験管理センター https://www.delfdalf.jp/tcf_jp.php
- CAMPUS FRANCE <https://www.japon.campusfrance.org/ja/le-tcf>
- 在日フランス大使館 <https://jp.ambafrance.org/-rubrique1138>

ドイツ語

Test DaF

概要

熟練したドイツ語使用者向けの検定試験で、欧州言語共通参照枠 (CEFR、ドイツ語では GER) の B2 から C1 レベルに相当し、ドイツ国内全ての高等教育機関で入学に必要な語学能力証明として認められている。検定結果は TDN3、TDN4、TDN5 の 3 レベルに分けられる。

参考サイト

- ゲーテ・インスティテュートジャパン <https://www.goethe.de/ins/jp/ja/sta/tok/prf/testdaf.html>
- TestDaF-Institut (ドイツ語サイト) <https://www.testdaf.de/>

ゲーテドイツ語検定

概要

GER に基づく共通評価レベルで A1 に相当する Zerti fikat A1: Start Deutsch 1 から C2 に相当する Zertifikat C2: GDS まで、6 段階のレベルに分けられている。

参考サイト

■ ゲーテ・インスティテュートジャパン <https://www.goethe.de/ins/jp/ja/sta/tok/prf.html>

DSH

概要

ドイツの大学に留学するためのドイツ語検定試験で、留学を希望するそれぞれの大学が実施する。一般的に学期が始まる 3 ～ 4 週間前に実施されるが、日程、料金、例題等については留学希望先機関に直接問い合わせる必要がある。

参考サイト

各留学希望先機関のホームページにて確認

中国語

HSK (漢語水平考試)

概要

中国政府が公認する中国語検定試験。初級レベルの 1 級から上級レベルの 6 級まで級分けされている。中国語圏の大学において正規課程の授業を履修するためには、HSK5 級以上の中国語レベルを求められることが多い。

参考サイト

■ HSK 日本実施委員会 <http://www.hskj.jp/index.html>
■ 中文考試服務網 <http://www.chinesetest.cn/>

イタリア語

CILS

概要

シエナ外国人大学が実施するイタリア政府認定のイタリア語検定試験。A1 から C2 まで 6 段階のレベルに分かれている。イタリア文化会館を通じて受験可能。

参考サイト

■ イタリア文化会館 <https://iictokyo.esteri.it/ja/>

PLIDA

概要

PLIDA (Progetto Lingua Italiana Dante Alighieri) は、ダンテ・アリギエーリ協会が実施するイタリア政府認定のイタリア語検定試験。A1 から C2 まで 6 段階のレベルに分かれている。

参考サイト

■ ダンテ・アリギエーリ協会 東京支部 <http://www.il-centro.net/wpd/> イタリア語検定 plida/

スペイン語

DELE

概要

スペイン政府認定のスペイン語検定試験。A1 (入門)、A2 (初級)、B1 (中級)、B2 (中上級)、C1 (上級)、C2 (最上級) の 6 段階のレベルに分かれている。

参考サイト

■ インスティテュート・セルバンテス東京 https://tokio.cervantes.es/jp/dele_diplomas/information_diplomas_spanish.htm

ロシア語

TPKI - テ・エル・カ・イ

概要

外国語としてロシア語を学ぶ人のための、ロシア連邦教育科学省が認定する国家試験。入門レベル、基礎レベル、第 1 レベル、第 2 レベル、第 3 レベル、第 4 レベルの 6 段階に分かれている。

参考サイト

■ 日本対外文化協会 <http://www.taibunkyo.jp>

韓国語

韓国語能力試験 (TOPIK)

概要

大韓民国政府が認定・実施する唯一の韓国語試験。TOPIK I (1～2級)、TOPIK II (3～6級) がある。

参考サイト

■ 公益財団法人 韓国教育財団 <https://www.kref.or.jp/examination>

その他適性試験

GRE

概要

GRE (Graduate Record Examination) は主に北米の大学院進学希望者を対象としたテスト。一般的な適性を測る General Test (Verbal Reasoning、Quantitative Reasoning、Analytical Writing) と専門分野 (理系、英文学) の基礎学力を測る Subject Test の2種類がある。

参考サイト

■ ETS <http://www.ets.org/gre/>

GMAT

概要

GMAT (Graduate Management Admission Test) は経営大学院 (Business School) の入学に際して要求される。AWA (Analytical Writing Assessment)、Integrated Reasoning、Quantitative、Verbal の4セクションで構成される。

参考サイト

■ GMAT 公式サイト <http://www.mba.com/exams/gmat>

LSAT

概要

LSAT (Law School Admission Test) は、ロースクール進学希望者を対象としたテスト。読解力、分析力、文章力を測る。

参考サイト

■ LSAT 公式サイト <https://www.lsac.org/lSAT/>

2. 学外奨学金情報 (海外留学)

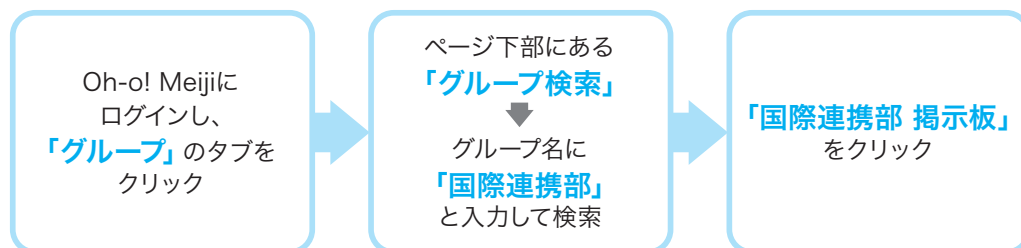
■ Oh-o! Meiji グループ「国際連携部 掲示板」

国際連携事務室に届いた学外奨学金情報は、Oh-o! Meiji グループ「国際連携部 掲示板」に掲載しています。奨学金の詳細や応募条件については、各団体に直接お問い合わせください。

◆ Oh-o! Meiji グループアクセス方法

Oh-o! Meiji グループには次の手順でアクセスしてください。

アクセス方法



マイリンク登録

このOh-o! Meijiグループは自動的に表示されません。

海外留学に興味のある方は、Oh-o! Meiji 画面右上の「個人設定」→「マイリンク登録」で、国際連携部掲示板のURLを登録しておくとう便利です。

■ガクシー

株式会社ガクシーが運営する奨学金情報サイト。

株式会社ガクシーサイト  <https://gaxi.co.jp>



※学内奨学金については **P.31** 参照

3. 各国情報・留学関連情報

留学先の情報収集にあたっては、公的機関など正確な情報源から情報を得るようにしましょう。

■海外地域情報

外務省のサイトにて各国・地域の情報を確認することができます。また、海外安全ホームページでは、各国・地域の安全情報を調べることができます。留学前に必ず確認しましょう。

外務省ホームページ
「国・地域」  <https://www.mofa.go.jp/mofaj/area/index.html>



外務省海外安全
ホームページ  <https://www.anzen.mofa.go.jp/riskmap/index.html>



■海外留学情報

公的機関である日本学生支援機構（JASSO）が運営する海外留学を考える方への情報サイト。海外留学のための奨学金情報などが掲載されています。

海外留学情報サイト  <https://ryugaku.jasso.go.jp>



また、外務省ホームページの「海外渡航・滞在」ページでは、世界各地の医療情報や各種届出等についての情報も掲載されています。渡航手続きの参考にしてください。

外務省ホームページ
「海外渡航・滞在」  <https://www.mofa.go.jp/mofaj/toko/index.html>





よくある質問とその回答

留学についてよくある質問と回答をまとめました。疑問に感じるがあれば、まずはこのページを読んでみましょう。

1. 留学一般について

2. 協定留学
(大学間) について

3. 認定留学について

4. その他

1 留学一般について

Q1. 留学にはどのような種類がありますか？

A. 留学には1学期間から1学年間の中期・長期留学と、長期休暇期間を利用した約1カ月間の短期留学（短期海外研修等）があります。明治大学の制度を利用しない場合、個人で直接語学学校に申し込んだり、外部団体（留学エージェンツ等）が主催する留学プログラムに参加したりする方法が考えられます。日本学生支援機構の海外留学情報サイトや、書店で販売されている留学関連書籍を参考に情報を集め、様々なプログラムを比較検討しましょう。中期・長期の留学（1学期間以上）で協定留学・認定留学制度を利用せず、休学をして留学をすることも可能ですが、この場合、継続履修等の制度は適用されず、休学期間は明治大学の在籍年数に含まれないことに注意してください。

Q2. 留学を実現するためには何から始めればよいですか？

A. まずは留学目的をはっきりさせることが重要です。なぜ、留学したいのでしょうか。何のために留学をするのでしょうか。これらの問いに、自分なりに答えることができれば、具体的な留学計画を立てていきます（**P.01**「留学ロードマップ」チェックリスト参照）。留学の情報を得るためには、本冊子以外にも各国大使館ホームページ（各国政府の留学ページ）、協定留学者の留学報告書（**P.26**参照）、留学関連情報誌等を参考にしてください。

大学の正規課程に留学をする場合には、現地の学生と同等に授業への参加ができる語学能力が求められます。また、出願条件として明治大学での成績（GPA）が審査される場合もあります。語学力や成績の向上は一朝一夕に実現できるものではないので、留学を思い立ったら早めに準備を始めましょう。

留学形態が決定し、計画が具体化したら、協定留学希望者は校内選考に向けて準備を、認定留学、語学留学等その他の留学の場合は、各機関が指定する手続きの準備をしてください。

Q3. 語学留学はできますか？

A. 明治大学で実施している語学の勉強のみを目的とした「語学留学」は、原則、長期休暇期間（夏季・春季）を利用した短期プログラムのみとなります。

休暇期間を利用した留学プログラムについては、国際教育センターが主催する夏季海外研修・春季海外研修や学部・研究科で実施している留学プログラム等があります（**P.12**「短期留学」参照）。

上記以外で1学期間以上の語学留学をしたい場合は、休学して留学することが可能です。

Q4. 留学の情報はどこで入手できますか？

A. 明治大学ホームページ「海外留学を希望する方へ」や、Oh-o! Meiji グループ「国際連携部 掲示板」で、協定留学や留学説明会の情報を含む留学関連情報を公開していますので、利用してください。留学全般についての情報は、各国大使館ホームページや日本学生支援機構海外留学情報サイト等 **P.60**、インターネットを活用して情報収集してください。日本学生支援機構は、定期的に留学説明会を開催しています。また、国によっては、高等教育機関を集めた留学フェアを定期的に開催していますので、逐次情報を確認し、積極的に参加しましょう。

Q5. 留学の取り扱いは全て国際教育センターで行っていますか？

A. 国際教育センターでは、主に大学間協定留学プログラムと国際教育センター主催の短期海外研修を扱っています。学部間・研究科間協定留学、学部・研究科主催の短期プログラムについては、所属学部・研究科事務室が窓口となります。また、留学願の提出や単位認定及び認定留学の手続きは所属学部・研究科で行います。

Q6. 留学の相談がしたいのですが、どこへ行けばよいですか？

A. 国際連携事務室では、各キャンパスまたはオンラインで留学相談（カウンセリング）を実施しています。このほか、留学を経験した先輩学生が相談に応じる「学生留学アドバイザー」制度もあります。実施スケジュールや申込方法については、ホームページを確認してください。

Q7. 留学すると、就職活動はどうすればよいですか？

A. 志望する企業や留学のタイミング（学年・時期・期間）により動き方や準備が異なるため、留学を考えている場合は早急に就職キャリア支援センターに相談してください。
例えば、留学出発時期が3年次8月～9月で1学年間留学する場合（帰国期間は4年次5～7月）、現在の主な新卒採用スケジュールにおいては、企業の採用活動中心時期と重なります。企業によっては夏休み、秋から冬休みに実施するインターンシップの参加者に対しての早期選考が取り入れられていたり、オンライン化が進んだことにより留学中の学生も国内学生と同様の選考に対応できる（しなければならない）可能性もあります。従って、卒業時期を変えることなく留学・就職活動を行うケースもあれば、あえて卒業時期を変更して、留学後に就職活動を行う学生等、ケースバイケースになります。
いずれにしても就職活動は長い期間をかけて行われるものであり、留学前から将来について考える機会を持ち、早い段階から準備を進めておくことが大切です。

明治大学 就職キャリア支援センター  <https://www.meiji.ac.jp/shushoku/index.html>

Q8. 教職課程を履修していますが、留学できますか？

A. 留学自体は可能ですが、必要な科目の履修や教育実習のタイミングにより、4年間で教員免許状を取得することが不可能な場合もあります。留学先では、教員免許状取得のために必要な科目の履修はできませんので、教職課程を履修し、留学を考えている方は早めに資格課程事務室に相談してください。

2 協定留学（大学間）について

Q9. 協定校の情報はどこで入手できますか？

A. 留学できる協定校や学内選考の募集要項、過去の協定留学者の留学報告書等の情報は、明治大学ホームページ「国際連携・留学 > 海外留学を希望する方へ」で確認することができます。各協定校の最新情報は各協定校のホームページから入手してください。提供されている授業、留学に係る費用見積もり等様々な情報を得ることができます〈P.02 P.37 参照〉。

明治大学の海外留学プログラム <https://meijinow.jp/global>

Q10. 協定留学は応募すれば参加できますか？

A. 協定留学は学内選考に応募し、書類審査・面接審査を経て明治大学から推薦される必要があります。推薦枠は交換型で各大学2名程度、授業料負担型で各大学5～10名程度のため、全ての応募者が必ず参加できるとは限りません。

Q11. 大学院生でも協定留学に応募できますか？

A. 大学院生でも協定留学に応募することができます。ただし、協定校によっては、学部生のみを対象としている場合があるため、最新の募集要項・出願条件一覧で大学院生も応募可能か確認してください。大学院生は学部の成績（GPA）の提出が求められる場合や、学部生と異なる語学条件が課される場合があります。また、大学院生は必ず指導教員の許可を得た上で応募をしてください。

Q12. 協定留学の学内選考はどのようなものですか？

A. 原則として、書類審査と面接審査があります。書類審査では、志望校の条件を満たしているか、提出された留学先での学習計画書、成績通知表、語学能力証明書等の出願書類を審査します。志望校の条件を満たしていない場合は、審査対象外となりますので、十分に注意してください。面接にあたっては、志望動機、学習・研究計画、将来の計画等を簡潔明瞭に話すことができるように準備することはもちろんのこと、留学先の国や大学について入念に下調べをし、最大限の力を発揮できるようにしましょう。

学内募集の時期は以下の通りです。変更が生じる可能性がありますので、明治大学ホームページ「国際連携・留学 > 海外留学を希望する方へ」を確認するようにしてください。

学内募集時期（※変動の可能性あり）	留学先
5～6月頃	オーストラリア、韓国、一部の南米地域 ※ 2025 年度以降の募集では変更になる場合があります。
10～11月頃	アメリカ、カナダ、イギリス、フランス、ドイツ、中国、イタリア、スペイン、ロシア、その他の国・地域

Q13. 協定留学の学内選考基準を教えてください。

A. 協定校の定める出願条件を全て満たしていることを確認した上で、明治大学の学業成績（GPA）30%、書類審査35%、面接評価35%を要素として総合的に判断し、得点の高い学生から順に志望校への推薦が決定します。

（※2024年度実績）

Q14. 協定留学における学内選考の倍率はどのくらいですか？

A. 倍率は協定校及び募集年度によって異なります。志願者の留学希望先が重なることが多いため、全体の志願者数が少ない場合でも、協定校によっては倍率が高くなることもあります。特に、英語圏については、TOEFL iBT、IELTSなどの語学要件や成績要件（GPA）が比較的低めの協定校への志願が集中する傾向があるため、選択肢を広げるためにも日頃から学業に励むとともに、早くから語学能力試験の受験準備をし、学内応募に間に合うように高得点取得を目指しましょう。

〈P.69「大学間協定留学に関するデータ」参照〉

Q15. 協定留学をするためには、成績がよくないと不利ですか？

A. 明治大学における学業成績（GPA）は、皆さんの日頃の学習成果を知る重要な評価要素であり、学内選考の審査対象の一つです。GPAの応募要件は留学先により異なりますが、GPA2.0が大学間協定留学の最低要件となっています。協定留学を希望する方は、一生懸命勉学に励み、GPAの維持・向上に努めてください。また、協定留学では、学業成績のほかに、書類審査、面接評価等の総合力に基づき選考されます。なお、協定校の中にはGPA3.0以上等の学力の基準を設けている大学もあります。そのような場合には、協定校の条件に従いますので、条件を満たしていない場合、学内選考に応募することができません。

Q16. 複数の協定校に併願が可能ですか？

A. 応募時に、第8希望の協定校まで申請することができます。ただし、いずれかの協定校に必ず合格するとは限らず、選考の結果により全て不合格となる場合もあります。

Q17. 大学間協定留学はその他の留学プログラムと併願することは可能ですか？

A. 原則不可です。但し、応募した大学間協定留学の面接審査実施日前に、いずれのプログラムを選択するか決定できる場合*に限り、併願を認めます。併願する場合は、必ず事前に国際連携事務室及び他のプログラムの主催機関（学部・研究科、留学エージェント等）双方に相談し、了承を得てください。学内選考に合格し派遣候補生として決定した後の辞退は認めません。優先順位についてよく考えて応募するようにしてください。

*併願可能な例1：第一希望が大学間協定留学で、当該大学間協定留学プログラムに合格したら、併願する留学プログラムの応募を取り下げる場合

*併願可能な例2：第一希望がその他の留学プログラムで、当該プログラムの参加可否が大学間協定留学の面接審査実施日前に判明する場合

Q18. 協定留学の複数の言語のプログラムに応募することはできますか？

A. 複数の言語のプログラムに応募することも可能ですが、それぞれの出願言語で留学計画書を作成し、提出してください。

Q19. 日本国籍以外の学生も協定留学に応募できますか？

A. 明治大学では、正規課程に在籍する外国人留学生が、海外留学することを認めています。なお、国籍によっては、渡航先国のビザ取得の規程が異なったり、取得に時間がかかったりする場合があるので、あらかじめ各自で各国大使館等に確認をしてください。また、協定校によっては、受入学生の国籍の条件を設けている場合があるので、詳細は募集時期に公開される出願条件等一覧で確認してください。

Q20. 協定留学の学内選考に応募する際の語学能力基準はどのくらいですか？

A. 本冊子P.37からの協定留学対象校紹介に、前年度に実施された学内選考の応募基準が記載されていますので、参照してください。この基準は協定校の都合等により予告なく変更になる場合がありますので、必ず当該年度の学内募集時期に公開される募集要項・出願条件一覧を確認してください。

Q21. TOEFL iBTやIELTS等の語学能力試験高得点者が協定留学の学内選考で優先されるのですか？

A. 語学能力試験結果が協定校から求められている場合はその条件を満たしていることが前提となりますが、高得点者が優先されるということはありません。協定留学は、学業成績、書類審査、面接審査を総合して評価します。

Q22. 協定留学で語学能力試験等による語学条件が定められている場合、いつまでに準備すればよいですか？

A. 語学能力試験のスコア提出が求められている場合、学内選考のオンライン応募締切日までに準備する必要があります。協定校が定める語学条件を満たしていない場合は、学内選考に応募することはできないため、ご注意ください。

Q23. 語学能力試験のスコア証明書が学内募集期間内に提出できない場合はどうすればよいですか？

A. 大学間協定留学ではオンライン応募期間終了後に届いたスコアの使用はできません。期日に余裕を持って準備しましょう。

Q24. 英語以外の言語のプログラムで「明治大学教員による語学能力評価表」での出願が可能な協定校は、語学能力試験未受験でも学内選考は受けられますか？

A. 学内選考に応募できますが、可能な限り、学内選考に間に合うように語学能力試験を受験してください。語学能力試験を受験していることで応募する協定校の選択肢が広がるほか、自分が留学するために必要な語学力を有しているかを知るのに大変役立ちます。語学能力試験を受験する際は、国内の検定試験ではなく、可能な限り世界で広く利用されている語学能力試験を受験するようにしましょう。
〈P.56「語学能力試験・適性試験」参照〉

Q25. 明治大学の学内選考に合格すれば協定校への留学が確定しますか？

A. 学内選考後の通算GPAを確認した上で、受入可否の最終判断は協定校によって行われます。万が一が下回った場合には、協定校への手続き状況に関わらず、国際教育センターとして派遣不可と判断します。そのため、継続して勉学に励んでください。また、明治大学の所属学部・研究科から留学許可を得る必要もありますので、学内選考合格イコール留学確定ではありません。

Q26. 過去に同じ学部／研究科の先輩がどの協定校に留学したか知りたいです。

A. **P.26** 留学報告書 や **P.69** 「大学間協定留学に関するデータ」を参照してください。

Q27. 協定留学先では自分の専門以外の授業も受講できますか？

A. 留学先により異なります。学位取得を目的としない学生に対して、幅広い分野で履修を許可している場合もあれば、受講を制限している場合もあります。また、授業ごとに細かく履修条件が設定され、留学生であっても特別扱いはなく、それを満たしていない場合には履修を許可されないことがあります（このため、最新の英文成績証明書を持参することをお勧めします）。

どのような授業が履修できるかや、具体的な履修方法については、留学先大学のホームページ等で確認するようにしてください。また、専門以外の授業を受講した場合、帰国後に単位認定ができない可能性もあるので、事前に所属学部・研究科に相談してください。

3 認定留学について

Q28. 留学先はどのように選べばよいでしょうか？

A. 認定留学は、自分で留学先の高等教育機関等を選択するため、対象となる機関は世界中にあります。その中から自身に合う場所を見つけるためには、まず留学の目的や勉強したい分野をはっきりさせましょう。

次に、留学したい国・地域を定め、どのような機関があり、授業が展開されているかを調べましょう。機関選択の際には、条件（立地、治安、出願条件、学費、奨学金、留学生サポート等）を書いた一覧表を作り、比較検討してください。また、留学に関する情報収集には、日本にある各国大使館のホームページや、日本学生支援機構海外留学支援サイト等を活用するとよいでしょう（**P.60** 参照）。

留学先がある程度絞れてきたら、応募方法を確認し、出願書類を準備して出願します。機関により出願締切が異なりますので、注意してください。無事に入学許可を取得したら、所属学部・研究科で留学の手続きをしてください。

Q29. 認定留学として認められる条件が知りたいです。

A. 認定留学については **P.15** 「認定留学」を参照してください。

Q30. 認定留学にはどのように応募しますか？

A. 認定留学は、自分で留学先の高等教育機関を選択し、直接その機関に出願します。場合によっては、留学エージェントを通して出願することも可能です。ただし、留学エージェントを通して応募した留学プログラムでも、必ず認定留学として認められるとは限りませんので、ご注意ください。

Q31. 明治大学が勧めている認定留学先はありますか？ また、認定留学できる高等教育機関等の一覧はありますか？

A. いずれもありません。認定留学は、世界中の高等教育機関等が対象となり、皆さん自身の希望に基づいて留学先を選ぶものです。留学先を決定する上では情報収集が大変重要となりますので、各国大使館ホームページや日本学生支援機構が提供している留学情報等を参考にして、留学先を決定しましょう。

Q32. 認定留学をするための語学能力基準はどのくらいですか？

A. 認定留学の場合は、留学先の高等教育機関等が定めている語学能力基準に従ってください。

4 その他

Q33. 留学先で修得した単位は全て認定されるのですか？

A. 留学先で修得した単位は自動的に明治大学の単位として認められるわけではありません。実際にどの程度単位認定されるかは、各人によって異なりますので、単位認定を希望する方は、必ず事前に所属学部・研究科に相談してください。なお、過去に留学した学生の単位認定結果については、明治大学ホームページ「国際連携・留学 > 海外留学を希望する方へ」で公開している留学報告書 **P.26** に一部記載されています。ただし、単位認定方法については、各学部・研究科、また年度によっても異なることがあるため、過去の参加者と同じ認定結果になるとは限らないのでご注意ください。

Q34. 留学にはどれくらい費用がかかりますか？

A. 留学の経費は、留学の形態、期間、地域等によって異なります。協定留学は、留学先の授業料が免除になる場合（交換型）と、そうでない場合（授業料負担型）があります（いずれも明治大学の学費は通常通り納入）。
授業料のほか、主に生活費、宿舍費、交通費、雑費等が必要になります。国・地域の物価の差や個人差がありますが、留学先の授業料が免除される場合でも大体150万円～300万円（1年間）は必要と考えてよいでしょう。認定留学と協定留学（授業料負担型）は、明治大学と留学先両方の学費を納入するため、国・地域によっては500万円を超える場合があります（**P.25**参照）。また、渡航前の段階でも、語学能力試験の受験や海外旅行保険の加入等の費用が発生します。資金計画は余裕をもって立てましょう。

Q35. 留学のための奨学金はありますか？

A. 協定留学・認定留学制度を利用する人は、留学経費の助成金を申請できます（**P.31**参照）。短期留学プログラムに参加する学部生を対象とした助成金制度もあり、国際教育センター主催の短期留学プログラム参加者で要件を満たす方は、国際化サポート海外留学奨励金に申請できます。また、各学部・研究科において独自の助成金制度を設けている場合がありますので、所属する学部・研究科事務室に確認してください。その他、日本学生支援機構や外部団体による奨学金がありますが、応募条件等がそれぞれ異なるため、自分自身が条件を満たしているかを確認の上、応募してください。日本学生支援機構のホームページでも多くの留学のための奨学金情報を公開しています。奨学金受給のためには、成績や家計基準等も影響し、必ず受給できるとは限りませんので、十分に注意してください。

明治大学学生海外トップユニバーシティ留学奨励助成金  <https://www.meiji.ac.jp/cip/financial/topugrant.html>

明治大学外国留学奨励助成金  <https://www.meiji.ac.jp/cip/financial/jyosei.html>

国際化サポート海外留学奨励金  <https://www.meiji.ac.jp/cip/financial/kokusaikasupport.html>

外部団体の奨学金情報 (Oh-o! Meiji)  Oh-o! Meiji > グループ > 「国際連携部 掲示板」で検索

外部団体の奨学金情報 (ガクシー)  <https://gaxi.jp>

日本学生支援機構  <https://ryugaku.jasso.go.jp/scholarship/>



DATA

大学間協定留学に関するデータ

1. 大学間協定留学応募状況：応募者数・学内選考合格者数

[参考] 2024年度実施学内選考：大学間協定留学【交換型】 志願者数・合格者数（2025年度派遣予定者）

※ 志望者数は全て、一次募集での志望校を基準に集計しています（第一志望の応募者の多い順）。

※ 合格者数には二次募集（再募集）で合格した方も含まれているため、志望者数より合格者数が多い表記となっている場合があります。

※ 2024年度実施の学内選考時に応募者がいなかった協定校は掲載していません。

国・地域	協定校	第一志望	第二志望	第三志望	第四志望	第五志望	第六志望	第七志望	第八志望	合格者
アメリカ	カリフォルニア州立大学ロングビーチ校	16	8	9	8	1	1	1	1	10
	アーカンソー州立大学	6	3	3	3	3	3	4	1	2
	カリフォルニア州立大学ドミンゲス・ヒルズ校	5	7	2	4	6	3	1		3
	サンフランシスコ州立大学	5	5	8	1	2	2	1	1	12
	ノーザン州立大学	4	10	5	4	5	4		3	13
	オレゴン大学	4	6	3	7	2	1	2		2
	ニューヨーク市立大学スタテンアイランド校	4	1	2	3	2	1	1	2	3
	ジョージア大学	3	2			1	1		2	1
	ニューヨーク州立大学バッファロー校	3	2	2	1	2	1	2		3
	南ユタ大学	2	1	1	1	1	2			2
	ネバダ大学リノ校	1	5	2	4	1		1	1	3
	ネブラスカ大学オマハ校	1	3	12	2	4	1		3	2
	サンディエゴ州立大学	1	1		2	1		1		1
	テンプル大学	1	1		1		1			2
	サザンイリノイ大学カーボンデール校		4	1	3	1	1	1		2
	ニューヨーク州立大学ニューパルツ校		2	2	1	1				1
	ミドル・テネシー州立大学			5	4	4	4	2	1	2
	ハワイ大学ヒロ校			1		2		1		
	北テキサス大学			1	2			1		
	メンフィス大学					1	1	2		
	マリアン大学インディアナポリス校						1			
イギリス	ヨーク・セント・ジョン大学	4	4	1		1				4
	イースト・アングリア大学	2	3							2
	マンチェスター大学 人文科学部	1		1						1
	ロンドン大学東洋アフリカ研究学院(SOAS)		1							
	シェフィールド大学			1						
イタリア	ヴェネツィア大学	2		2		2	1	1		3
	ボローニャ大学	1	3	3	3	1			1	1
	シエナ大学			1			2	2	1	
	フィレンツェ大学 経済・企業経済学部				1			1		
	シエナ外国人大学				1					
	マチェラータ大学				1					
インドネシア	ガジャマダ大学				1				1	
オーストラリア	ニューイングランド大学	3	3							1
	UNSW シドニー（ニューサウスウェールズ大学）	2				1				2
	シドニー工科大学	2								2
	西シドニー大学	1								1
オーストリア	ウィーン大学	6	3	3	1	1		2	1	2
	ザルツブルク大学	1		1	2	1				1
	クーフシュタイン・チロル応用科学大学						1		1	
ガーナ	ガーナ大学	2	1							2
カナダ	ヨーク大学	12	3	4	3	1	3	1		2
	アルバータ大学	1								
	ユーコン大学							1		
シンガポール	シンガポール経営大学	1								1
スイス	スイス・アメリカン応用科学大学	1	1		1	1	1	1	2	1
スウェーデン	ヨーテボリ大学 ビジネススクール	4	2	1	3	1	2	2		2
	セーデルトーン大学	3	8	6	2	2	2		7	3
	リンシェーピング大学 教養学部	1	2	1	3	1	1			1

国・地域	協定校	第一志望	第二志望	第三志望	第四志望	第五志望	第六志望	第七志望	第八志望	合格者
スペイン	バレンシア大学	2	1	2	3	1	1	1	1	3
	レイ・ファン・カルロス大学	1	2						1	1
セルビア	ベオグラード大学								1	
タイ	シーナカリンウィロート大学	1								1
	タマサート大学		1		1					
デンマーク	コペンハーゲン大学 人文学部	12	5	2	3	4	2	2		9
ドイツ	バイロイト大学	1				1				1
	ジーゲン大学		1		1	3	2			1
	パッサウ大学			3	4	1	5		2	1
	フリードリヒ・シラー大学(イエーナ大学)							1		
トルコ	中東工科大学						1	1		
ノルウェー	ベルゲン大学人文学部	5	5	7	3	3	2	3		3
	インランドノルウェー大学	2	3	2	3	3	1	2		5
	ノルウェー経済大学			1		1			2	
ハンガリー	エトヴェシュ・ロラーンド大学	3	4	3	3	1	2		1	2
フィリピン	フィリピン大学ディリマン校	1				2	1	1	2	1
	エンデラン大学					1	1			
フランス	ソルボンヌ・ヌーベル大学(パリ第3大学)	4								3
	リヨン政治学院	2	3						1	2
	フランス国立東洋言語文化研究院(INALCO)	2	1	2	1					2
	ヴェルサイユ大学	1		2	2	1	1			1
	リール・カトリック大学(LILLE Campus)	1	1	2		1				2
	パリ・シテ大学		4	1						
	リヨン第3大学		2				1			
	ランス大学			1						
	トゥールーズ政治学院			1				1		
	リヨン第2大学					1				
	エクス・マルセイユ大学 教養・言語・文・人文科学部, 法・政経学部, 経済・経営学部							1		
	グルノーブル・アルプ大学								1	
ブルガリア	ソフィア大学		1			1	2		1	
ベトナム	ベトナム国家大学ハノイ外国語大学	1								1
	ハノイ大学		1			1				
	ハノイ貿易大学			2			2			
ベルギー	リエージュ大学					1				
ポーランド	ウッジ大学	3	1	2	3	2	3	3	1	3
	ボズナン経済大学	1	2		1	2		1		2
マレーシア	マレーシア科学大学	1								1
	マレーシア工科大学		1							
	マラヤ大学		1							
モロッコ	アル・アハワイン大学		1							
リトアニア	ミーコラス・ロメリス大学			2	4	3	2	2	1	2
	ヴィリニウス大学			1			1	1		
ルーマニア	ブカレスト経済研究大学				2					
	ブカレスト大学					2		1	1	
韓国	高麗大学	2								2
	建国大学	2		1		2				2
	崇実大学	1	2			1				1
	梨花女子大学		1				1			
	慶熙大学		1		1					
	釜慶大学		1	1			1			
	漢陽大学(ソウルキャンパス)		1	1	1					
	漢陽大学(ERICAキャンパス)							1	1	
	韓国外国語大学			1			1			
	仁荷大学				1					
	淑明女子大学							2		
	忠北大学								1	
中国	中央財經大学	1								1
	南京大学	1								1
	東華大学			1						
台湾	国立台湾大学							1		
総計		157	142	125	110	92	74	57	47	150

2. 2021～2025年度大学間協定留学(交換型)応募状況:学内選考合格者の所属学部・研究科

※ 留学先国・地域ごとに、のべ合格者数が多い順に掲載しています。

国・地域	協定校	法学部	商学部	政治経済学部	文学部	理工学部	農学部	経営学部	情報コミュニケーション学部	国際日本学部	総合数理学部	法学研究科	商学研究科	政治経済学研究科	経営学研究科	文学研究科	理工学研究科	先端数理科学研究科	教養デザイン研究科	総計
アメリカ	カリフォルニア州立大学ロングビーチ校		6	4	2			3		14	2				1					32
	ノーザン州立大学		2	6	3	1	1	3	2	12										30
	サンフランシスコ州立大学	3	3	3	1	1		1	1	8										21
	ニューヨーク州立大学バッファロー校	2		2	1	2		2	1	5										15
	ジョージア大学		5		1			4		3										13
	サザンイリノイ大学カーボンデール校	2	1	1					1	8										13
	南ユタ大学	2	2	1	1			1		5										12
	ニューヨーク市立大学スタテンアイランド校		3	1	1			2	1	4										12
	ネバダ大学リノ校	1		1	1		1		1	6										11
	カリフォルニア州立大学ドミンゲス・ヒルズ校		2	1				2	1	4										10
	ネブラスカ大学オマハ校		2	1						5	1									9
	ニューヨーク州立大学ニューバルツ校		1	2						5										8
	テンブル大学			1	1	1		2		2						1				8
	アーカンソー州立大学		2	1	1	1	1			2										8
	メンフィス大学			2	1	1				3										7
	サンディエゴ州立大学									5										5
	カリフォルニア州立大学チャンネル・アイランズ校		1	1						3										5
	オレゴン大学	2		1						1										4
	ミドル・テネシー州立大学					1		1	1	1										4
	ノースイースタン大学			2				1												3
	セントラル・オクラホマ大学			1						2										3
	マリアン大学インディアナポリス校			1	1					1										3
	ヤングスタウン州立大学							1												1
	ハワイ大学ヒロ校									1										1
イギリス	ヨーク・セント・ジョン大学		2	3				2	1	6										14
	イースト・アングリア大学		1	5						4					1					11
	シェフィールド大学							1	1	6										8
	マンチェスター大学 人文科学部		2					1												3
	ロンドン大学東洋アフリカ研究学院 (SOAS)			1				1												2
イタリア	ヴェネツィア大学		1		1					9										11
	フィレンツェ大学 経済・企業経済学部			1				1												2
	ボローニャ大学						1													1
オーストラリア	西シドニー大学	1	3	1	2				1	1										9
	シドニー工科大学	1	1	2	1			2												7
	UNSWシドニー (ニューサウスウェールズ大学)					1	1			3										5
	マッコーリー大学		1							1										2
	クイーンズランド工科大学							1									1			2
	ニューイングランド大学	1																		1
オーストリア	ウィーン大学		1	2	2			1		6										12
	ザルツブルク大学			1	1				1	6										9
	クーフシュタイン・チロル応用科学大学								2	2										4
オランダ	ライデン大学									1										1
ガーナ	ガーナ大学				1					2										3
カナダ	ヨーク大学			2	1	1			1	4		1								10
	アルバータ大学							1												1
	ユークン大学									1										1
シンガポール	シンガポール経営大学							1												1
スイス	スイス・アメリカン応用科学大学	1	1																	2
スウェーデン	セーデルトーン大学		3	2	1					5							1			12
	ヨーテボリ大学 ビジネススクール		3					1												4
	リンシェーピング大学 教養学部				1					1										2
	カールスタード大学		1																	1
スペイン	バレンシア大学		2	2				2		3										9
	レイ・フアン・カルロス大学			2																2
	サラマンカ大学			1																1

国・地域	協定校	法学部	商学部	政治経済学部	文学部	理工学部	農学部	経営学部	情報コミュニケーション学部	国際日本学部	総合数理学部	法学研究科	商学研究科	政治経済学研究科	経営学研究科	文学研究科	理工学研究科	先端数理科学研究科	教養デザイン研究科	総計
セルビア	ベオグラード大学							1												1
タイ	シーナカリンウィロート大学							2												2
	チュラロンコン大学								1											1
デンマーク	コペンハーゲン大学 人文学部		1	4	4	1		1	1	12										24
ドイツ	ジーゲン大学	1	4	1	3					1										10
	パッサウ大学		1	1				1	1											4
	ハインリッヒ・ハイネ大学(デュッセルドルフ大学)				2															2
	フリードリヒ・シラー大学(イエーナ大学)		1																	1
	バイロイト大学	1																		1
トルコ	中東工科大学						2			1										3
ノルウェー	インランドノルウェー大学	1	2	1			1	2		11										18
	ベルゲン大学人文学部			1	1					5										7
ハンガリー	エトヴェシュ・ロラーンド大学									8										8
フィリピン	フィリピン大学ディリマン校	1	2							2										5
フランス	リール・カトリック大学(LILLE Campus)		1	2	3			1	2	5										14
	リヨン政治学院	1		1	1			2		4										9
	ソルボンヌ・ヌーベル大学(パリ第3大学)				2											3				5
	ヴェルサイユ大学		2					1		1										4
	フランス国立東洋言語文化研究院(INALCO)				2															2
	エクス・マルセイユ大学									1										1
	ストラスブール大学				1															1
	トゥールーズ政治学院	1																		1
	パリ大学(旧パリ第7大学)			1																1
	リヨン第2大学				1															1
	グルノーブル・アルプ大学									1										1
ポーランド	ウッジ大学	1	4	2	1			1		17										26
	ポズナン経済大学		2	1				1												4
ベトナム	ハノイ貿易大学			1																1
	ベトナム国家大学ハノイ外国語大学		1																	1
マレーシア	マラヤ大学		1							5										6
	マレーシア科学大学		1					1	1											3
	マレーシア工科大学						1													1
	マレーシア・サラワク大学									1										1
モロッコ	アル・アハワイン大学			1																1
リトアニア	ミーコラス・ロメリス大学		1							7										8
	ヴィリニウス大学	1		2						1										4
ルーマニア	ブカレスト大学		1						1	2										4
	ブカレスト経済研究大学			1																1
韓国	高麗大学	1	1					1	3	2										8
	梨花女子大学			1				1		1						1				4
	慶熙大学		1	1				1		1										4
	漢陽大学		1						1											2
	建国大学		1							1										2
	西江大学								1											1
	同徳女子大学									1										1
	仁荷大学									1										1
	崇実大学									1										1
	南京大學							1	1	2										4
中国	北京大学				2															2
	華東師範大学						1													1
	中央財経大学									1										1
	国立台湾大学			1	1	1				2										5
台湾	国立政治大学	1						1												2
	中国文化大学			1						1										2
	国立高雄科技大学								1											1
総計		26	81	82	50	12	10	54	32	261	3	1	0	0	2	4	3	0	0	621



趣旨

第1条

この規程は、明治大学学則（以下「学則」という。）第28条の2第6項、明治大学大学院学則（以下「大学院学則」という。）第43条の4第6項及び明治大学専門職大学院学則（以下「専門職大学院学則」という。）第43条第6項の規定に基づき、学生の外国留学（以下「留学」という。）について必要な事項を定める。

定義

第2条

この規程での留学とは、当該教授会又は当該研究科委員会（以下「教授会等」という。）の議を経て、学長の許可を得て、外国の高等教育機関又は研究機関（以下「高等教育機関等」という。）において、明治大学（以下「本大学」という。）の定める1学期相当以上の期間に授業科目を履修し、又は研究指導を受けることをいう。

2 留学の形態については、次の各号に定めるものとする。

(1) 協定留学

- ア 本大学と外国の高等教育機関等との協定に基づき、留学するもの。
- イ 学部又は研究科と外国の高等教育機関等との協定に基づき、留学するもの。

(2) 認定留学

前号の各細目によらない留学で、教授会等の議を経て学長が特に認めるもの。

留学対象機関等

第3条

学生が留学できる外国の高等教育機関等は、次の各号のいずれかに該当するものとする。

- (1) 学士号又は学位の授与権を有する高等教育機関等
- (2) 教授会等が前号に準ずるものと認定した高等教育機関等

2 学生が留学できる教育課程は、前項各号に定める高等教育機関等が設置し、かつ教授会等が認める課程とする。

留学資格

第4条

学部学生が留学する場合、第5条第1項第1号の留学願を提出する時点において、本大学に1学期以上在学し、所属学部教授会の定める留学許可に必要な単位数を修得していなければならない。

2 大学院学生が留学する場合、指導教員（指導教員のいない専門職大学院の学生については専攻主任とする。以下同じ。）の許可を得なければならない。

留学手続

第5条

留学を願う者は、次の各号に掲げるものを所属学部長又は研究科長（以下「学部長等」という。）に提出しなければならない。

- (1) 留学願
- (2) 履修（研究）計画書
- (3) 留学予定の高等教育機関等の入学許可書又は受入許可書
- (4) 留学予定の高等教育機関等の便覧、講義要項又はそれに準ずるもの
- (5) 留学に係る資金計画書
- (6) その他学部長等の指定するもの

2 前項各号に定めるもののほか、学部学生については保証人の留学同意書を、大学院学生については、指導教員の推薦書を提出しなければならない。

留学許可後の手続

第6条

留学を許可された学生は、留学予定の高等教育機関等において履修しようとする授業科目について、事前に教授会等の許可を得るものとする。

2 前項のほか、本大学が指定する留学中の危機管理に関する必要な手続を執らなければならない。

帰国報告

第7条

留学を終了し、帰国した学生は、次の各号に掲げるものを遅滞なく学部長等に提出しなければならない。

- (1) 帰国報告届
- (2) 単位（研究指導）認定願
- (3) 留学した高等教育機関等の成績証明書又はそれに準ずるもの
- (4) 留学した高等教育機関等の履修科目の時間数及び単位数を証明する書類
- (5) その他学部長等があらかじめ提出を指定した書類

単位等の認定

第8条

教授会等は、学生が留学によって修得した単位の全部又は一部を、学則第28条の2第5項、大学院学則第43条の4第4項又は専門職大学院学則第43条第4項によって、本大学所定の単位として認定することができる。

2 修得単位の認定は、前条の提出書類によるほか、面接試験又は筆記試験によって行うことができる。

3 修得単位は、原則として学則第19条、大学院学則第23条第4項及び専門職大学院学則第25条第3項に基づき、本大学所定の単位数に換算することができる。

4 研究指導の認定は、留学した高等教育機関等の担当者が発行する研究指導経過報告書によって行う。

授業科目履修の特例

第9条

学生が学年暦の国際的差異によって本大学の通年の授業科目を履修することに支障がある場合、当該授業科目の出国年度の春学期における履修と帰国年度の秋学期における履修を継続し、通年で履修したものとするることができる。

2 前項に定める継続履修をしようとする者は、授業科目の継続履修願を事前に学部長等に提出しなければならない。

3 第1項の継続履修ができない場合は、教授会等がその措置を決定する。

助成

第10条

留学する者には、所要経費の一部を給付することができる。

2 前項の給付に関する事項は、別に定める。

留学許可の取消し

第11条

留学生としての在留資格を喪失した者又は学則第66条、大学院学則第62条若しくは専門職大学院学則第65条に該当する者については、教授会等の議を経て留学許可を取り消すことがある。

学生交流協定

第12条

第2条第2項第1号各細目に定める留学については、この規程によるもののほか、本大学又は学部若しくは研究科と外国の高等教育機関等が締結した学生交流協定によるものとする。

事務

第13条

学生の留学に関する事務は、国際連携部国際連携事務室、教務事務部各事務室（教務事務室、和泉教務事務室、資格課程事務室及び国家試験指導センター事務室を除く。）及び中野キャンパス事務部中野教育研究支援事務室が行う。

規程の改廃

第14条

この規程を改廃するときは、国際連携機構会議の議を経なければならない。

附 則

（略）

